

# 第3編 中棚I 遺跡



## 第1章 既往の調査

これまで中棚Ⅰ遺跡では、今回の土地改良事業に伴う発掘調査を行うに当たり、発掘調査範囲を確定するための試掘調査が実施されたのみであり、本調査は今回が最初の発掘調査事例である。しかしながら、遺跡名が中棚遺跡であった平成11年、事業団が林中棚遺跡として発掘調査を実施している。その発掘調査を受けて、遺跡範囲を上位段丘面と下位段丘面で2つの遺跡に区分し、上位段丘面に所在する遺跡を中棚Ⅰ遺跡、下位段丘面に所在する遺跡を中棚Ⅱ遺跡と名称を変更した。事業団から平成15年に『久々戸遺跡・中棚Ⅱ遺跡・下原遺跡・横壁中村遺跡』、平成17年に『久々戸遺跡（2）・中棚Ⅱ遺跡（2）・西ノ上遺跡・上郷A遺跡』として発掘調査成果が報告されている。

中棚Ⅱ遺跡は、今回発掘調査を実施した中棚Ⅰ遺跡から南へ約250m離れた下位段丘面上に立地しており、天明3年の泥流下の畠跡が確認されている。

## 第2章 調査の経過

中棚Ⅰ遺跡の発掘調査は、平成23年10月19日から開始し、同年12月22日に終了した。10月19日、調査範囲の設定や排土置き場の打ち合わせなどの準備作業を行う。10月31日、表土掘削を開始する。発掘調査後に圃場整備工事が行われるため、水田の耕作土とそれ以下の土を分けておく必要があった。そのため水田の土の掘削を行った後、遺構確認面までの掘削を行なった。現地のぬかるみが激しいため、表土掘削作業は難航した。

11月7日、耕作土以下の土の掘削を開始する。11月9日、表土掘削と並行して調査区南西部の遺構確認作業を開始する。11月10日、S101の遺構精査を開始する。11月14日、S102・03の遺構精査を開始する。11月15日、表土掘削が終了した。11月16日、S104の遺構精査を開始する。11月17日、湿地跡のトレーナー掘削（人力）を開始する。11月22日、土坑・ピットの遺構精査を開始する。湿地跡の土層断面図作成終了。

12月2日、空中写真撮影を実施する。豎穴住居跡の掘り方調査を開始する。12月7日、発掘調査終了後の引き渡しについて、群馬県ハッパダム水源地域対策事務所・長野原町教育委員会と打ち合わせを行う。12月15日、発掘調査終了。長野原町教育委員会が調査終了を確認した。撤収作業を開始する。12月16日、撤収作業が終了し、引き渡し準備作業を開始する。7日の打ち合わせを受けて、調査区の埋戻しを行わないため調査範囲内に水が溜まることが予想されたことから、調査範囲をトラロープで囲い、溜まった水が抜ける様に排水溝を切る作業を行なった。また、排土山に防塵ネットを張る作業を行なった。12月22日、引き渡し準備作業が終了した。

## 第3章 基本層序

今回の発掘調査の基本層序は、第233・234図のA地点、B地点の2か所で確認した。A地点は調査区南部西側の微高地の土層である。B地点は調査区中央部西壁際の湿地跡の土層である。全部で四層あり、細分される層もある。湿地跡は堆積状況が周辺と異なり、対応させることができなかったため別の土層番号を使用した。

### 第I<sub>1</sub>層 黒褐色粘質土

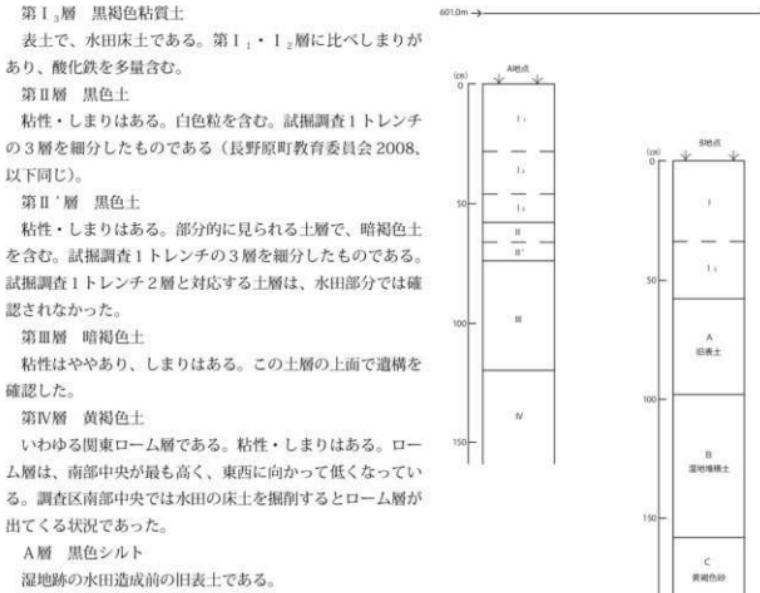
表土で、水田耕作土上層部分である。本調査区は水田地内であるため、試掘調査の表土とは状況が異なる。白色粒を含む。

### 第I<sub>2</sub>層 黒褐色粘質土

表土で、水田耕作土下層部分である。酸化鉄を微量含む。



第231図 調査区位置図(1/2,500)



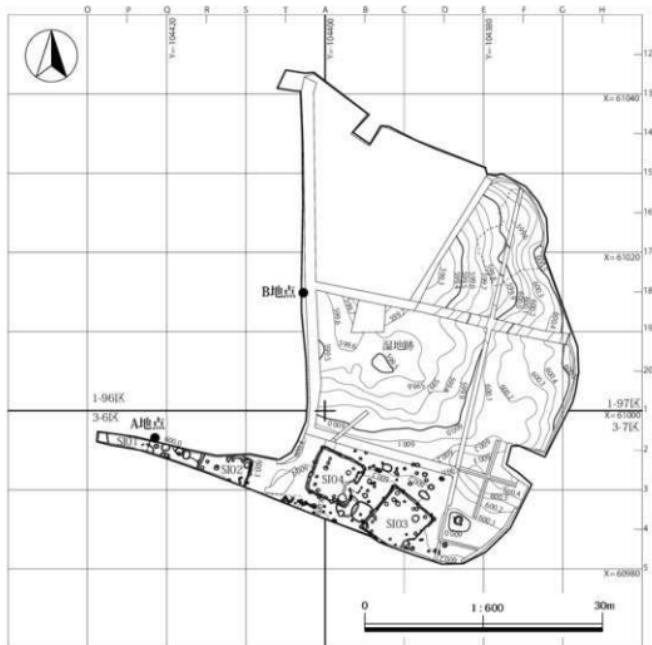
第232図 基本土層柱状図(1/20)

## 第4章 検出された遺構と遺物

### 第1節 遺跡の概要

中棚Ⅰ遺跡は、群馬県吾妻郡長野原町大字林字中棚に所在する平安時代の集落を主体とする遺跡である。吾妻川左岸の上位段丘面上に立地し、この段丘面の東側には最上位段丘面との段丘崖があり、西側は王城山から流れてくる榎木沢がある。北側は王城山山麓が間近に迫り、南側は下位段丘面との段丘崖となっており、約200m四方ほどの非常に狭い段丘面である。現況は、段丘面の外縁部に住宅が巡り、中央部に水田が造られている。標高は599.3m～600.4mである。

今回の発掘調査は中棚Ⅰ遺跡の第1次調査にあたる。調査範囲は水田部分のおよそ東半分にあたり、大字林字中棚322-1外15筆に所在する。調査範囲の北側約3/4は湿地跡であるため、遺構は南側約1/4の微高地上に分布している。確認された遺構は、縄文時代早期および縄文時代と考えられる土坑6基、平安時代の竪穴住居跡4軒、土坑5基、時期不明の土坑6基、ピット57基、湿地跡である。それ以外にSK08は土坑番号を付け調査を行なったが、SI04の床下土坑と判断したため欠番とした。出土した遺物の種類は、縄文土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、陶磁器、鉄製品、土製品、石製品、石器で、その数量はテンバコで18箱分であった。



第233図 調査区全体図(1/600)

## 第2節 繩文時代の遺構と遺物

### (1) 土坑

SK02 (第235・237図／PL 44・49)

**位置** 3-6区P-1グリッド（調査区南西部）。**重複関係** なし。**遺存状態** 良好。**覆土** 黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。**平面形と規模** 平面形は円形を呈する。規模は長軸58cm、短軸50cm、確認面からの深さ23cmを測る。**主軸方位** N-73°-W **壁面** 外傾して立ち上がる。**底面** 中央に向かって非常に緩やかに傾斜する。**遺物** 繩文土器片が出土し、縄文時代早期の土器1点を図示し得た。**備考** 本遺構は、形態に特徴がないことから性格は不明である。帰属時期は、出土遺物から縄文時代早期である可能性が考えられる。

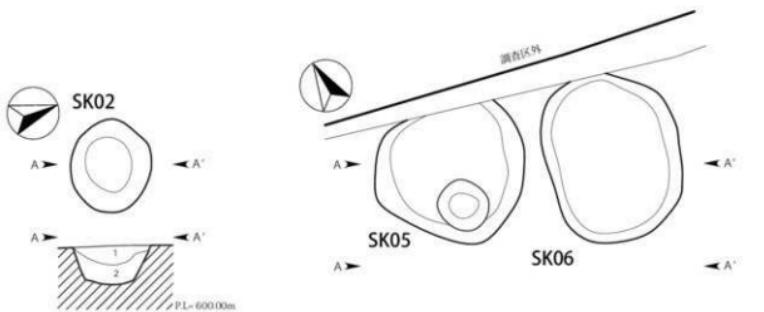
SK05 (第235・237図／PL 44・49)

**位置** 3-6区Q-1・2グリッド（調査区南西部）。**重複関係** なし。**遺存状態** 北端部が調査区外にあるが、良好である。**覆土** 黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。**平面形と規模** 平面形は円形を呈すると考えられる。規模は長軸96cm、短軸88cm以上、確認面からの深さ14cmを測る。**主軸方位** 不明。

**壁面** 大きく外傾して立ち上がる。**底面** 南側に小さな窪みが1か所あり、東側がわずかに低くなっているが、概ね平坦である。**遺物** 石錐1点、石核1点を図示し得た。**備考** 本遺構は、形態に特徴がないこ

第234图 调查区分割图(1/200)





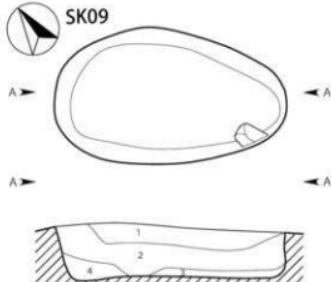
**SK02 土壌説明  
AA'**

1. 黒褐色土層: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒少量含む。白色粒(軽石)・YPk微量含む。
2. 黒褐色土層: 粘性あり。しまりあり。ローム粒微量含む。



**SK05・06 土壌説明  
AA'**

1. 黒褐色土層: 粘性弱い。しまりあり。炭化物・白色粒(軽石)・YPk微量含む。
2. 黒褐色土層: 粘性弱い。しまりあり。ローム粒多量含む。YPk微量含む。  
(以上SK05)
3. 黒褐色土層: 粘性ややあり。しまりあり。白色粒(軽石)・YPk微量含む。
4. 黑褐色土層: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒微量含む。YPk少量含む。炭化物微量含む。  
(以上SK06)



**SK09 土壌説明  
AA'**

1. 黒褐色土層: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒・炭化物・白色粒(軽石)微量含む。
2. 黒褐色土層: 粘性弱い。しまりあり。白色粒(軽石)少量含む。ロームブロック(Φ 3cm)・ローム粒・植生土・YPk(Φ 1 cm)微量含む。
3. 黒褐色土層: 粘性弱い。しまりあり。ローム粒微量含む。ロームブロック(Φ 1 cm)微量含む。白色粒(軽石)ごく微量含む。
4. 黑褐色土層: 粘性弱い。しまりあり。白色粒少量含む。ローム粒・白色粒(軽石)(Φ 5 mm)・YPk(Φ 5 mm)微量含む。

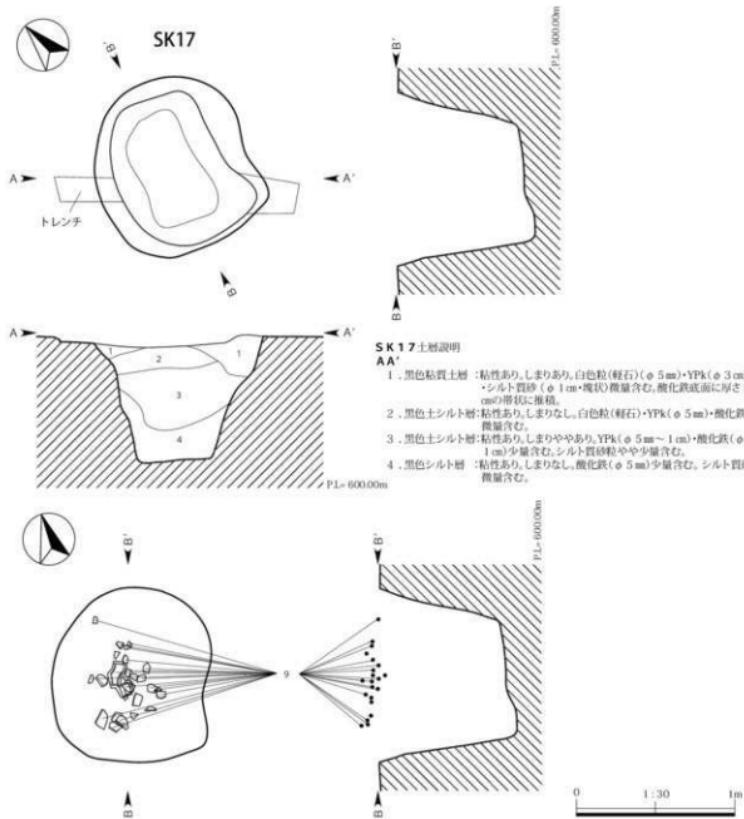


**SK10 土壌説明  
AA'**

1. 黒褐色土層: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒・炭化物・白色粒(軽石)(Φ 5 mm)微量含む。
2. 黑褐色土層: 粘性やや弱い。しまりあり。ロームブロック(Φ 5 mm)・白色粒(軽石)微量含む。
3. 黑褐色土層: 粘性やや弱い。しまりあり。酸化鉄少量含む。白色粒(軽石)微量含む。



第235図 SK02・05・06・09・10実測図(1/30)

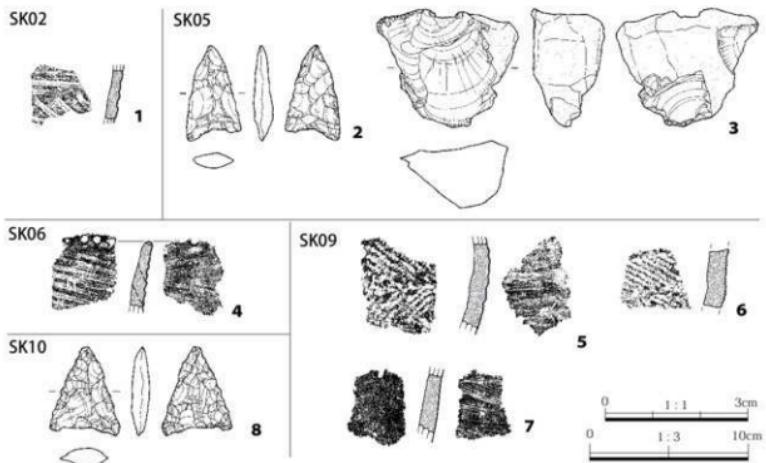


第236図 SK17実測図・遺物出土状況図(1/30)

とから性格は不明である。帰属時期は、出土遺物からは縄文時代と考えられる。

#### SK06 (第235・237図/P L 49)

**位置** 3—6区Q—2グリッド(調査区南西部)。**重複関係** なし。**遺存状態** 良好。**覆土** 黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。**平面形と規模** 平面形は梢円形を呈する。規模は長軸が推定107cm、短軸85cm、確認面からの深さ13cmを測る。**主軸方位** N=20°—E  
**壁面** やや外傾して立ち上がる。**底面** 中央に向かって非常に緩やかに傾斜しているが、概ね平坦である。**遺物** 縄文土器片と黒曜石片が出土しており、縄文時代早期の土器1点を図示し得た。**備考** 本遺構は、形態に特徴がないことから性格は不明である。帰属時期は、出土遺物から縄文時代早期である可能性が考えられる。



第237図 繩文時代土坑出土遺物実測図①(1/1・1/3)

#### SK09 (第235・237図／P L 44・49)

**位置** 3—7区C—3グリッド（調査区南部中央）。**重複関係** なし。**遺存状態** 良好。**覆土** 黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。**平面形と規模** 平面形は楕円形を呈する。規模は長軸147cm、短軸86cm、確認面からの深さ33cmを測る。**主軸方位** N—54°—W **壁面** 東壁はほぼ垂直に、その他の壁はやや外傾して立ち上がる。**底面** 西端部がわずかに低いが、概ね平坦である。**遺物** 繩文土器片、黒曜石が出土しており、縄文時代早期の土器3点を図示した得た。**備考** 本遺構は、形態に特徴がないことから性格は不明である。帰属時期は、出土遺物から縄文時代早期である可能性が考えられる。

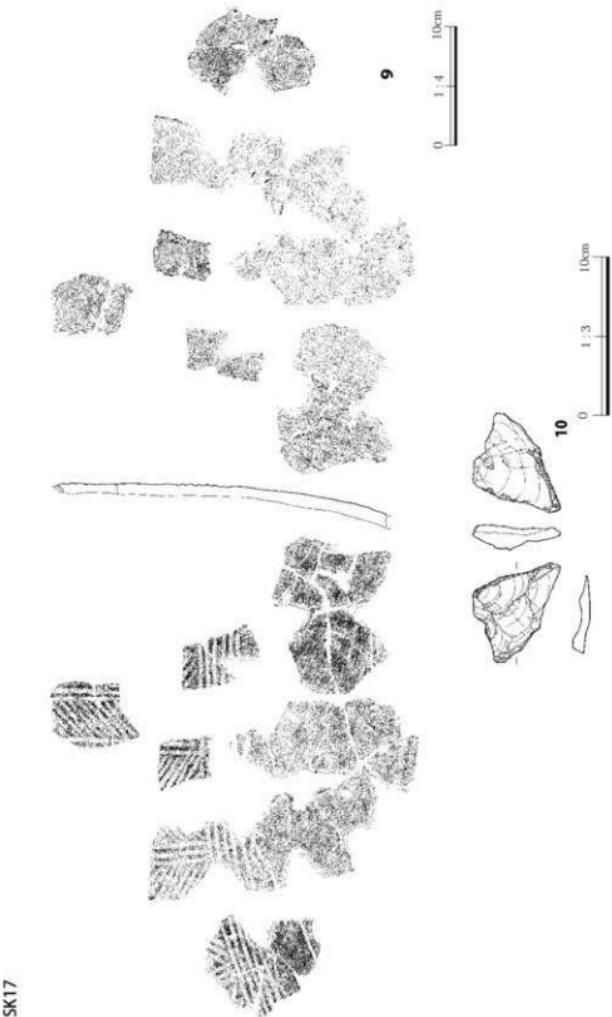
#### SK10 (第235・237図／P L 49)

**位置** 3—7区C—2グリッド（調査区南部中央）。**重複関係** なし。**遺存状態** 良好。**覆土** 黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。**平面形と規模** 平面形は円形を呈する。規模は長軸72cm、短軸63cm、確認面からの深さ23cmを測る。**主軸方位** N—75°—W **壁面** 外傾して立ち上がる。**底面** 西側に向かって非常に緩やかに傾斜しているが、概ね平坦である。**遺物** 石鏃、黒曜石片が出土しており、石鏃1点を図示した得た。**備考** 本遺構は、形態に特徴がないことから性格は不明である。帰属時期は、出土遺物から縄文時代と考えられる。

#### SK17 (第236・238図／P L 44・49)

**位置** 3—7区D—3グリッド（調査区南東部）。**重複関係** なし。**遺存状態** 良好。**覆土** 黒色シルトが基調で、自然堆積を示す。**平面形と規模** 平面形は不整椭円形を呈する。規模は長軸110cm、短軸101cm、確認面からの深さ86cmを測る。**主軸方位** N—17°—E **壁面** 東・西壁は外傾して立ち上がり、南・北壁はほぼ垂直に立ち上がる。**底面** 南端部が一段低くなっているが、概ね平坦である。**遺物** 覆土中層からスクレイバー1点および確認面の直上から縄文時代早期末葉の土器片がまとまって出土し、ともに図示した得た。**備考** 本遺構は、平面・断面の形態から陥れ穴と考えられる。形状が平安時代と想定されるものと比較して直線的ではないことおよび出土遺物から、帰属時期は縄文時代と考えられる。

第238図 繼文時代土坑出土遺物実測図2(1/3・1/4)



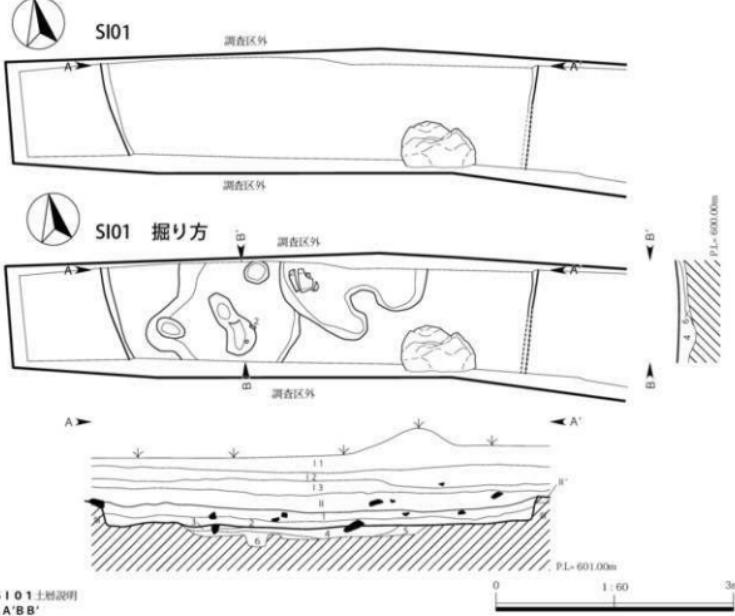
### 第3節 平安時代の遺構と遺物

#### (1) 穴住居跡

SI01 (第239～242図／P L 44・45・49・50)

**位置** 3-6区O・P-1グリッド（調査区南西端部）。**重複関係** SK01と重複し、本遺構の方が古い。

**遺存状態** 東壁・西壁の一部が確認された。北側・南側の大半は調査範囲外であるが、遺存状態は良好である。**覆土** 黒色土が基調で、自然堆積を示す。**平面形と規模** 大半が調査区範囲外にあるため詳細は不明である。東壁と西壁が平行でないため、いびつな平面形と考えられる。東西方向は5.51m、南北方向は1.29m以上、確認面からの深さは最深32cm、床面積は6.23m<sup>2</sup>以上を測る。**主軸方位** 不明。**壁・壁溝** 壁高は東壁で32cm、西壁で30cmを測り、ともにやや外傾して立ち上がる。壁溝は確認されなかった。**床面** 直床式であるが、貼床や踏み織りは確認されなかった。中央部に向かって非常に緩やかに傾斜しているが、概ね

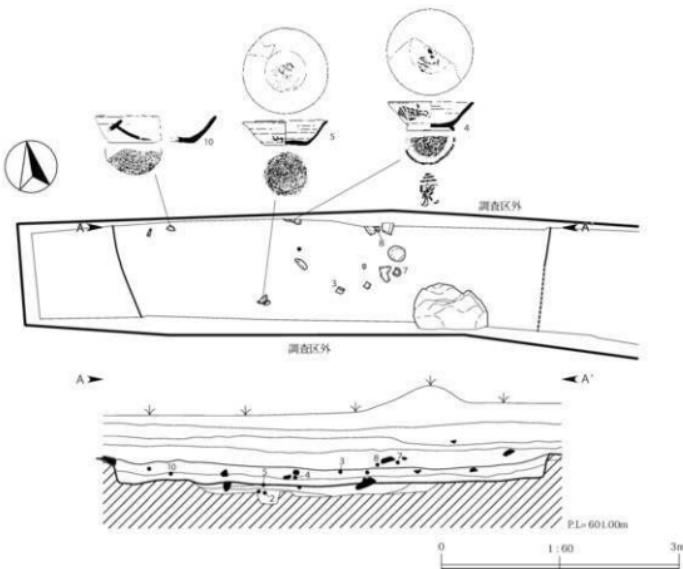


SI01 土層説明

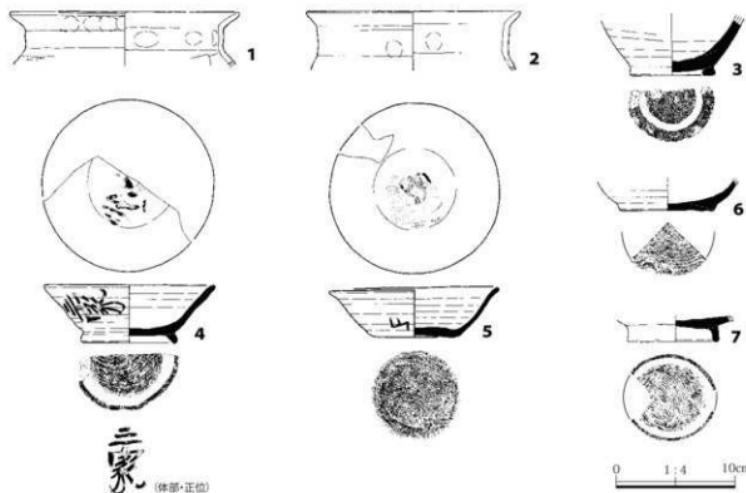
AA'-BB'

- I. 黒褐色粘質土層：粘性あり、しまり弱い、白色粒(軽石) (粒φ 5mm) 検出含む。
- II. 黒褐色粘質土層：粘性弱く、しまり弱い、白色粒(軽石) (粒φ 5mm) 少量含む。ローム粒・白色粒微量含む。
- III. 黒褐色土層：粘性弱く、しまり弱い、砂土粒・炭化粧石・白色粒(軽石) (粒φ 5mm～1cm)・礫 (φ 1cm) 微量含む。
- IV. 黒褐色土層：粘性弱く、しまり弱い、礫融合土・粒状漂砾層共に含む。白色粒(軽石)・崩壊土ブロック (φ 3cm) 微量含む。
- V. 喰褐色土層：粘性弱く、しまり弱い、白色粒(軽石)・喰褐色土ブロック (φ 1cm) 微量含む。
- VI. 黒褐色土層：粘性あり、しまり弱い、白色粒(軽石) (粒φ 5mm)・礫 (φ 5mm) 微量含む。
- VI'. 黒褐色土層：粘性あり、しまり弱い、ローム粒多量含む。ロームブロック (φ 1cm)・白色粒(軽石) 微量含む。
- VII. 喰褐色土層：粘性弱く、しまり弱い、ローム粒 (粒φ 3～5mm) 微量含む。
- VIII. 黒褐色土層：粘性あり、しまり弱い、ローム粒 (粒φ 3～5mm) 微量含む。
- IX. 黒褐色土層：粘性ややあり、しまりあり。ローム粒 (粒φ 5mm) 少量含む。乾土粒・白色粒(軽石) 微量含む。
- X. 黑褐色土層：粘性ややあり、しまりあり。ローム粒 (粒φ 1cm)・喰褐色土層共に含む。

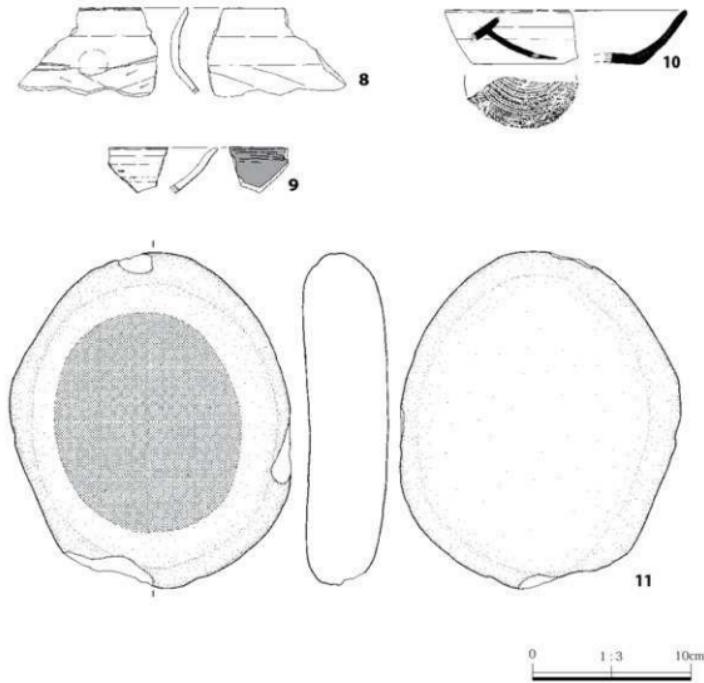
第239図 SI01・掘り方実測図(1/60)



第240図 S101遺物出土状況図(1/60)



第241図 S101出土遺物実測図①(1/4)

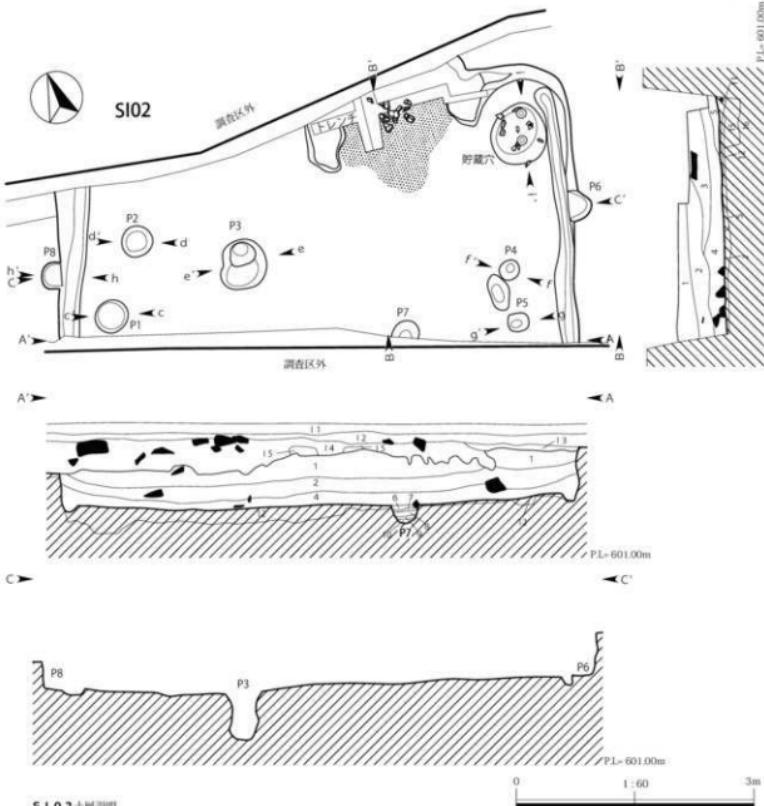


第242図 SI01出土遺物実測図②(1/3)

平坦である。柱穴 挖り方で1基確認された。平面形は円形を呈し、長軸31cm、短軸29cm、床面からの深度15cmを測る。カマド 確認されていない。その他の施設 確認されていない。遺物検出状況 中央部からまとめて検出された。遺物 出土遺物のうち、土師器3点、土師質土器1点、須恵器6点、石器1点を図示し得た。その内、3点が墨書き土器である。土師器表はすべてコの字状口縁表である。備考 本遺構は、カマドや柱穴が確認されていないが、床面の状況から竪穴住居跡と判断した。本遺構の特徴として、「三家」・「人」の墨書き土器が出土している点が挙げられる。床面付近からの出土遺物が少ないため直接の判断は難しいが、出土遺物から本遺構の帰属時期は9世紀中葉頃と考えられる。

SI02 (第243～247図／PL 43～45・50)

位置 3-6区Q・R・S-2グリッド(調査区南側西部)。重複関係なし。遺存状態 東壁北半分及び西壁の一部が確認された。北西隅部および南半分は調査範囲外であるが、遺存状態は良好である。覆土

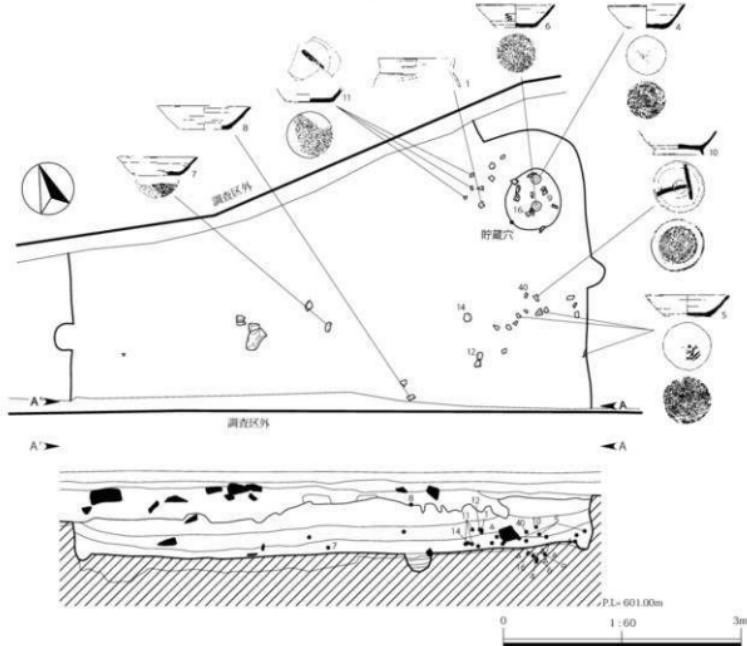
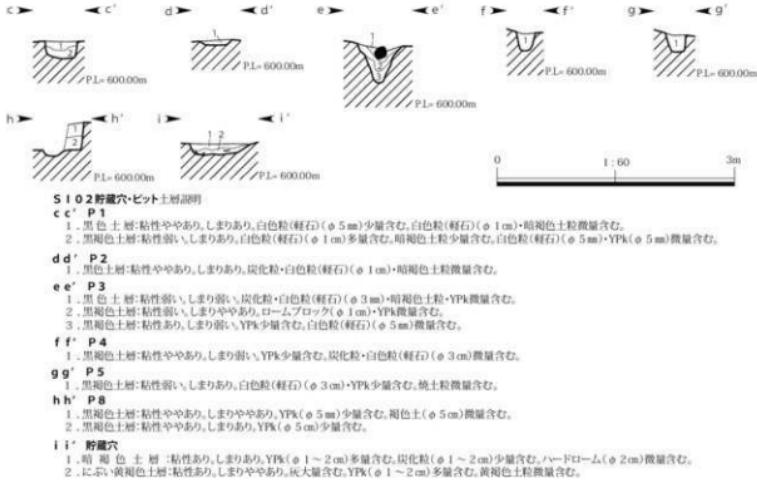


SI02 土層明

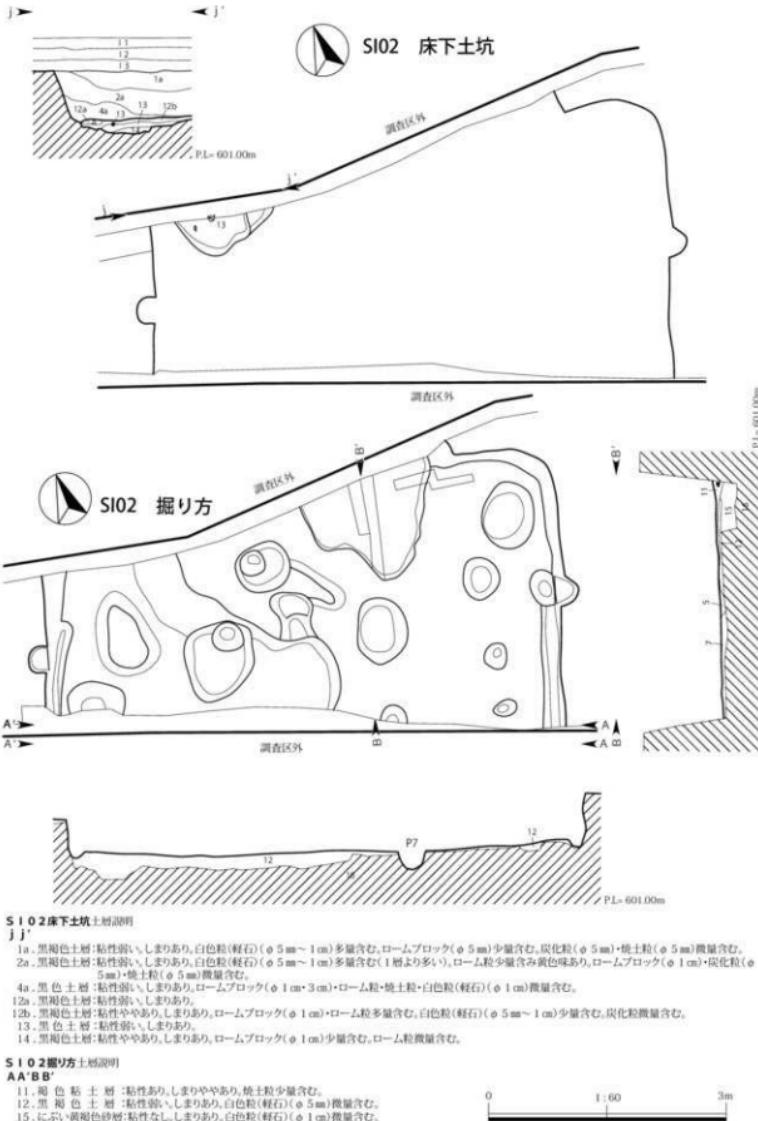
A-A'B'

1. 黒褐色粘質土層: 粘性あり、しまり弱い、白色粒(軽石)(φ 1cm)微量含む。
2. 黒褐色粘質土層: 粘性ややあり、しまりややあり、白色粒(軽石)(φ 5mm・2mm)微量含む。
3. 黒褐色粘質土層: 粘性ややあり、しまりあり、酸化鉄斑状に少量含む、白色粒(軽石)(φ 5mm)微量含む。
4. 黑褐色土層: 粘性弱い、しまりあり、礫(拳大)少量含む、礫(人面大)微量含む。
5. 黑褐色土層: 粘性ややあり、しまりあり、酸化鉄斑状に少量含む、白色粒(軽石)(φ 1cm)微量含む。
1. 黑褐色土層: 粘性ややあり、しまりあり、白色粒(軽石)(φ 2mm)少量含む、白色粒(軽石)(φ 5mm)・相色粒(軽石)(φ 1cm)・礫(拳大)微量含む。
2. 黑褐色土層: 粘性ややあり、しまりあり、白色粒(軽石)(φ 2mm)・相色粒(軽石)(φ 5mm)・ローム粒・白色粒(軽石)(φ 5mm・2mm)・相色粒(軽石)(φ 5mm)微量含む。
3. 黑褐色土層: 粘性ややあり、しまりあり、白色粒(軽石)(φ 5mm)・ローム粒・白色粒(軽石)(φ 1cm)・相色粒(軽石)(φ 1cm)微量含む。
4. 黑褐色土層: 粘性ややあり、しまり弱い、ローム粒・白色粒(軽石)(φ 5mm)・少頭含む、白色粒(軽石)(φ 1cm)微量含む。
5. 黄褐色土層: 粘性弱い、しまりややあり、白色粒(軽石)(φ 1cm)微量含む。(以上7)
6. 黑褐色土層: 粘性弱い、しまり弱い、暗褐色土層微量含む。
7. 黑褐色土層: 粘性ややあり、しまりあり、暗褐色土層微量含む。
8. 黑褐色土層: 粘性ややあり、しまりあり、暗褐色土層微量含む、白色粒(軽石)(φ 1cm)微量含む。
9. 黄褐色土層: 粘性弱い、しまりあり、暗褐色土層微量含む。
10. 黑褐色土層: 粘性ややあり、しまりややあり、ロームブロック・砂束間に多量含む。(以上7)

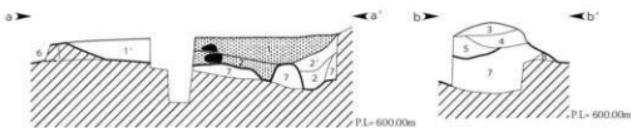
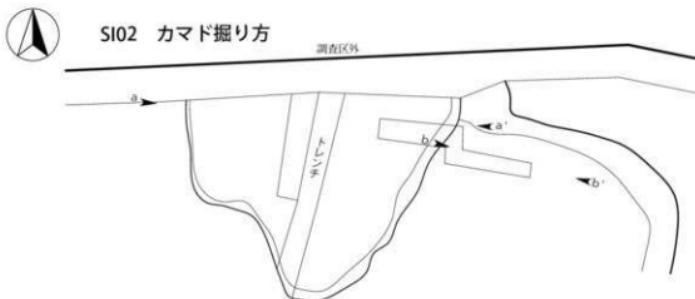
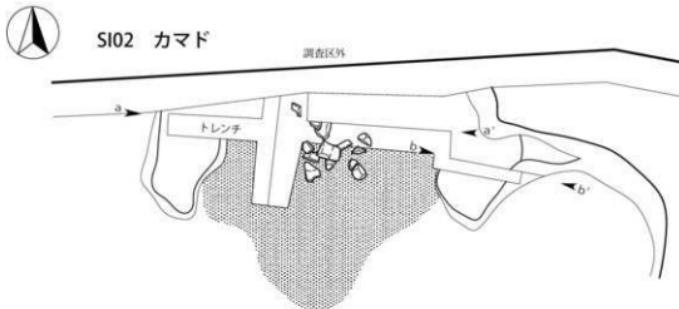
第243図 SI02実測図①(1/60)



第244図 SI02実測図②・遺物出土状況図(1/60)



第245図 SI02床下土坑・掘り方実測図(1/60)



0 1:30 1m

S I 0 2 カマド・カマド掘り方土層説明

a → b → b'

1. 浅色土層: 黏性あり。しまりややあり。純土粒(φ 1 cm)・YPk(φ 1 cm)少量化含む。(BB 5 層と対応)
- 1'. にぶい黄褐色粘質土層: 黏性あり。しまりややあり。黒褐色土粒・YPk(φ 5 mm)少量化含む。YPk(φ 1 cm)微量含む。
2. 黒色土層: 黏性あり。しまりややあり。純土粒多量含む。微量含む。(BBの11層と対応)
- 2': 黄褐色粘質土層: 黏性あり。しまりややあり。純土粒・YPk(φ 1 cm)少量化含む。
3. 黄褐色粘質土層: 黏性あり。しまりややあり。化成物・白色粒(粗石)・YPk(φ 1 cm)少量化含む。白色粒(粗石)・YPk(φ 1 cm)微量含む。
4. 明褐色粘質土層: 黏性あり。しまりややあり。化成物・YPk(φ 1 ~ 3 cm)にぶい黄褐色土粒微量含む。
5. にぶい黄褐色粘質土層: 黏性あり。しまりややあり。化成物(φ 5 mm)・YPk(φ 5 mm)微量含む。純土粒ごく微量含む。
6. 明褐色土層: 黏性ややあり。しまりややあり。YPk(φ 1 cm)少量化含む。YPk・黒褐色土粒微量含む。純土粒ごく微量含む。
7. 黒褐色土層: 黏性弱い。しまりややあり。YPk大量含む。(BBの15層と対応)
8. にぶい黄褐色粘土層: 黏性あり。しまりややあり。白色粒(φ 5 mm)微量含む。

第246図 SI02カマド・カマド掘り方実測図(1/30)

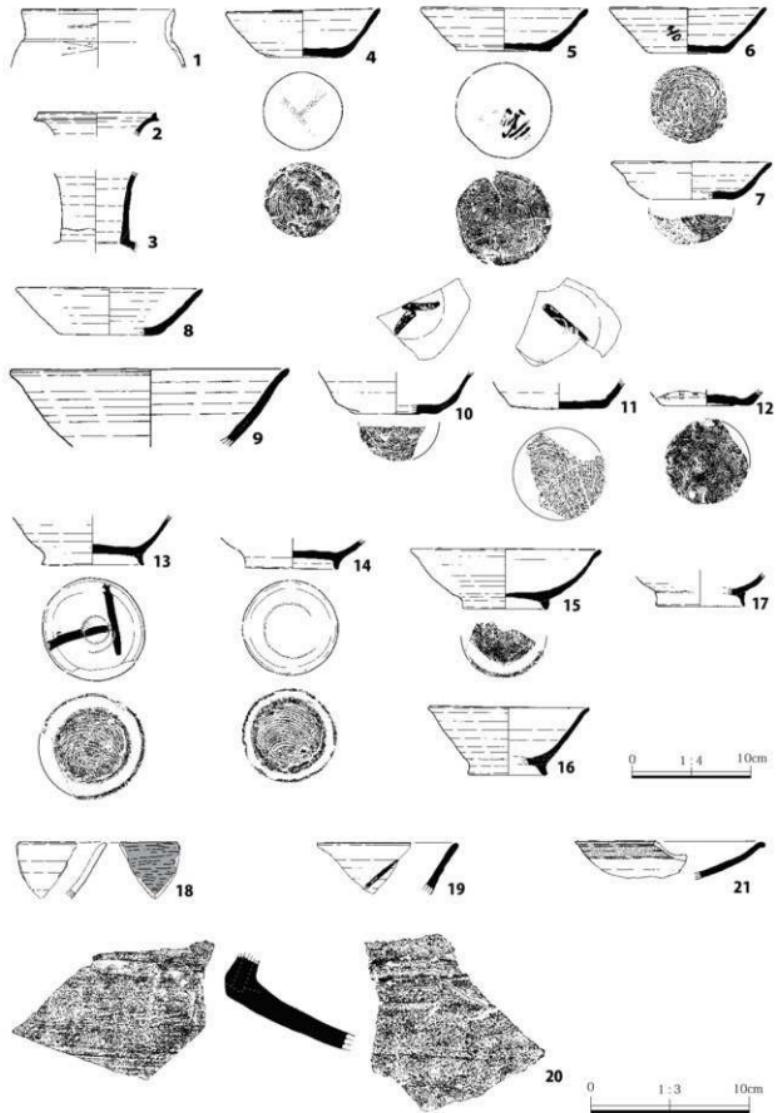
黒色土が基調であるが、北壁際最下層で明黄褐色土が見られる。堆積状況は自然堆積を示す。**平面形と規模** 平面形は隅丸方形を呈すると考えられる。規模は主軸は 3.57 m 以上、副軸は 6.55 m、確認面からの深さは最深 73cm、床面積は 14.01 m<sup>2</sup> 以上を測る。**主軸方位** N—15°—E **壁・壁溝** 壁高は東壁で 70cm、西壁で 51cm を測り、ともにほぼ垂直に立ち上がる。壁溝は東壁・西壁で確認され、溝幅は 15 ~ 28cm、床面からの深さは 10 ~ 13cm を測る。**床面** 直床式であるが、貼床や踏み継ぎは確認されなかった。中央部に向かって非常に緩やかに傾斜しているが、概ね平坦である。**柱穴** P 1 ~ P 8 まで確認された。平面形は円形が主体であるが、P 3 は不整円形を呈する。P 6・P 8 は竪穴壁面から外側にはみ出しており、壁柱穴と考えられる。P 3 は P 6・P 8 の軸上にあり、深さが 60cm あることから、主柱穴と考えられる。それぞれの規模は、第 28 表に記載する。

第 28 表 SI02 ピット計測表

	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8
長軸長 (cm)	42	40	63	27	27	(30)	(22)	(25)
短軸長 (cm)	42	39	58	25	23	39	33	34
深さ (cm)	22	6	49	24	24	60	23	34

**カマド** 北壁の東隅寄りに位置する。遺存状態が悪く、住居廃絶時に壊されたと考えられる。全長は 86cm 残存し、最大幅は 238cm を測る。火床面は 24cm 挖り込まれ、焼土部分は 18cm の厚さを有する。**その他の施設** 貯蔵穴 1 基と床下土坑 1 基が確認された。貯蔵穴はカマド向かって右側の北東隅部に位置し、平面形は円形を呈する。長軸 78cm、短軸 70cm、床面からの深さは 13cm を測る。床下土坑は北西隅部に位置し、平面形は梢円形を呈すると考えられる。東西方向が 128cm、南北方向が 49cm 以上、床面からの深さは 19cm を測る。

**遺物検出状況** 貯蔵穴および貯蔵穴周辺、東壁付近でまとめて検出された。貯蔵穴の底面からは、完形の須恵器坏 2 点が出土している。**遺物** 出土遺物のうち、土師器 1 点、土師質土器 1 点、須恵器 18 点、灰釉陶器 1 点を図示し得た。その内 8 点が墨書き土器である。土師器表はコの字状口縁表のみである。**備考** 本遺構は、1 辻 6 m を超す特大型の竪穴住居跡と考えられる。本遺構の特徴として、同時期の平野部の竪穴住居跡と比較して竪穴の規模が大きいこと、「三家」・「人」の墨書き土器が出土している点が挙げられる。SI01 と同じ文字の墨書き土器が出土していることから、何らかの関連があるものと考えられる。貯蔵穴に残されていた出土遺物が住居の廃絶時期に近いと考えられることから、本遺構の帰属時期は 9 世紀後半頃と考えられる。

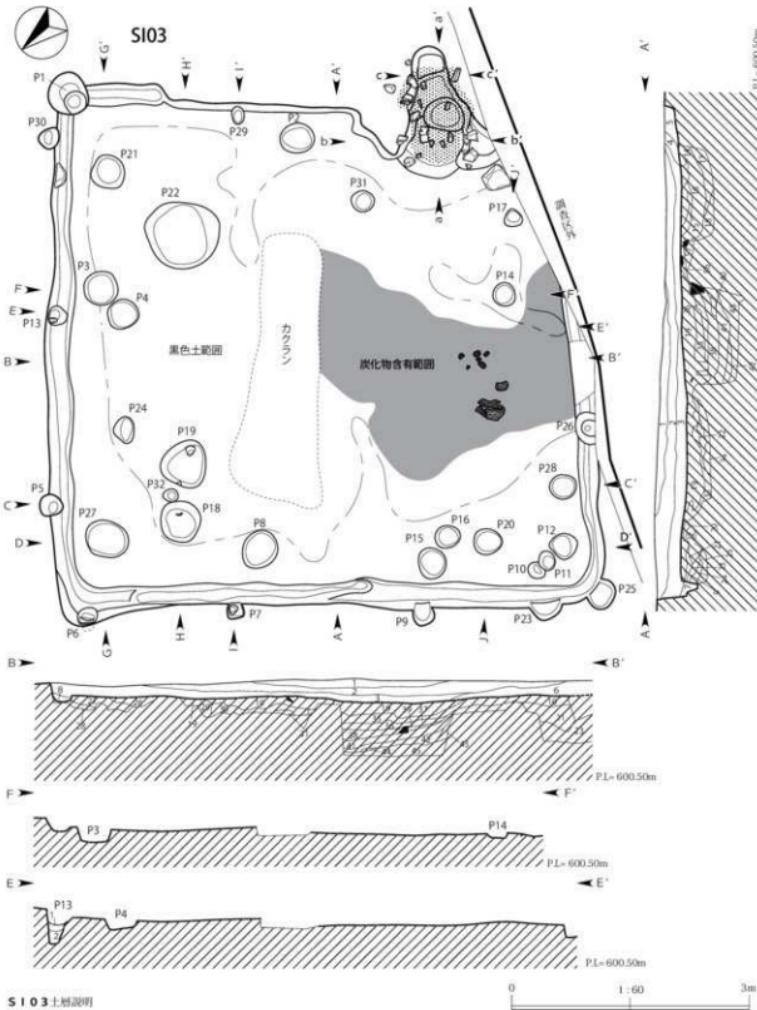


第247図 SiO<sub>2</sub>出土遺物実測図(1/3・1/4)

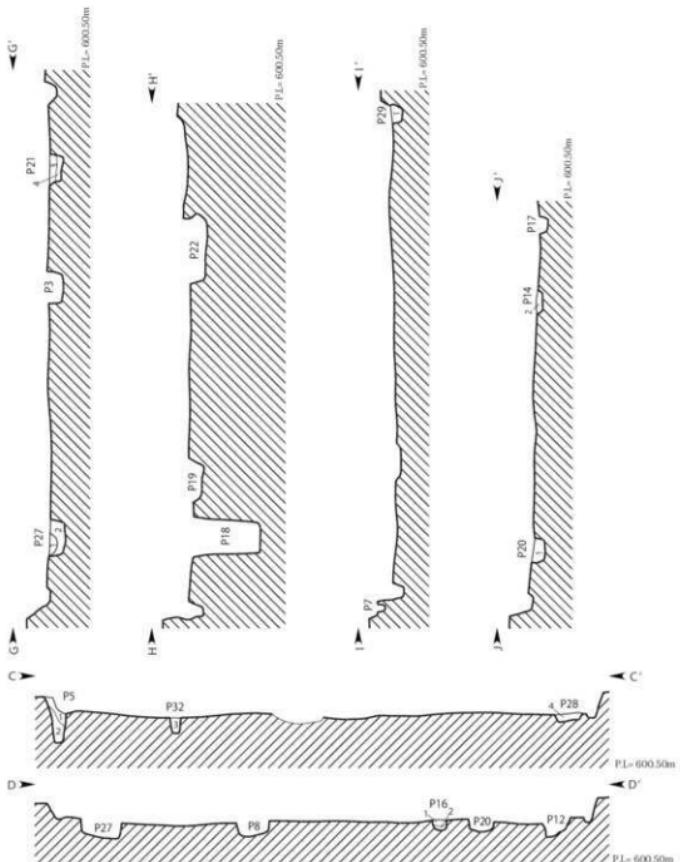
SI03 (第 248 ~ 257 図 / P L 43・46・50・51)

**位置** 3—7 区 B—2~4 グリッド、C—3・4 グリッド (調査区南東部)。 **重複関係** なし。 **遺存状態** 南隅部のみ調査区外であるが、遺存状態は良好である。 **覆土** 黒褐色土が基調であるが、南部の下層で黒色土・黄褐色土が堆積している。堆積状況は自然堆積を示す。 **平面形と規模** 南隅部が調査区外にあるが、平面形は隅丸方形を呈する。規模は主軸は 6.88 m、副軸は 6.99 m、確認面からの深さは最深 40cm、床面積は 35.30 m<sup>2</sup>以上を測る。 **主軸方位** N—51°—W **壁・壁溝** 壁高は北東・南東壁が 15cm、北西・南西壁が 30cm を測り、北西壁がほぼ垂直に、その他の壁はやや外傾して立ち上がる。壁溝は北東・南東・北西壁と南東壁東隅部付近で確認された。溝幅は 16 ~ 38cm、床面からの深さは 8 ~ 16cm を測る。 **床面** 直床式であるが貼床や踏み締めは確認されなかった。外縁部には地山のローム層、内側は掘り方を埋めた黒色土が確認され、その南部には炭化物が多量に含まれていた。中央部に向かって非常に緩やかに傾斜しているが、概ね平坦である。 **柱穴** P 1 ~ P 34 まで確認され、P 33・34 は掘り方で確認された。平面形は円形・不整円形を呈する。P 18 は位置・深さから、P 22 は位置から主柱穴と考えられる。P 1・5~7・9・13・23・25・26・29・30 は壁際に位置し、壁穴と考えられる。それぞれの規模は、第 29 表に記載する。 **カマド**

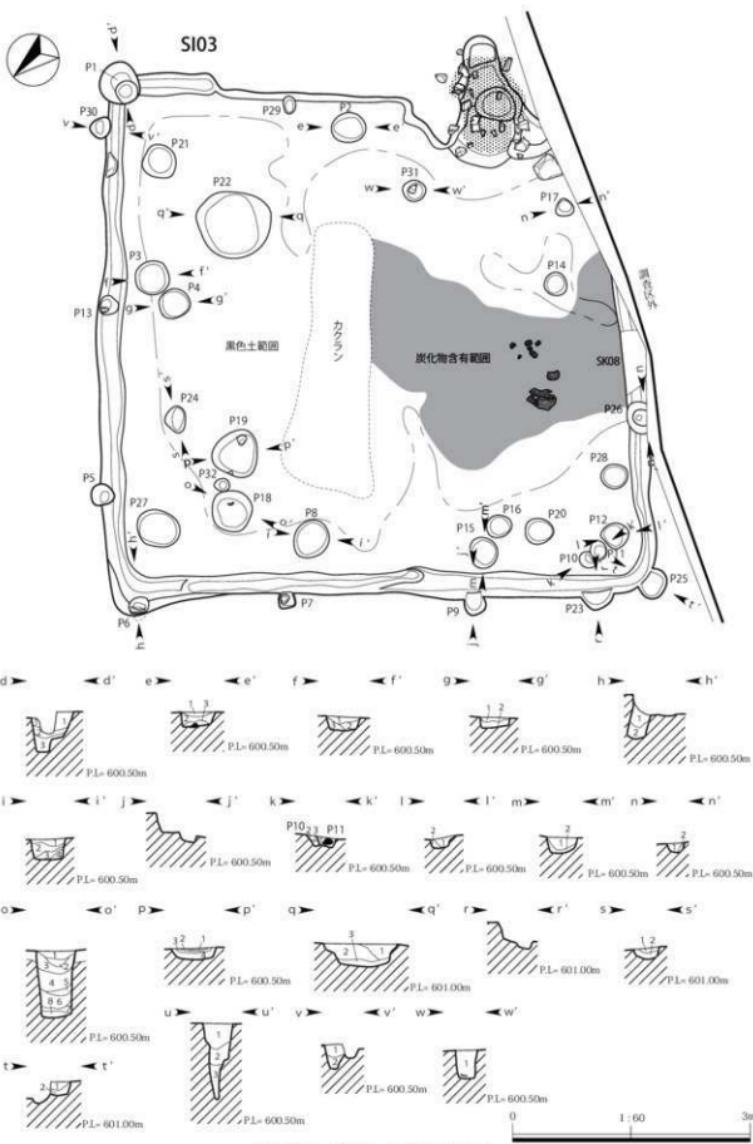
南東壁の南隅寄りに位置し、遺存状態は良好である。全長は 167cm を測り、最大幅は 149cm 残存する。火床面は 13cm 掘り込まれ、焼土部分は 8 cm の厚さを有する。ロームを含む土で外形を造り、支持材に自然石・切石の両方が使用されていた。 **その他の施設** 床下土坑が 8 基確認された。平面形は円形・隅丸方形・不整形が見られ、土器片・骨片など遺物が多数出土している。それぞれの規模は第 30 表に記載する。 **遺物検出状況** 西壁際およびカマド前方からまとめて検出された。掘り方では、中央部および東・南壁際の床下土坑からまとめて検出された。また、掘り方から 4 点、床下土坑 A・D から 2 点ずつの計 8 点の骨片が出土した。分析を行った結果、すべて良く焼かれた獸骨と推定され、床下土坑 D 出土の 1 点がニホンザルと同定された (第 8 編自然科学分析)。 **遺物** 出土遺物のうち、土師器 7 点、土師質土器 2 点、須恵器 27 点、灰釉陶器 3 点、石製紡錘車 1 点、鉄製品 2 点、土製品 1 点を図示し得た。その内、4 点が墨書き土器である。土師器表はコの字口状縁彫、台付彫が出土している。 **備考** 本遺構は、1 辻 6 m を超す特大型の竪穴住居跡である。床下土坑から出土した遺物が本遺構造成時のものと考えられることから、本遺構の解説時期は 9 世紀中葉頃と考えられる。



第248図 SI03実測図①(1/60)



第249図 S103実測図(2)(1/60)



第250図 SI03ピット実測図(1/60)

**S I O 3 ピット土層説明****d' P 1**

1. 黒褐色土層: 様性あり。しまり弱い。ロームブロック(φ 1cm)少量含む。ローム粒微量含む。
2. 黒褐色土層: 様性あり。しまり弱い。白色粒(輕石)(φ 5mm)微量含む。
3. 黒褐色土層: 様性あり。しまりあり。炭化粒微量含む。

**e' P 2**

1. 黒褐色土層: 様性ややあり。しまりあり。炭化粒(φ 1cm)白色粒(輕石)(φ 5mm)微量含む。
2. 黒褐色土層: 様性弱い。しまりややあり。炭化粒・白色粒(輕石)・YPk微量含む。
3. にぶい 黃褐色粘質土層: 様性ややあり。まりあり。炭化粒微量含む。

**f' P 3**

1. 黒褐色土層: 様性弱い。しまりあり。ロームブロック(φ 1cm)少量含む。ローム粒・炭化粒(φ 5mm)・白色粒(輕石)微量含む。
2. 黒褐色土層: 様性ややあり。しまり弱い。ロームブロック(φ 1cm)・ローム粒・炭化粒・白色粒(輕石)(φ 5mm)微量含む。
3. にぶい 黄褐色粘質土層: 様性弱い。しまりあり。黑色土粒(φ 10cm塊)少量含む。

**g' P 4**

1. 黒褐色土層: 様性弱い。しまりあり。炭化粒・白色粒(輕石)・YPk(φ 1cm)微量含む。
2. 黒褐色土層: 様性弱い。しまりあり。ロームブロック(φ 1cm)・ローム粒・炭化粒・白色粒(輕石)微量含む。

**h' P 6**

1. 黒褐色土層: 様性弱い。しまりあり。白色粒(輕石)少量含む。炭化粒・白色粒(輕石)(φ 5mm)・YPk(φ 5mm)微量含む。
2. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりあり。YPk(φ 5mm)少量含む。

**i' P 8**

1. 黒褐色土層: 様性弱い。しまりあり。ロームブロック(φ 2cm)多量含む。炭化粒(φ 3cm)・小礫少量含む。
2. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりあり。ロームブロック(φ 2cm)多量含む。炭化粒(φ 1cm)・燒土ブロック(φ 2cm)・小礫微量含む。
3. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック(φ 2cm)・燒土ブロック(φ 2cm)微量含む。
4. 褐色粘土層: 様性弱い。しまり弱い。ロームブロック(φ 1cm)・燒土粒微量含む。

**k' P 10-11**

1. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりあり。ローム粒多量含む。炭化粒(φ 1~2cm)少量含む。ロームブロック(φ 2~3cm)・燒土粒微量含む。(P11)
2. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりややあり。ローム粒多量含む。
3. 單層黑色土層: 様性弱い。しまりややあり。ローム粒多量含む。(UL P10)

**l' P 12**

1. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりあり。ロームブロック(φ 2~3cm)・炭化粒(φ 1cm)少量含む。
2. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりややあり。ローム粒多量含む。

**m' P 15**

1. 黑褐色土層: 様性ややあり。しまりやや弱い。ロームブロック(φ 1cm)少量含む。炭化粒(φ 2~3cm)微量含む。
2. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりややあり。ローム粒多量含む。

**n' P 17**

1. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりあり。ロームブロック(φ 1cm)微量含む。
2. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりややあり。ローム粒多量含む。

**o' P 18**

1. 黑褐色土層: 様性弱い。しまり弱い。ロームブロック(φ 1cm)・ローム粒・炭化粒粘膜状に多量含む。
2. 黑褐色土層: 様性弱い。しまり弱い。ロームブロック(φ 1~2cm)・ローム粒多量含む。炭化粒(φ 1cm)少量含む。
3. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック(φ 2~3cm)・ローム粒多量含む。炭化粒(φ 2cm)微量含む。
4. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりやや弱い。燒土ブロック(φ 3~5cm)多量含む。炭化粒(φ 3~4cm)少量含む。
5. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりやや弱い。燒土ブロック(φ 3cm)少量含む。
6. 單層褐色土層: 様性弱い。しまり弱い。燒土ブロック(φ 3cm)少量含む。
7. 黑褐色砂層: 様性弱い。しまり弱い。燒土粒多量含む。にぶい 黑褐色土(φ 1cm)多量含む。炭化粒(φ 5mm)少量含む。
8. 單層褐色土層: 様性弱い。しまり弱い。にぶい 黑褐色土(φ 5mm)微量含む。

**p' P 19**

1. 黑褐色土層: 様性あり。しまり弱い。炭化粒斑状に多量含む。ロームブロック(φ 1cm)・ローム粒少量含む。
2. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりなし。
3. 黑褐色土層: 様性弱い。しまり弱い。ロームブロック(φ 5mm)・ローム粒少量含む。
4. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりやや弱い。ロームブロック(φ 1~5cm)・ローム粒多量含む。炭化粒(φ 5mm)少量含む。

**q' P 22**

1. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりあり。ロームブロック(φ 1~3cm)・ローム粒・炭化粒(φ 1~2cm)少量含む。YPk(φ 1~2cm)微量含む。
2. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりあり。ロームブロック(φ 1~3cm)多量含む。ローム粒・YPk(φ 1~2cm)少量含む。
3. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりややあり。ロームブロック(φ 5mm)多量含む。ローム粒少量含む。

**s' P 24**

1. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりあり。ロームブロック(φ 3cm)・ローム粒少量含む。炭化粒(φ 1cm)微量含む。
2. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりややあり。ロームブロック(φ 1~3cm)多量含む。ローム粒少量含む。

**t' P 25**

1. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりあり。ロームブロック(φ 5mm)微量含む。
2. にぶい 黄褐色土層: 様性弱い。しまりあり。ロームブロック(φ 3cm)微量含む。

**u' P 26**

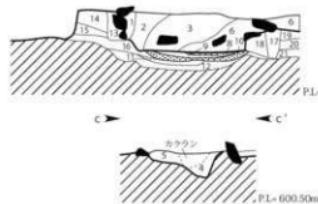
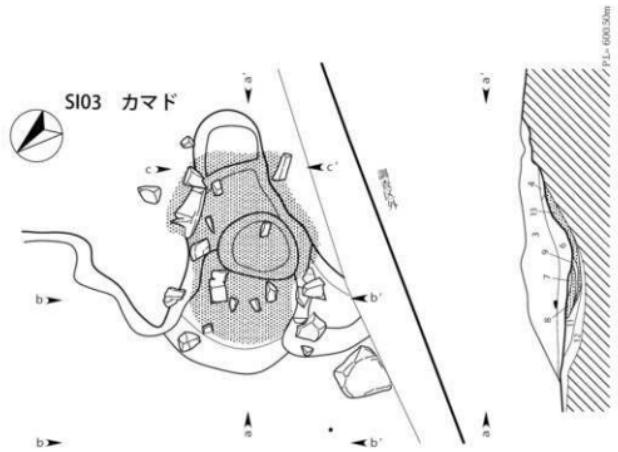
1. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりあり。ロームブロック(φ 5mm)微量含む。
2. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりあり。ロームブロック(φ 1~4cm)多量含む。炭化粒(φ 1~2cm)微量含む。
3. 黑褐色土層: 様性弱い。しまり弱い。褐色砂層大量含む。

**v' P 30**

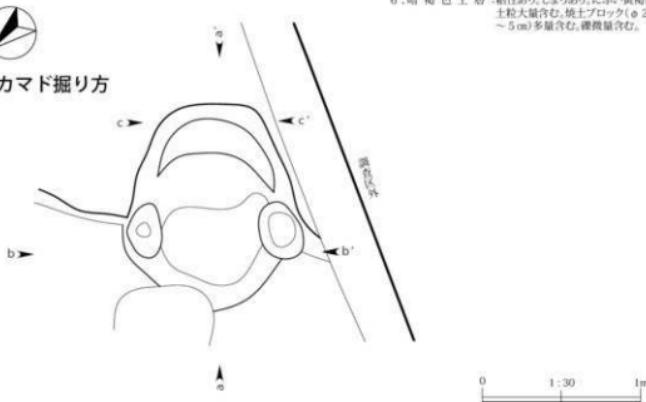
1. 黑褐色土層: 様性あり。しまりやや弱い。YPk(φ 5mm)少量含む。ローム粒微量含む。
2. 黑褐色土層: 様性弱い。しまりあり。ロームブロック(φ 1cm)・YPk微量含む。

**w' P 31**

1. 單層黑色土層: 様性ややあり。しまりあり。床下土坑の土と似る。



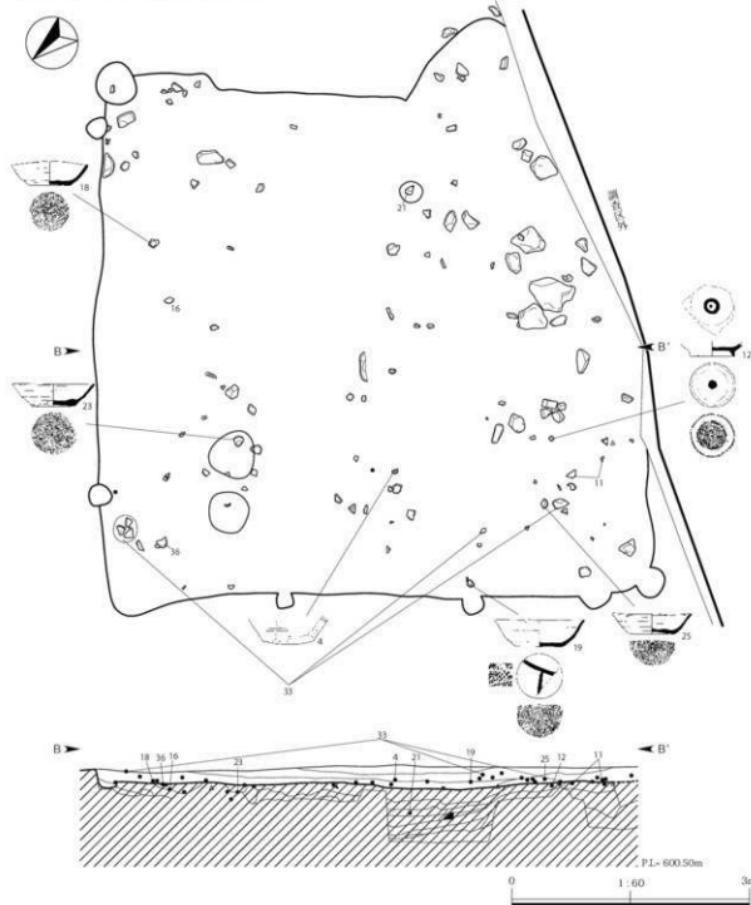
### SI03 カマド掘り方



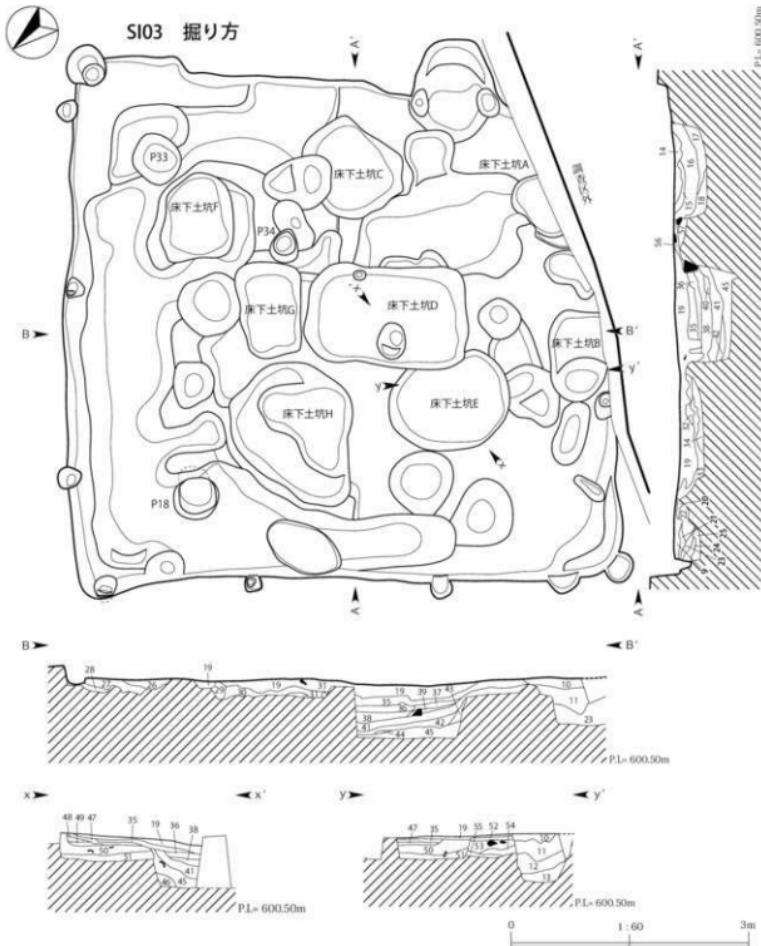
第251図 SI03カマド・カマド掘り方実測図(1/30)

SI03カマド掘り方土層説明  
a a' b b' c c'

7. にぶい赤褐色シルト質砂層:粘性ややあり。しまりあり。粘土粒微量含む。
8. 赤褐色シルト質 砂 層:粘性ない。しまりあり。粘土純別。
9. 暗褐色シルト質 砂 層:粘性弱い。しまりあり。炭化粒・焼土粒・白色粒(蛭石)微量含む。
10. 赤褐色シルト質 砂 層:粘性ない。しまりあり。ロームブロック間にシルト質砂含む。焼土純別。
11. 暗褐色シルト質 砂 層:粘性弱い。しまりあり。炭化粒(ø 5 mm)・白色粒(蛭石)微量含む。
12. 褐 色 シ ル ト 質 砂 層:粘性弱い。しまりあり。焼土粒(火床面)微量含む。
13. 黒 褐 色 土 層:粘性弱い。しまりあり。白色粒(蛭石)少量含む。ロームブロック(ø 3 cm)・ローム粒微量含む。礫(拳大)二個あり。
14. 黑 褐 色 土 層:粘性弱い。しまりあり。白色粒(蛭石)微量含む。
15. 黑 褐 色 土 層:粘性弱い。しまりあり。ロームブロック白色粒(蛭石)微量含む。
16. 黑 褐 色 土 層:粘性弱い。しまりあり。ロームブロック炭化粒・白色粒(蛭石)やや少量含む。炭化粒微量含む。
17. 黑 褐 色 土 層:粘性ややあり。しまりあり。ロームブロック炭化粒・白色粒(蛭石)ø 5 mm)微量含む。
18. にぶい黄褐色シルト質砂層:粘性弱い。しまりあり。白色粒(蛭石)少量含む。
19. 暗褐色 土 層:粘性弱い。しまりあり。ロームブロック(ø 5 mm)微量含む。
20. 黑 褐 色 土 層:粘性弱い。しまりあり。ロームブロック(ø 1 cm)少量含む。白色粒(蛭石)微量含む。
21. 黑 褐 色 土 層:粘性弱い。しまりあり。



第252図 SI03遺物出土状況図(1/60)



#### SI03掘り方 土壌説明

- AA'B'B'x'x' y'y'
9. 褐色粘質土 壤・粘性あり、しまりあり、ローム粒多量含む、白色粒(軽石)・YPK(φ 3cm)微量含む。
  10. 黒褐色土 壤・粘性あり、しまりややあり、炭化粒(φ 3cm)少量含む、ロームブロック(φ 5cm)・炭化粒・白色粒(軽石)微量含む。
  11. 黑褐色土 壤・粘性あり、しまりあり、ロームブロック(φ 1~3cm)・ローム粒多量含む、燒土粒(φ 5mm)・白色粒(軽石)微量含む。
  12. 黑褐色土 壤・粘性ややあり、しまりあり、ローム粒少量含む、ロームブロック(φ 3cm)・炭化粒・YPK(φ 1cm)微量含む。
  13. にぶく黄褐色土 壤・粘性弱め、しまりあり、砂質土(地山)少量含む、白色粒(軽石)(φ 3cm)微量含む。(11~13. 床下土坑B)
  14. 黑褐色土 壤・粘性ややあり、しまりあり、ロームブロック(φ 1cm)・ローム粒・炭化粒(φ 1cm)・白色粒(軽石)(φ 3cm)微量含む。
  15. 黑褐色土 壤・粘性ややあり、しまりあり、にぶく黄褐色土(φ 3cm)少量含む、炭化粒(φ 5mm)・燒土粒(φ 5mm)微量含む。
  16. 黑褐色土 壤・粘性弱め、しまりあり、ローム粒多量含む、燒土粒(φ 5mm)少量含む、ロームブロック(φ 1cm)・炭化粒(φ 5mm)・YPK(φ 5mm~1cm)微量含む。
  17. 黑褐色土 壤・粘性ややあり、しまりややあり、ローム粒や少量含む、炭化粒(φ 1cm)・燒土粒(φ 3cm)・白色粒(軽石)微量含む。(14~18. 床下土坑C)

第253図 SI03掘り方実測図(1/60)

## S103標付方土層説明

A'A'B'x'y'z'

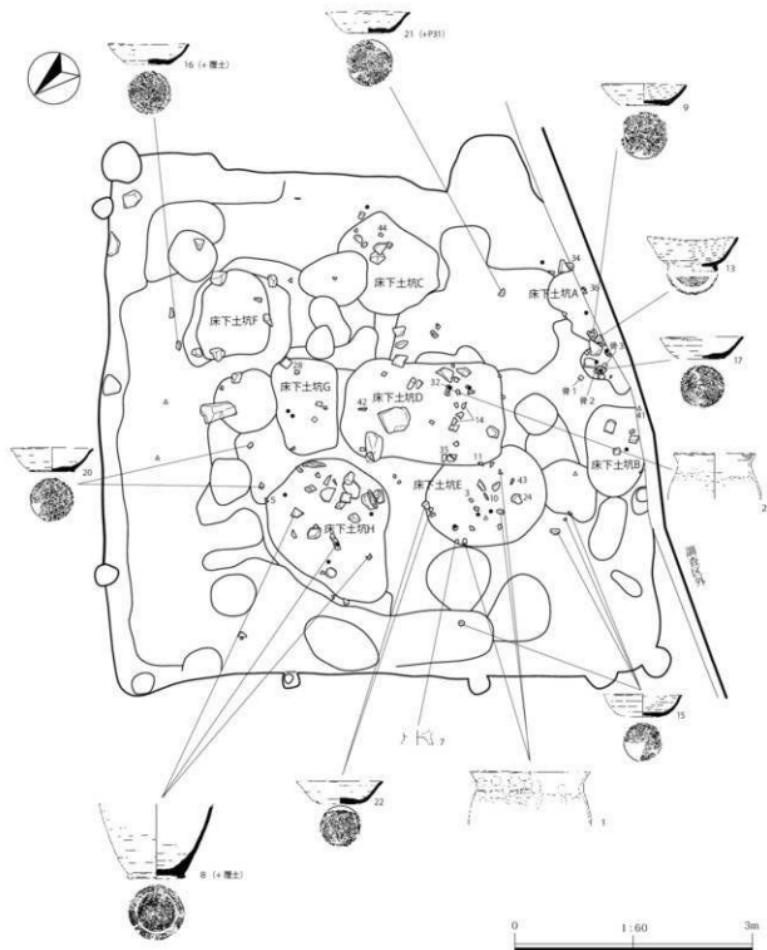
19. 黒 色 土 層: 粘性ややあり。しまりややあり。ロームブロック(φ 5mm)・炭化粒・(φ 3mm)少量含む。ロームブロック(φ 1cm)・ローム粒・白色粒(軽石)微量含む。
20. 黒 色 土 層: 粘性ややあり。しまりあり。ロームブロック(φ 5mm)多量含む。白色粒(軽石)微量含む。
21. 黒 色 土 層: 粘性ややあり。しまりあり。ロームブロック(φ 1cm)少量含む。白色粒(軽石)微量含む。
22. 黒 色 土 層: 粘性ややあり。しまりあり。YPA(φ 1cm)少量含む。白色粒(軽石)微量含む。
23. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ロームブロック(φ 5mm)少量含む。白色粒(軽石)微量含む。
24. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ロームブロック(φ 5mm)少量含む。白色粒(軽石)微量含む。
25. に い や 黄 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒多量含む。ロームブロック(φ 3mm)・白色粒(軽石)微量含む。
26. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒多量含む。炭化粒・YPA(φ 5mm)微量含む。
27. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ロームブロック(φ 5mm~1cm)・白色粒(軽石)少量含む。ローム粒・炭化粒・白色粒(軽石)(φ 5mm)微量含む。
28. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒少量含む。炭化粒・白色粒(軽石)(φ 5mm)微量含む。
29. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒少量含む。炭化粒(φ 5mm)・白色粒(軽石)(φ 5mm)微量含む。
30. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒少量含む。炭化粒(φ 5mm)微量含む。
31. 黑 色 土 层: (25)~(31)床下土坑H  
粘性ややあり。しまりあり。ローム粒多量含む。ロームブロック(φ 1cm)・炭化粒(粒・φ 1mm)・白色粒(軽石)微量含む。
32. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒少量含む。ロームブロック(φ 3mm)・炭化粒(粒・φ 1mm)少量含む。炭化粒(φ 5mm)・白色粒(軽石)微量含む。
33. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒少量含む。ロームブロック(φ 3mm)少量含む。白色粒微量含む。
34. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒大粒含む。ロームブロック(φ 3mm)多量含み黄色味強い。炭化粒(粒・φ 1mm)・白色粒(軽石)微量含む。  
(32)~(34)床下土坑H  
粘性ややあり。しまりあり。炭化粒大粒に含み材も含む。ロームブロック(φ 3mm)微量含む。白色粒(軽石)微量含む。
35. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒多量含む。ロームブロック(φ 1cm)少量含む。炭化粒・白色粒(軽石)微量含む。
36. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒少量含む。ロームブロック(φ 1cm)少量含む。炭化粒・白色粒(軽石)微量含む。
37. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒少量含む。ロームブロック(φ 1cm)・炭化粒・白色粒(軽石)・YPA(φ 1cm)微量含む。
38. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒少量含む。白色粒(軽石)微量含む。
39. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒少量含む。白色粒(軽石)微量含む。
40. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒少量含む。白色粒(軽石)微量含む。
41. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒少量含む。ロームブロック(φ 1cm)少量含む。白色粒(φ 5mm)・白色粒微量含む。
42. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒少量含む。ロームブロック(φ 1cm)少量含む。白色粒(軽石)(φ 5mm)微量含む。
43. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒少量含む。ロームブロック(φ 1cm)少量含む。炭化粒や少量含む。白色粒微量含む。
44. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。炭化粒微量含む。ローム粒・白色粒微量含む。
45. に 黄 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。
46. に 黄 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。YPA(φ 1cm)・暗褐色土少量含む。(35)~(46)床下土坑D  
粘性ややあり。しまりあり。ロームブロック(φ 1cm)・ローム粒・白色粒(軽石)微量含む。
47. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ロームブロック(φ 1cm)・ローム粒・白色粒(軽石)微量含む。
48. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ロームブロック(φ 5mm)・ローム粒・白色粒(軽石)微量含む。
49. 黄 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。白色粒微量含む。
50. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒多量含む。白色粒(φ 5mm)・白色粒(軽石)微量含む。ロームブロック(φ 10mm)  
(25)~(50)床下土坑E  
粘性ややあり。しまりあり。白色粒微量含む。
51. 暗 褐 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。炭化粒(φ 5mm)・白色粒(軽石)(φ 5mm)・YPA(φ 1cm)微量含む。(47)~(51)床下土坑E  
粘性ややあり。しまりあり。白色粒微量含む。
52. 不 い 褐 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒大粒含む。ロームブロック(φ 3cm)少量含む。白色粒(φ 1cm)微量含む。
53. 暗 褐 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒大粒含む。ロームブロック(φ 3cm)少量含む。白色粒(φ 1cm)微量含む。
54. 暗 褐 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒少量含む。YPA(φ 5mm)微量含む。
55. 暗 褐 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒・砂質土少量含む。ロームブロック(φ 1cm)・YPA(φ 5mm)微量含む。
56. 黑 色 土 层: 粘性ややあり。しまりあり。ローム粒少量含む。白色粒微量含む。
57. 黑 色 土 层: 粘性弱い。しまりあり。炭化粒(φ 5mm)微量含む。

第29表 S103 ピット計測表

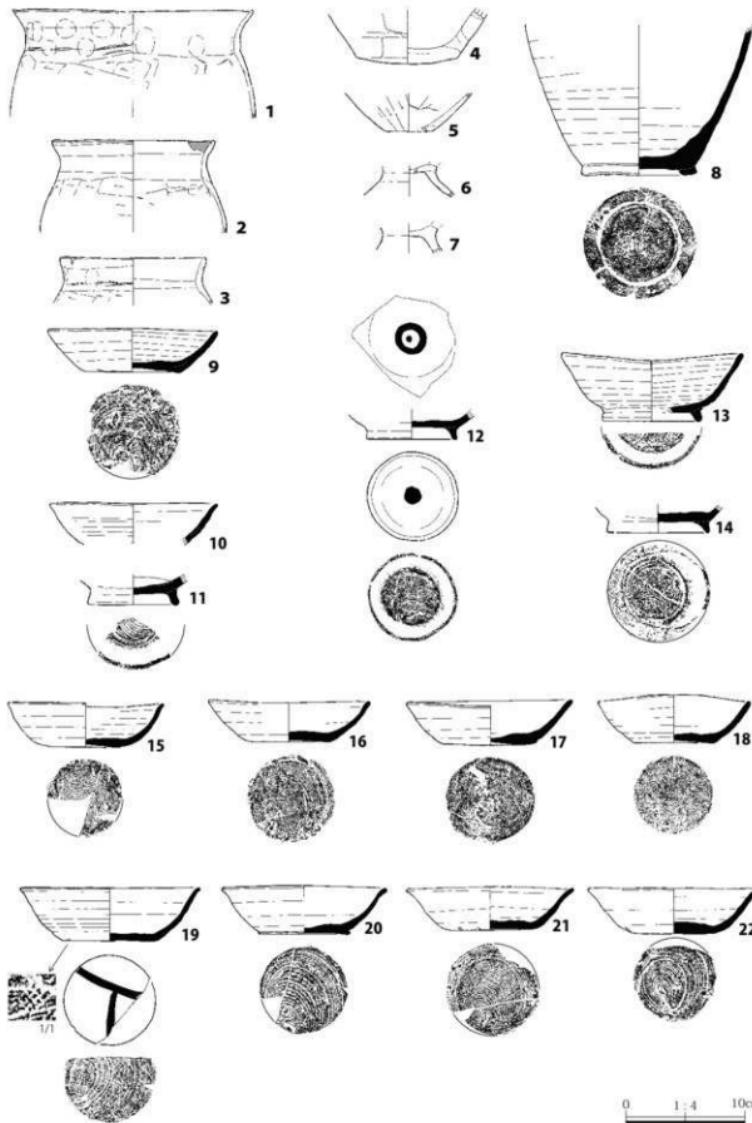
	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9
長軸長(cm)	53	44	42	39	29	27	(21)	51	(28)
短軸長(cm)	50	38	42	37	27	22	21	43	27
深さ(cm)	51	19	18	14	57	57	22	26	24
	P10	P11	P12	P13	P14	P15	P16	P17	P18
長軸長(cm)	23	25	36	24	30	39	33	23	54
短軸長(cm)	(17)	21	33	23	29	35	28	23	52
深さ(cm)	15	12	13	50	6	20	18	13	85
	P19	P20	P21	P22	P23	P24	P25	P26	P27
長軸長(cm)	60	36	45	95	42	34	39	41	54
短軸長(cm)	57	33	43	85	(23)	26	(35)	(24)	46
深さ(cm)	14	12	18	29	25	13	16	96	19
	P28	P29	P30	P31	P32	P33	P34		
長軸長(cm)	34	23	28	30	20	67	44		
短軸長(cm)	31	16	26	27	16	61	36		
深さ(cm)	10	16	30	36	18	23	63		

第30表 S103 床下土坑計測表

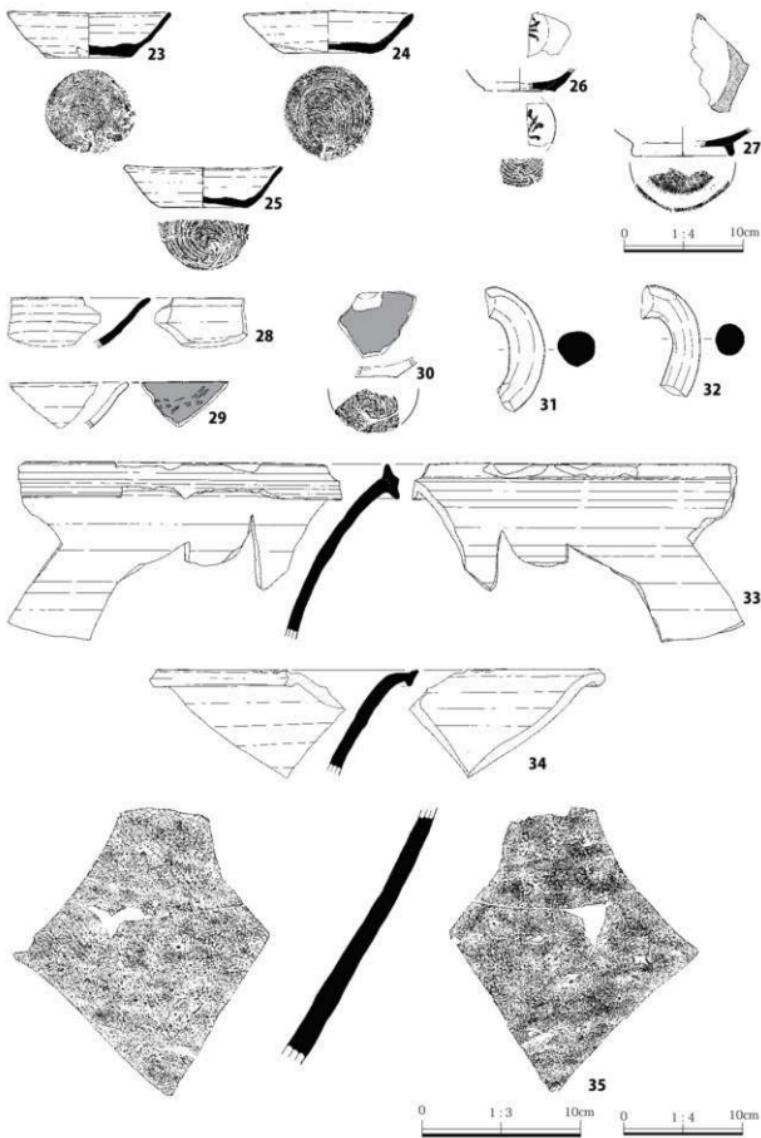
A	B	C	D	E	F	G	H	
長軸長(cm)	(105)	116	131	198	154	116	122	195
短軸長(cm)	(49)	(66)	122	132	126	86	83	157
深さ(cm)	29	40	36	36	16	20	11	20



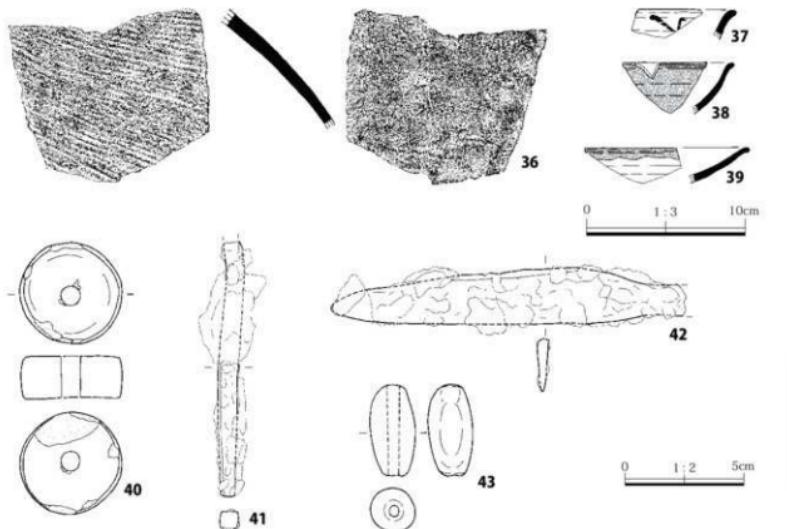
第254図 SI03掘り方遺物出土状況図(1/60)



第255図 S103出土遺物実測図①(1/4)



第256図 SI03出土遺物実測図②(1/3・1/4)



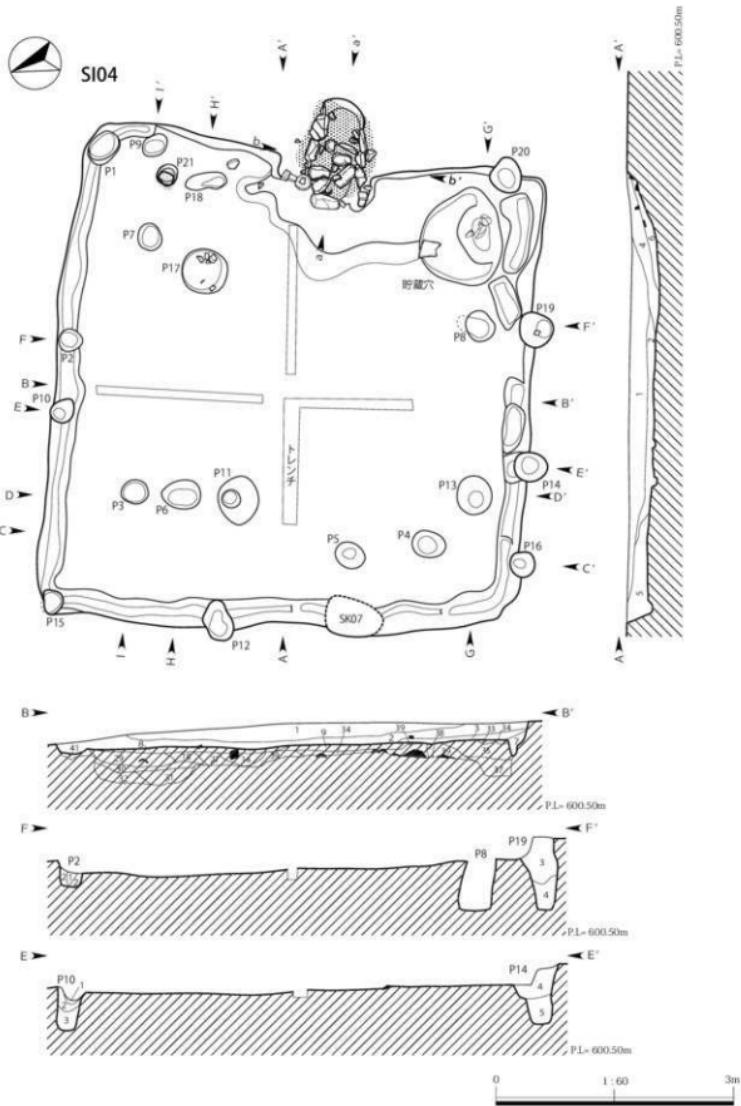
第257図 S103出土遺物実測図③(1/2・1/3)

S104 (第258～269図／P L 43・47・51～54)

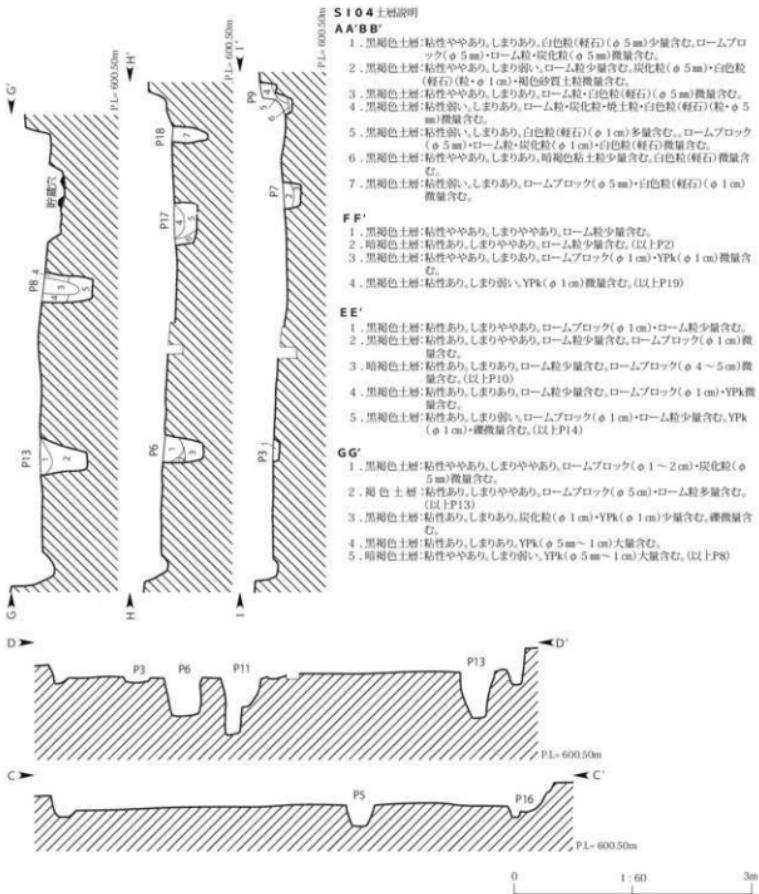
**位置** 3-6区T-1～3グリッド、3-7区A-1～3グリッド（調査区南部中央）。**重複関係** SK07と重複し、本遺構の方が新しい。**遺存状態** 良好。**覆土** 黒褐色土が基調で、黒色土や暗褐色・褐色砂礫土が掘り方で見られる。堆積状況は自然堆積を示す。**平面形と規模** 平面形は隅丸方形を呈する。規模は主軸は6.11m、副軸は6.10m、確認面からの深さは最深38cm、床面積は29.89m<sup>2</sup>を測る。**主軸方位** N-64°-W。**壁・壁溝** 壁高は北壁が6～18cm、東・西・南壁は23～40cmを測り、いずれの壁もやや外傾して立ち上がる。壁溝は西・南・北壁と東壁の北隅部付近で確認された。溝幅は16～41cm、床面からの深さは8～21cmを測る。**床面** 直床式であるが、貼床や踏み締りは確認されなかった。小さな高低差が見られるものの、概ね平坦である。**柱穴** P 1～P 23まで確認され、P 22・23は掘り方で確認された。平面形は円形・不整円形・楕円形を呈する。P 6・8・13・17は位置や深さから主柱穴と考えられる。P 1・2・10・14～16・19・20は壁際にあることから壁柱穴と考えられる。それぞれの規模は、第31表に記載する。

**カマド** 東壁のほぼ中央に位置し、遺存状態は良好である。全長は131cm、最大幅は133cmを測る。火床面は19cm掘り込まれ、焼土部分は14cmの厚さを有する。ロームを含んだ土で外形を造り、支持材に自然石・切石の両方が使用されていた。**その他の施設** 貯蔵穴1基と床下土坑6基が確認された。貯蔵穴はカマド向かって右側の南隅部に位置し、平面形は不整円形を呈する。長軸120cm、短軸105cm、床面からの深さは22cmを測る。床下土坑は西隅部・北隅部および北東部に位置し、平面形は不整円形・楕円形を呈する。土器片や自然石が多数出土している。それぞれの規模は第32表に記載する。**遺物検出状況** 南隅部および貯蔵穴、西隅部、カマド付近の覆土からまとめて検出された。貯蔵穴は底面付近から土器片が多数出土している。破片が多いことから住居廃絶後の遺物と考えられる。掘り方からは、床下土坑も含めて東半分からまとめて検出された。カマド・カマド掘り方・床下土坑Dから1点ずつ、貯蔵穴から5点の計8点の骨片が出土した。分析を行った結果、すべて良く焼かれた獸骨と推定された（第8編自然科学分析）。

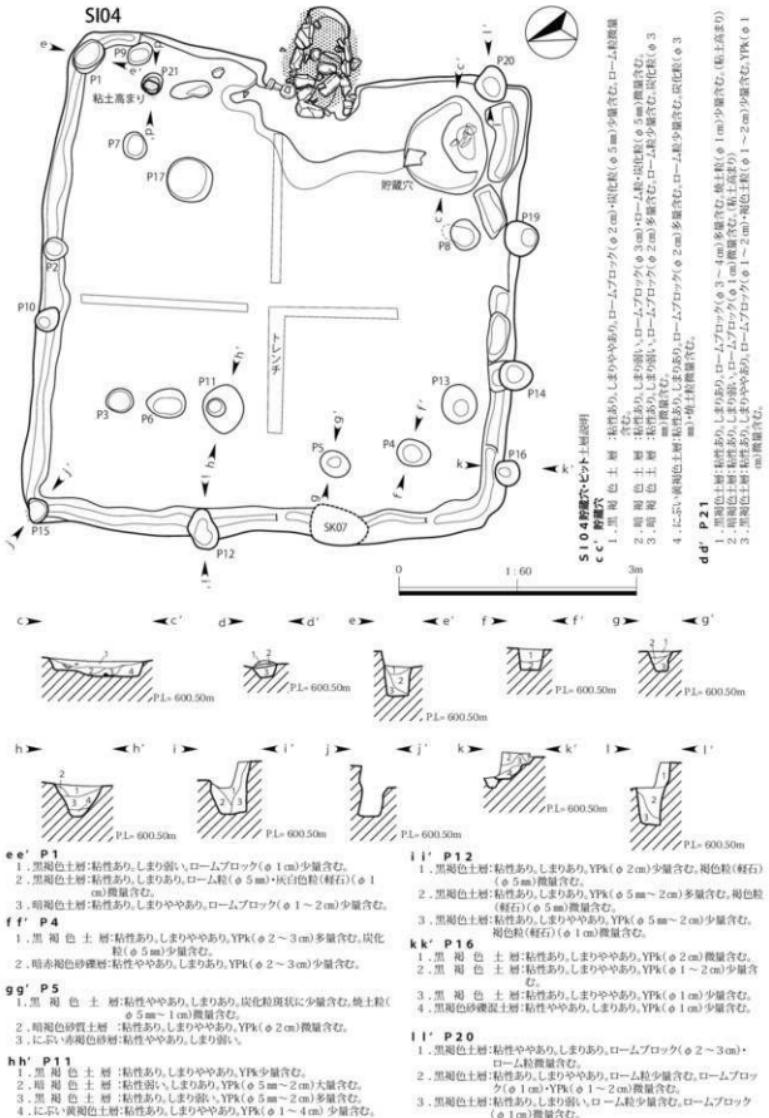
**遺物** 出土遺物のうち、

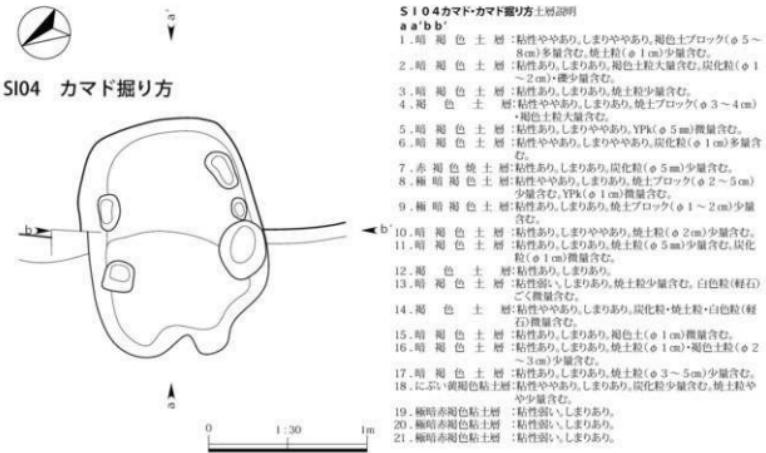
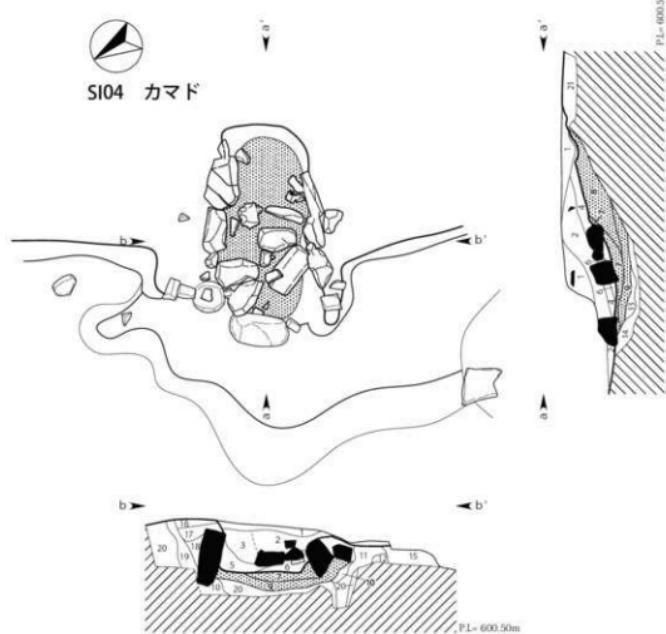


第258図 SI04実測図①(1/60)

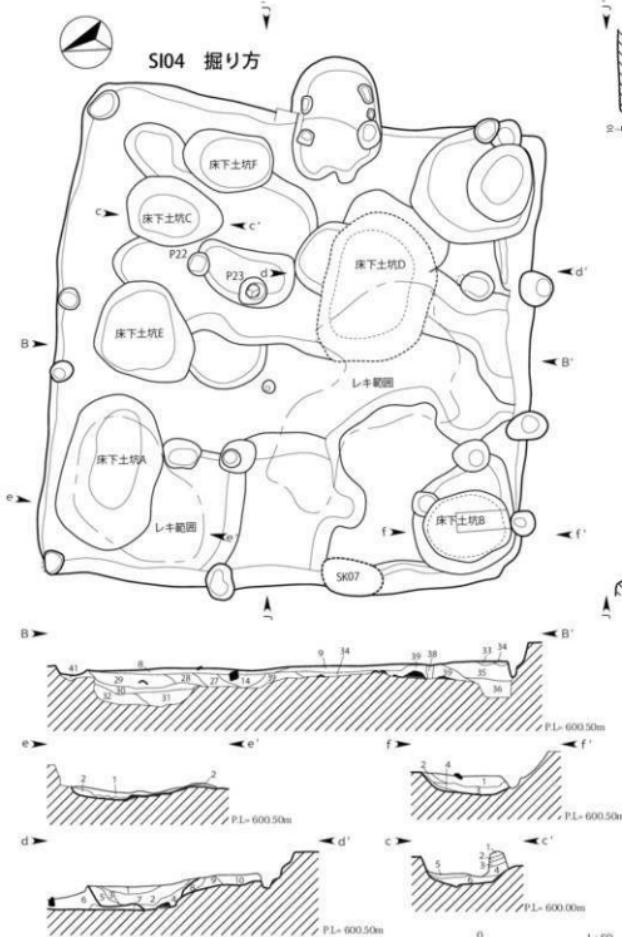
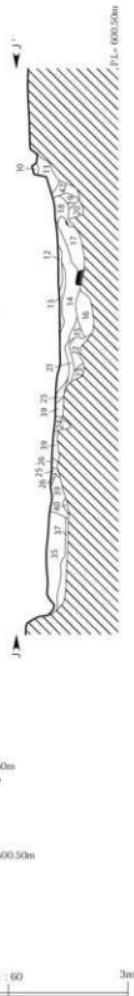


第259図 SI04実測図②(1/60)





第261図 SI04カマド・カマド掘り方実測図(1/30)



SI04 挖り方土層説明

8. 黒色土層: 黏性ややあり、しまりあり、炭化粒(φ 1mm)・白色粒(軽石) (φ 1mm)微量含む。
9. 黒色土層: 黏性弱い、しまりあり、炭化粒・白色(軽石) (φ 5mm) 掘量含む。
10. 暗褐色土層: 黏性ややあり、しまりややあり、埴土粒(φ 5mm) 少量含む。
11. 暗褐色土層: 黏性ややあり、しまりあり、明黄褐色土ブロック(φ 3~5cm) 多量含む、炭化粒(φ 1cm) 微量含む。
12. 黒褐色土層: 黏性ややあり、しまりあり、明黄褐色土ブロック(φ 1~3cm) 多量含む、埴土粒(φ 5mm) 少量含む。
13. 黑褐色土層: 黏性ややあり、しまりあり、埴土粒(φ 1mm)・明黄褐色土粒(φ 1mm) 微量含む。
14. 黑褐色土層: 黏性あり、しまりややあり、明黄褐色土ブロック(φ 5mm~10mm) 多量含む、炭化粒(φ 5mm~1cm) 少量含む、埴土粒(φ 5mm) 微量含む。
15. 黑褐色土層: 黏性あり、しまりややあり、明黄褐色土ブロック(φ 2~3cm) 少量含む。
16. 黑褐色土層: 黏性あり、しまりややあり、明黄褐色土ブロック(φ 5~7cm) 大量含む。
17. 暗褐色土層: 黏性あり、しまりややあり、埴土粒(φ 5mm~1cm) 多量含む、褐色土混合土。

第262図 SI04掘り方実測図(1/60)

## S104掘り方土壌説明

B'B'J'

18. 黒褐色土層：粘性ややあり。しまりあり。明黄褐色土ブロック(φ 3cm)多量含む。YPk(φ 5mm)少量含む。炭化粒(φ 5mm~1cm)・焼土粒(φ 5mm)微量含む。
19. 黒褐色土層：粘性あり。しまりあり。明黄褐色土粒(φ 1cm)多量含む。焼土粒(φ 5mm)微量含む。
20. 黒褐色土層：粘性あり。しまりあり。明黄褐色土粒(φ 1cm)多量含む。土塊ブロック(φ 2cm)少量含む。
21. 黒褐色土層：粘性あり。しまりややあり。褐色土ブロック(φ 2~3cm)少量含む。
22. 黒褐色土層：粘性あり。しまりややあり。褐色土(軽石) (φ 1~2cm)微量含む。
23. に赤褐色土層上部：粘性ややあり。しまりややあり。褐色土ブロック(φ 1cm)微量含む。
24. 黑褐色土層：粘性ややあり。しまりややあり。褐色土ブロック(φ 1cm)微量含む。
25. 黑褐色土層：粘性ややあり。しまりややあり。褐色土ブロック(φ 1cm)微量含む。
26. 黑褐色土層：粘性ややあり。しまりややあり。褐色土(重質土粒) (φ 5mm)微量含む。
27. 黑褐色土層：粘性あり。しまりあり。赤褐色土の凝泥土粒(φ 5mm)少量化。炭化粒(φ 5mm)・YPk(φ 1cm)微量含む。
28. 黑褐色土層：粘性ややあり。しまりややあり。褐色土(重質土粒) (φ 5mm)少量化。YPk(φ 1cm)微量含む。
29. 黑褐色土層：粘性あり。しまりややあり。炭化粒(φ 5mm)・YPk(φ 5mm)微量含む。
30. 黑褐色土層：粘性あり。しまりややあり。褐色土ブロック(φ 4mm)微量含む。
31. 黑褐色土層：粘性あり。しまりややあり。ロームブロック(φ 1cm)・褐色土ブロック(φ 3~5cm)微量含む。
32. 黑褐色土層：粘性あり。しまりややあり。ロームブロック(φ 1cm)・褐色土ブロック(φ 3~5cm)微量含む。(30.~32.床下土坑E)
33. 黑褐色土層：粘性あり。しまりややあり。YPk(φ 5mm)微量含む。
34. 黑褐色土層：粘性ややあり。しまりややあり。YPk(φ 5mm)微量含む。
35. 黑褐色土層：粘性あり。しまりややあり。YPk(φ 1~3cm)大量含む。褐色土ブロック(φ 2cm)少量含む。黒褐色土粒微量含む。
36. 黑褐色土層：粘性あり。しまりややややあり。YPk(φ 1~3cm)大量含む。黒褐色土粒微量含む。
37. 黑褐色土層：粘性なし。しまりややややあり。にぶく黄褐色砂多量含む。YPk(φ 1~3cm)少量含む。
38. 黑褐色土層：粘性なし。しまりややややあり。褐色土ブロック(φ 4~5cm)少量含む。
39. 黑褐色土層：粘性あり。しまりややあり。YPk(φ 1~3cm)大量含む。黒褐色土粒(φ 1~2cm)少量含む。
40. 黑褐色土層：粘性なし。しまりややややあり。
41. 黑褐色土層：粘性あり。しまりあり。炭化粒(φ 5mm)微量含む。黒褐色土凝泥含む。
42. 黑褐色土層：粘性あり。しまりあり。焼土粒(φ 5mm)微量含む。

**C'**

1. 黒褐色土層：粘性あり。しまり的。炭化粒(φ 1cm)・褐色土粒(φ 1cm)少量含む。
2. 黑褐色土層：粘性あり。しまりやや。褐色土ブロック(φ 1~5cm)多量含む。炭化粒(φ 1cm)少量含む。
3. 黑褐色土層：粘性あり。しまりやや。他土粒(φ 5mm)・褐色土粒(φ 5mm)少量含む。
4. 黑褐色土層：粘性あり。しまりやや。炭化粒(φ 1~3cm)・褐色土ブロック(φ 3~5cm)多量含む。
5. 黑褐色土層：粘性あり。しまりあり。炭化粒(φ 1cm)・焼土ブロック(φ 1~2cm)・褐色土ブロック(φ 1~3cm)少量化。YPk(φ 1cm)微量含む。
6. 黑褐色土層：粘性あり。しまりあり。焼土ブロック(φ 1~3cm)・褐色土ブロック(φ 1~3cm)多量含む。炭化粒(φ 1cm)少量含む。(以上床下土坑C)

**d'**

1. 黒褐色土層：粘性あり。しまりややあり。白色粒・炭化粒(φ 5mm)・白色粒(軽石)微量含む。YPk(φ 1cm)ごく微量含む。
2. 黑褐色土層：粘性あり。しまりやや。白色(軽石)少量化。ローム粒・燒土粒・白色粒(軽石)(φ 5mm)微量含む。
3. 黑褐色土層：粘性あり。しまりやや。他土粒(φ 5mm)・褐色土粒(φ 5mm)微量含む。
4. 黑褐色土層：粘性あり。しまりやや。白色粒(軽石)少量化。炭化粒(φ 5mm)微量含む。
5. 黑褐色土層：粘性あり。しまりやや。白色粒(軽石)少量化。ローム粒・燒土粒・白色粒(軽石)(φ 5mm)微量含む。(以上床下土坑D)
6. 黑褐色土層：粘性あり。しまりやや。白色粒(軽石)少量化。炭化粒(φ 5mm)微量含む。
7. 黑褐色土層：粘性あり。しまりやや。白色粒(軽石)少量化。YPk(φ 5mm)・褐色土(軽石)(φ 5mm)微量含む。
8. 黑褐色土層：粘性あり。しまりやや。白色粒(軽石)少量化。YPk(φ 3mm)微量含む。
9. 黑褐色土層：粘性あり。しまりやや。白色粒(軽石)少量化。YPk(φ 1cm)微量含む。
10. 黑褐色土層：粘性あり。しまりやややや。ロームブロック(φ 5mm~3cm)微量含む。燒土粒(φ 1cm)ごく微量含む。

**e'**

1. 黑褐色土層：粘性ややあり。しまりあり。YPk(φ 1~3cm)大量含む。赤褐色土ブロック(φ 3cm)少量化。ロームブロック(φ 2cm)微量含む。
2. にぶく赤褐色土層：粘性ややあり。しまりややあり。YPk(φ 1~3cm)微量含む。(以上床下土坑A)

**f'**

1. 黑褐色土層：粘性やや。しまりあり。YPk(φ 5mm~4cm)大量含む。炭化粒(φ 1~2cm)少量化。
2. 赤褐色土層：粘性やや。しまりやや。YPk(φ 5mm~1cm)微量含む。

3. 黄褐色砂礫層：粘性なし。しまりあり。

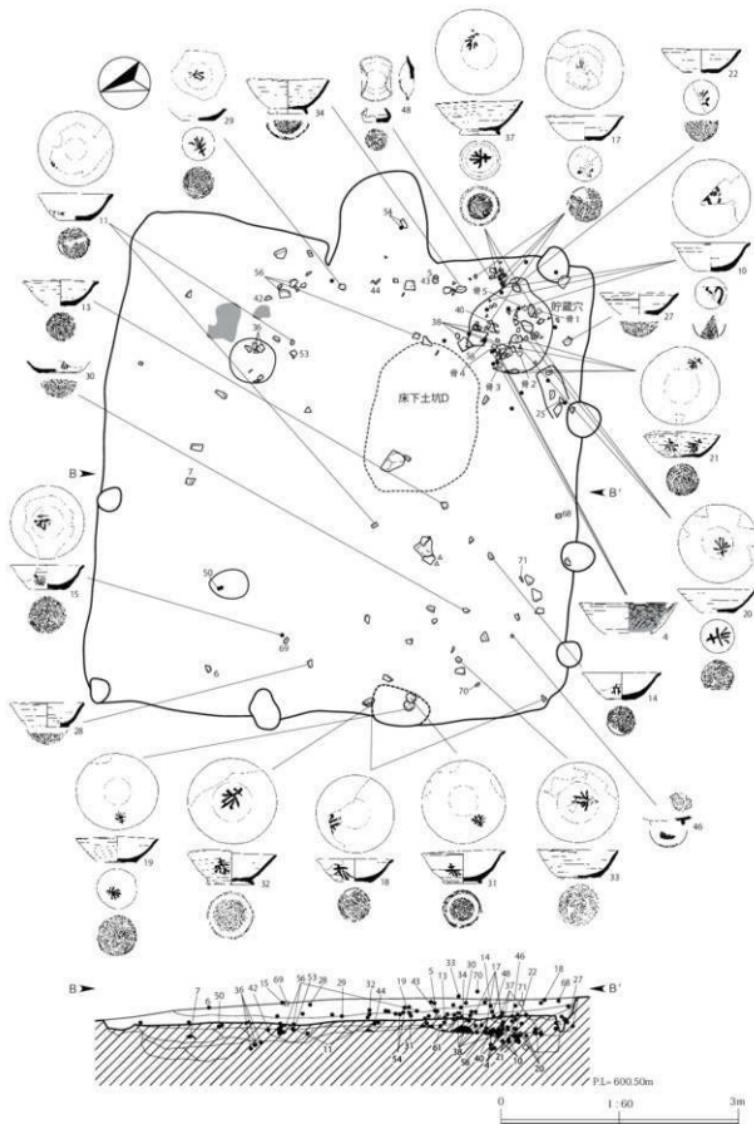
4. 黑褐色土層：粘性なし。しまりやや。砂礫大量含む。(以上床下土坑B)

第31表 S104 ピット計測表

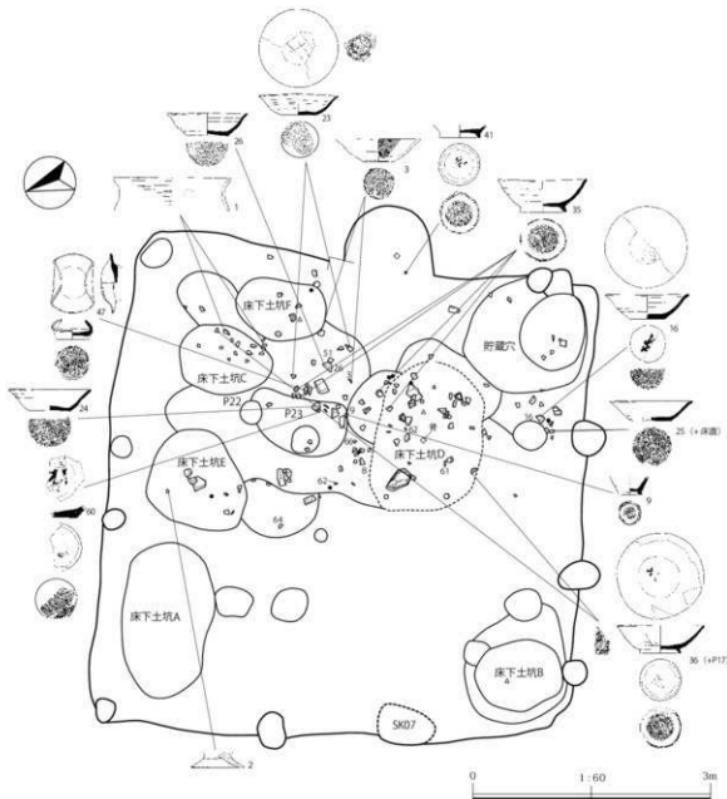
	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8
長軸長(cm)	45	30	35	43	38	50	35	39
短軸長(cm)	34	29	31	33	32	36	30	34
深さ(cm)	37	17	7	26	25	43	20	57
	P 9	P10	P11	P12	P13	P14	P15	P16
長軸長(cm)	34	34	62	51	49	56	31	33
短軸長(cm)	28	28	52	40	44	48	28	31
深さ(cm)	12	42	39	64	56	73	63	18
	P17	P18	P19	P20	P21	P22	P23	
長軸長(cm)	57	52	45	46	28	29	38	
短軸長(cm)	55	22	42	39	26	28	34	
深さ(cm)	23	37	86	79	15	22	33	

第32表 S104 床下土坑計測表

	A	B	C	D	E	F
長軸長(cm)	198	158	122	188	128	114
短軸長(cm)	121	128	88	135	122	78
深さ(cm)	12	21	36	32	22	45

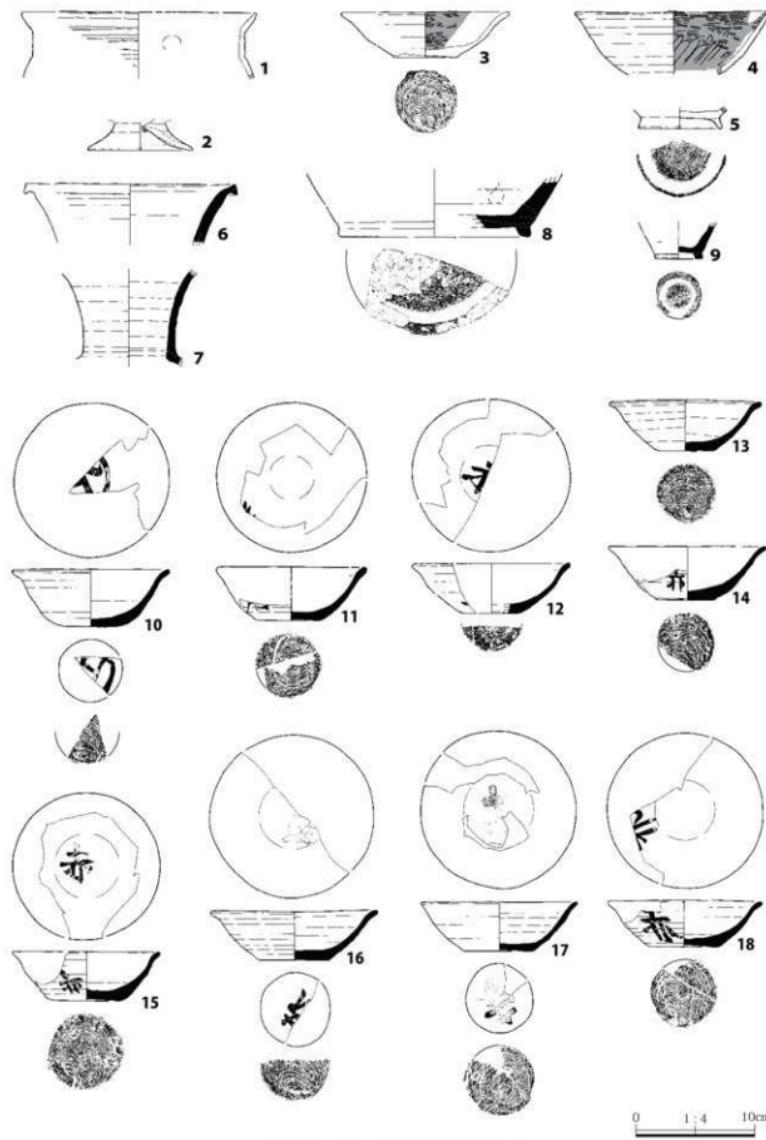


第263図 SI04遺物出土状況図(1/60)

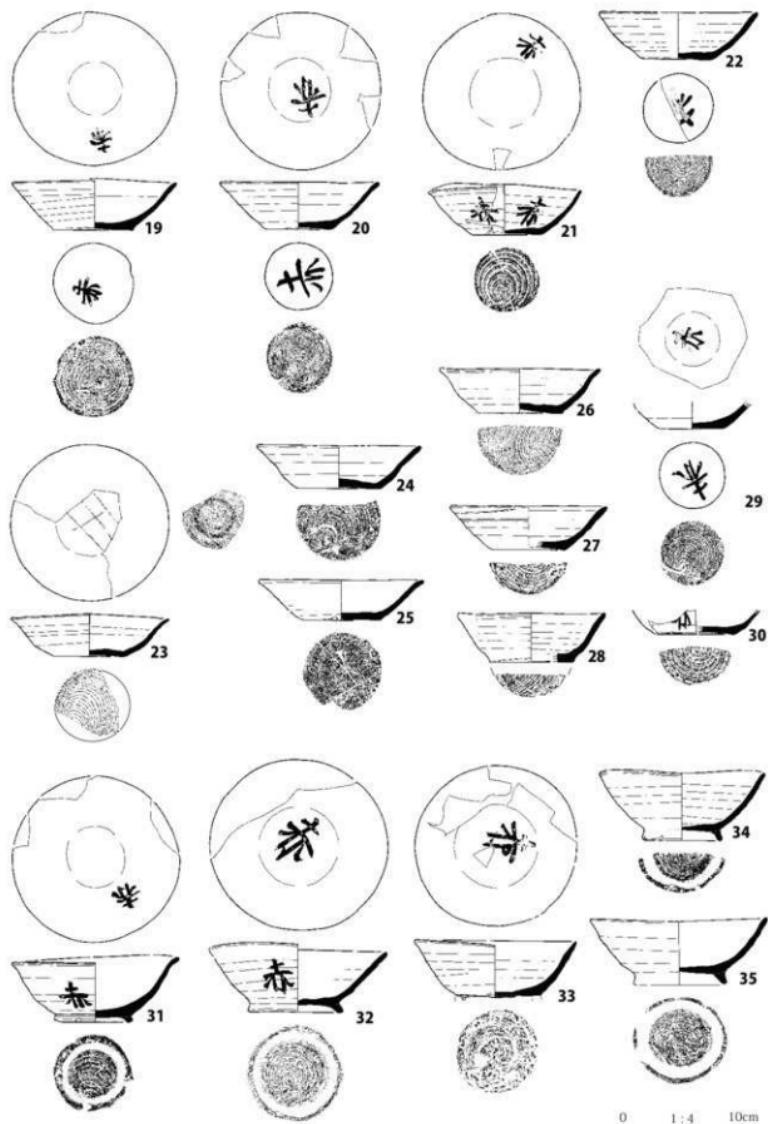


第264図 S104掘り方遺物出土状況図(1/60)

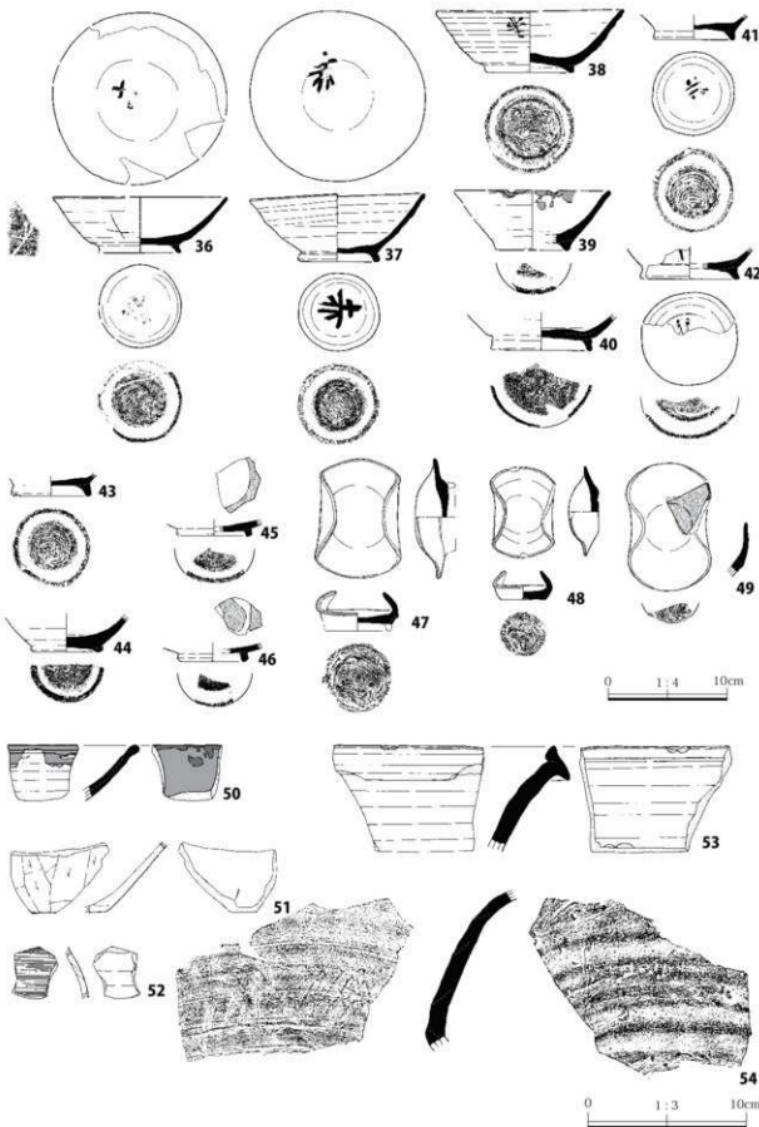
土師器4点、土師質土器4点、須恵器50点、灰釉陶器9点、石製品1点、羽口1点、鍛治津1点、土製品1点、鉄製品1点を図示し得た。その内墨書き土器が26点である。図示し得なかつた小破片も含め36点の墨書き土器が出土しているが、20点が「赤」の文字である。土師器表はコの字状口縁壺・台付壺のほか、ロクロ形の小型壺が出土している。**備考** 本遺構は、1辺6mを超す特大型の竪穴住居跡である。本遺構の特徴として、同時期の平野部の竪穴住居跡と比較して竪穴の規模が大きいことが挙げられる。また、多量の墨書き土器が出土しているが、そのほとんどの文字が「赤」である。床下土坑から出土した遺物が本遺構造成時のものと考えられることから、本遺構の帰属時期は9世紀中葉～後半頃と考えられる。



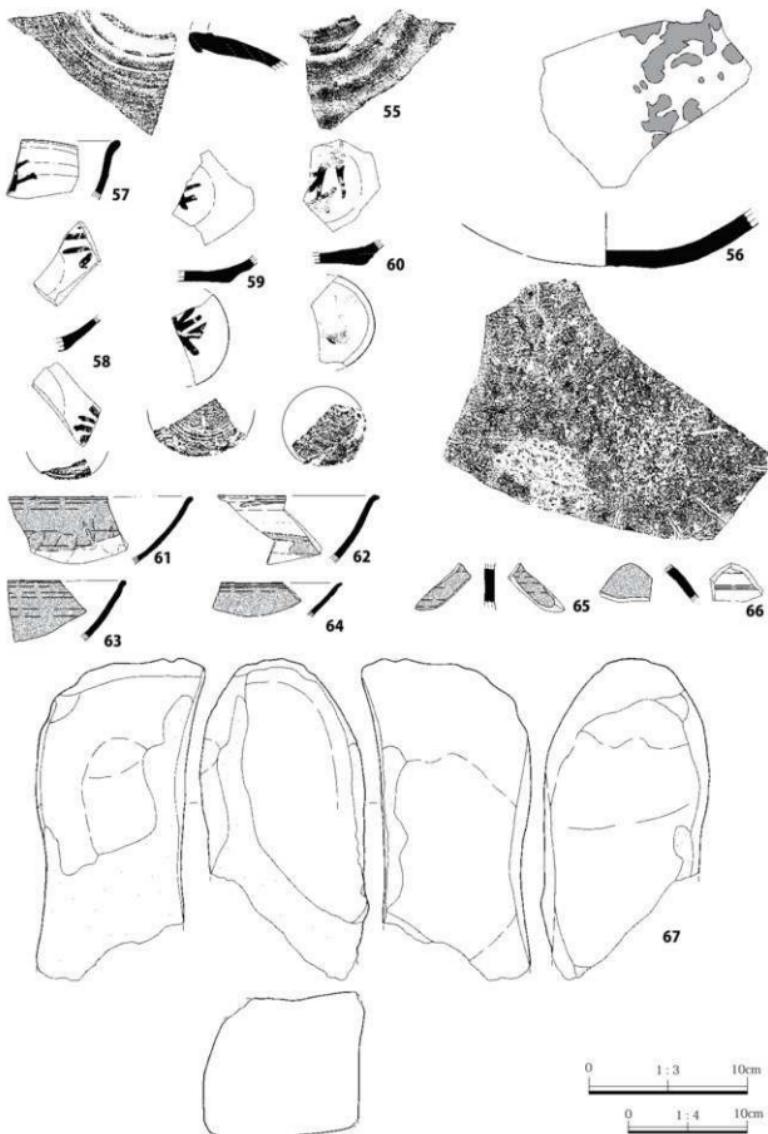
第265図 SI04出土遺物実測図①(1/4)



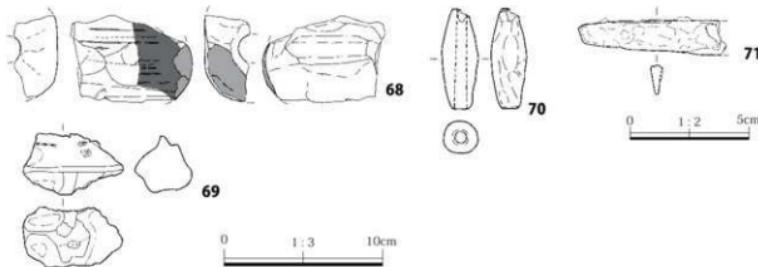
第266図 SI04出土遺物実測図②(1/4)



第267図 SI04出土遺物実測図③(1/3・1/4)



第268図 S104出土遺物実測図④(1/3・1/4)

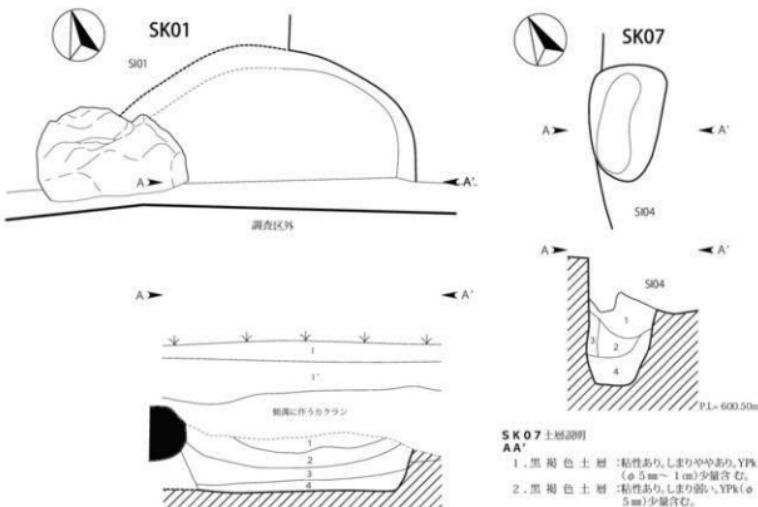


第269図 S104出土遺物実測図(⑤)(1/2・1/3)

## (2) 土坑

SK01 (第270図／PL.48)

**位置** 3-6区P-I・2グリッド（調査区南西部）。**重複関係** S101と重複し、本遺構の方が新しい。**遺存状態** 南半分は調査区外にあり、北半分の西側はS101を調査する際に一緒に掘り下げてしまったため壁面は残っていない。**覆土** 黒色土が基調で、自然堆積を示す。**平面形と規模** 南半分が調査区外にある



SK01土壙説明  
AA'

1. 黒褐色粘質土層：粘性あり。しまり弱い。白色粒（軽石）（粒・φ 5mm）微量含む。
2. 黒褐色粘質土層：粘性あり。しまり弱い。白色粒（軽石）（粒・φ 5mm）少量含む。微鉄化斑状に微量含む。
3. 黒 色 土 層：粘性弱い。しまりややあり。白色粒（軽石）（粒・φ 5mm）・漂（φ 1cm）微量含む。
4. 黒 色 土 層：粘性あり。しまり弱い。白色粒（軽石）・YPk（φ 3cm）微量含む。

SK07土壙説明

- AA'
1. 黒 色 土 層：粘性あり。しまりややあり。YPk（φ 5mm～1cm）少量含む。
2. 黒 色 土 層：粘性あり。しまり弱い。YPk（φ 5mm）少量含む。
3. にぶい黄褐色砂層：粘性ややあり。しまりややあり。YPk（φ 1cm）少量含む。
4. 黑 色 土 層：粘性あり。しまり弱い。YPk（φ 5mm）少量含む。にぶい赤褐色土ブロック（φ 10cm）微量含む。

第270図 SK01-07実測図(1/30)

ため詳細は不明であるが、平面形は円形を呈すると考えられる。規模は長軸は推定 195cm、短軸は 84cm 以上、確認面からの深さ 29cm を測る。**主軸方位** 不明。**壁面** 西壁は外傾して立ち上がる。**底面** 概ね平坦である。**遺物** なし。**備考** 本遺構は、形態に特徴がなく出土遺物がないことから性格は不明である。帰属時期は、遺構の切り合い関係から 9 世紀中葉以降と考えられる。

#### SK07 (第 270 図)

**位置** 3—6 区 T—2 グリッド (調査区南東部)。**重複関係** SI04 と重複し、本遺構の方が古いと判断した。

**遺存状態** 良好。**覆土** 上層は黒褐色土、下層は黄褐色砂・暗褐色土が堆積している。堆積状況は自然堆積を示す。**平面形と規模** 平面形は不整梢円形を呈する。規模は長軸 74cm、短軸 47cm、確認面からの深さ 80cm を測る。**主軸方位** N—40°—E。**壁面** ほぼ垂直に立ち上がる。**底面** 概ね平坦である。**遺物** 須恵器片が出土しているが、図示し得なかった。**備考** 本遺構は、形態に特徴がないことから性格は不明であるが、SI04 の壁柱穴の可能性がある。時期を特定し得る遺物は出土していないため帰属時期は不明であるが、遺構の切り合い関係から 9 世紀中葉よりも古いと考えられる。

#### SK15 (第 271 図／PL 48)

**位置** 3—7 区 A—3・B—3 グリッド (調査区南部中央)。**重複関係** SI03、SK16 と重複し、SI03 より古く、SK16 より新しい。**遺存状態** 東端部を SI03 に切られているが、概ね良好である。**覆土** 上層は黒褐色土、下層は褐色土・暗褐色土が堆積している。堆積状況は自然堆積を示す。**平面形と規模** 平面形は円形を呈すると考えられる。規模は長軸は 238cm 以上、短軸 248cm、確認面からの深さ 20cm を測る。**主軸方位** 不明。**壁面** 大きく外傾して立ち上がる。**底面** 西壁際が若干高いものの、概ね平坦である。

**遺物** 須恵器片が出土しているが、図示し得なかった。**備考** 本遺構は、時期を特定し得る遺物はなく、形態に特徴がないことから性格は不明である。帰属時期は、遺構の切り合い関係から 9 世紀中葉よりも古いと考えられる。

#### SK16 (第 271 図／PL 48)

**位置** 3—7 区 A—3 グリッド (調査区南部中央)。**重複関係** SI04、SK15 と重複し、本遺構の方が古い。

**遺存状態** 北西部 1／4 が SI04 に切られ、東端上部が SK15 に切られているが、その他は概ね良好である。

**覆土** 上層に黒褐色土、下層に暗褐色土・黒色土が堆積している。堆積状況は自然堆積を示す。**平面形と規模** 平面形は円形を呈すると考えられる。規模は長軸 300cm、短軸 251cm、確認面からの深さ 39cm を測る。

**主軸方位** 不明。**壁面** 大きく外傾して立ち上がる。**底面** 中央部に向かって緩やかに傾斜している。

**遺物** なし。**備考** 本遺構は、形態に特徴がなく出土遺物がないことから性格は不明である。帰属時期は、遺構の切り合い関係から 9 世紀中葉よりも古いと考えられる。

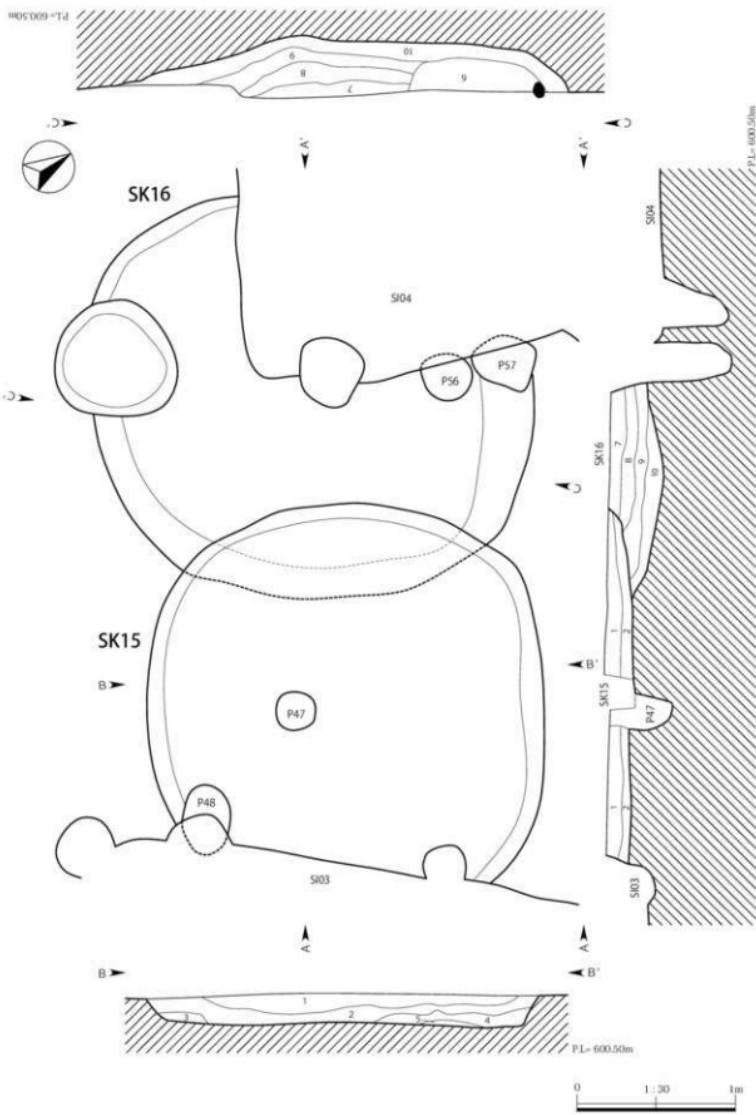
### 第 4 節 その他の遺構と遺物

#### (1) 土坑

##### SK03 (第 272 図／PL 48)

**位置** 3—6 区 P・Q—2 グリッド (調査区南西部)。**重複関係** なし。**遺存状態** 南半分が調査区外にあるが、良好である。**覆土** 黒色土が基調で、自然堆積を示す。**平面形と規模** 平面形は梢円形を呈する

ると考えられる。規模は長軸は 110cm、短軸は 48cm 以上、確認面からの深さ 20cm を測る。**主軸方位** N—70°—W。**壁面** 外傾して立ち上がる。**底面** 小さな窪みが 2か所あり、西側へわずかに傾斜するが概ね平坦である。**遺物** なし。**備考** 本遺構は、形態に特徴がなく出土遺物がないことから、性格・帰属時期は不明である。



第271図 SK15-16実測図(1/30)

## SK15・16 土層説明

AA'BB'C'

1. 黒褐色土層・粘性弱い・しまりあり、ローム粒や少量含む。ロームブロック(φ 5cm)・焼土粒・YPk(φ 1cm)微量含む。白色粒(輕石)ごく微量含む。
2. 黑褐色土層・粘性弱い・しまりあり、ローム粒少量含む。ロームブロック(φ 1cm)・白色粒(輕石)・YPk(φ 5mm~3cm)微量含む。
3. 黑褐色土層・粘性弱い・しまりあり、ローム粒多量含み茶色味強い。ロームブロック(φ 5cm)・白色粒(輕石)微量含む。
4. 黑褐色土層・粘性弱い・しまりあり、ローム粒多量含み茶色味強い。白色粒(輕石)やや少量含む。ロームブロック(φ 1cm)・YPk(φ 1cm)微量含む。
5. 褐色土層・粘性ややあり・しまりあり。白色粒(輕石)・YPk微量含む。(以上SK15)
6. 黒褐色土層・粘性あり・しまりややあり・ロームブロック(φ 5mm)・白色粒(輕石)(φ 5mm)微量含む。
7. 黑褐色土層・粘性弱い・しまりあり。ロームブロック(φ 5mm)・白色粒(φ 5mm)・白色粒(輕石)微量含む。
8. 黑褐色土層・粘性弱い・しまりあり。ロームブロック(φ 1cm)少量含む。白色粒(輕石)やや少量含む。灰化粒微量含む。
9. 黒色土層・粘性ややあり・しまりあり。ロームブロック(φ 1cm)・ローム粒・白色粒(輕石)少量含む。
10. 暗褐色土層・粘性ややあり・しまりあり。ローム粒多量含む。ロームブロック(φ 1cm)・白色粒(輕石)(φ 5mm)微量含む。(以上SK16)

## SK04 (第 272 図／PL 48)

**位置** 3—6 区 P・Q—1 グリッド (調査区南西部)。 **重複関係** なし。 **遺存状態** 北端部が調査区外にあるが、良好である。 **覆土** 上層は黒色土、下層は黒褐色土が堆積している。堆積状況は自然堆積を示す。

**平面形と規模** 平面形は円形を呈すると考えられる。規模は長軸は 106cm 以上、短軸は 99cm、確認面からの深さ 13cm を測る。 **主軸方位** N—40°—E **壁面** 大きく外傾して立ち上がる。 **底面** 北側に向かって非常に緩やかに傾斜しているが、概ね平坦である。 **遺物** なし。 **備考** 本遺構は、形態に特徴がなく出土遺物がないことから、性格・帰属時期は不明である。

## SK11 (第 272 図)

**位置** 3—7 区 C—2 グリッド (調査区南部中央)。 **重複関係** なし。 **遺存状態** 良好。 **覆土** 上層は黒色土、下層は黒褐色土が堆積している。堆積状況は自然堆積を示す。 **平面形と規模** 平面形は梢円形を呈する。規模は長軸 61cm、短軸 48cm、確認面からの深さ 17cm を測る。 **主軸方位** N—75°—W **壁面** 外傾して立ち上がる。 **底面** 南北両側に小さな窪みがあり、中央部に向かって緩やかに傾斜する。 **遺物** なし。 **備考** 本遺構は、形態に特徴がなく出土遺物がないことから、性格・帰属時期は不明である。

## SK12 (第 272 図／PL 48)

**位置** 3—7 区 B—2 グリッド (調査区南部中央)。 **重複関係** なし。 **遺存状態** 良好。 **覆土** 黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。 **平面形と規模** 平面形は梢円形を呈する。規模は長軸 123cm、短軸 93cm、確認面からの深さ 14cm を測る。 **主軸方位** N—67°—W **壁面** 西壁は外傾し、その他の壁は大きく外傾して立ち上がる。 **底面** 中央に向かって緩やかに傾斜するが、概ね平坦である。 **遺物** 須恵器片が出土しているが、図示し得なかった。 **備考** 本遺構は、形態に特徴がなく、時期を特定し得る遺物が出土していないことから、性格・帰属時期は不明である。

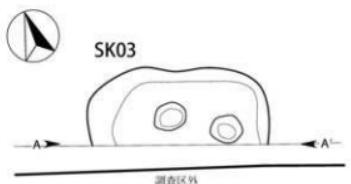
## SK13 (第 273 図／PL 48)

**位置** 3—7 区 A・B—3 グリッド (調査区南部中央)。 **重複関係** なし。 **遺存状態** 良好。 **覆土** 黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。 **平面形と規模** 平面形は梢円形を呈する。規模は長軸 67cm、短軸 55cm、確認面からの深さ 13cm を測る。 **主軸方位** N—60°—W **壁面** 外傾して立ち上がる。 **底面** 中央部がわずかに低くなっているが、概ね平坦である。 **遺物** なし。 **備考** 本遺構は、形態に特徴がなく出土遺物がないことから、性格・帰属時期は不明である。

## SK14 (第 273 図)

**位置** 3—6 区 S・T—3 グリッド (調査区南部中央)。 **重複関係** なし。 **遺存状態** 南半分が調査区外にあるが、良好である。 **覆土** 黒褐色土が基調で、自然堆積を示す。 **平面形と規模** 平面形は不整梢円形を呈すると考えられる。規模は長軸は 83cm 以上、短軸 114cm、確認面からの深さ 31cm を測る。 **主軸方位** 不明。 **壁面** 外傾して立ち上がる。 **底面** 小さな窪みが複数見られ、中央部が 1 段低くなっている。

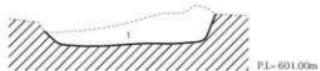
**遺物** なし。 **備考** 本遺構は、形態から植栽痕である可能性が高いと考えられる。帰属時期は、出土遺物が



A → A'



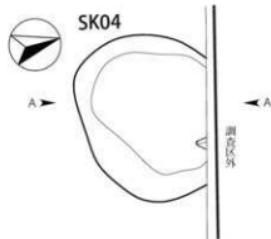
側面に伴うカクラン



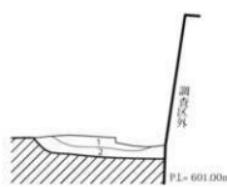
**SK03 土層説明**

AA'

1. 黒色土層：粘性あり。しまりあり。ローム粒少量含む。礫( $\phi$  3cm)微量含む。



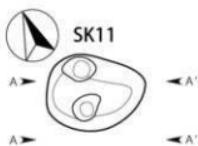
A → A'



**SK04 土層説明**

AA'

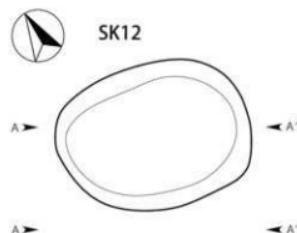
1. 黒色土層：粘性弱い。しまりややあり。炭化粒・YPk少量含む。白色粒(軽石)微量含む。
2. 黑褐色土層：粘性ややあり。しまりあり。ローム粒多量含む。



**SK11 土層説明**

AA'

1. 黒色土層：粘性ややあり。しまりあり。白色粒(軽石)や少量化合物。壤土粒微量含む。
2. 黑褐色土層：粘性ややあり。しまりややあり。壤土粒・白色粒(軽石)微量含む。



A → A'



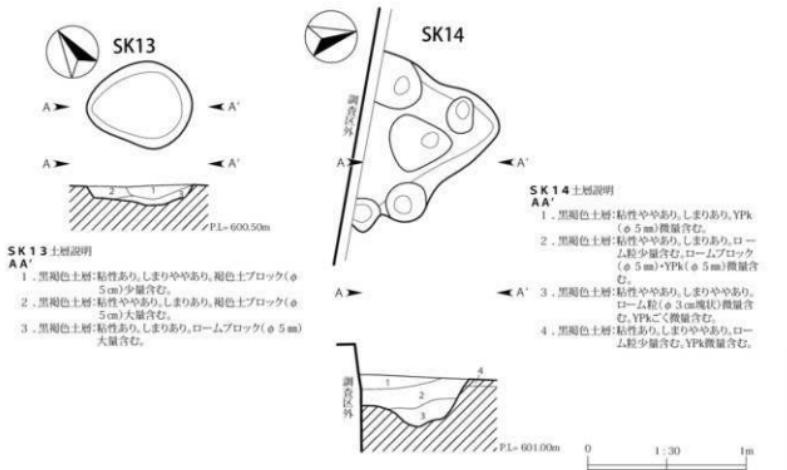
**SK12 土層説明**

AA'

1. 黑褐色土層：粘性ややあり。しまりあり。ローム粒・白色粒(軽石)( $\phi$  1cm)微量含む。
2. 黑褐色土層：粘性あり。しまりややあり。褐色土ブロック( $\phi$  3cm)少量含む。ローム粒・炭化粒( $\phi$  3mm)微量含む。

0 1:30 1m

第272図 SK03・04・11・12実測図(1/30)

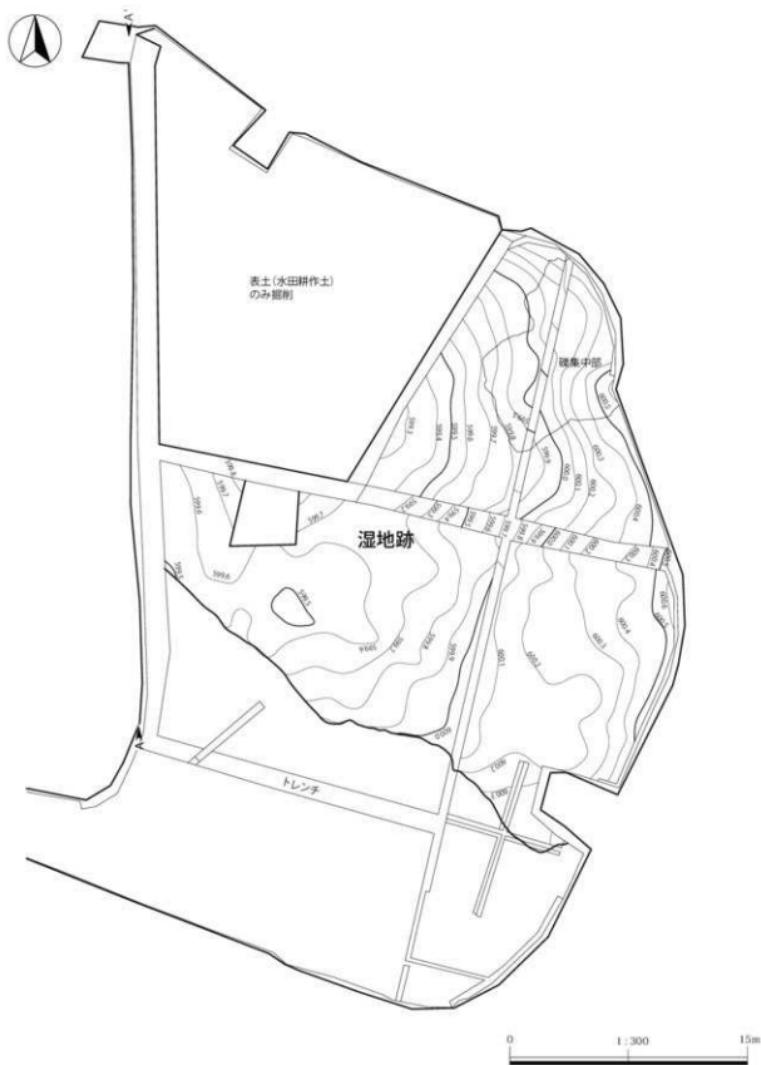


第273図 SK13・14実測図(1/30)

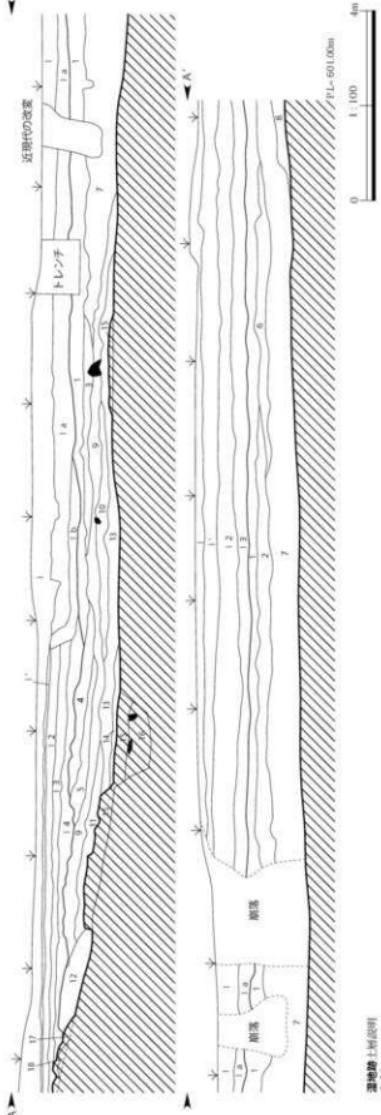
ないことから不明である。

## (2) 濡地跡 (第274・275図/PL 48)

**位置** 調査範囲の北側約3/4で確認された。 **覆土** 水田耕作土・水田基盤土の下に水田を造成するための盛土が、盛土の下で旧表土が確認された。濡地跡の堆積土は、黒色・黒褐色砂質シルト、灰黃褐色砂、黒色・黒褐色砂質シルトの順で堆積している。いずれも枝や木の実などの植物遺体が含まれていた。 **底面** 東から西へ向かっては、非常に緩やかに傾斜している。南から北へ向かっては、微高地が緩やかに傾斜し、傾斜がなくなり概ね平坦になった後、調査区北側で非常に緩やかに上り始めることが確認された。 **遺物** 調査区南東部の微高地と濡地跡の境付近からは、多量の土師器・須恵器片のほか石器・自然石が出土している。 **概要** 調査開始時、稻刈り後の水田であったが、水が引かず常にぬかるんだ状態であった。重機で礫を含む砂質シルト層・砂層の地山まで掘削を行ない、濡地跡の地形確認を行なった。北西部約1/4については、排土置き場に限りがあったこと、濡地跡が続くと予想されたことから、調査区西端部にトレンチを入れて濡地跡が広がることを確認したうえで、表土（水田耕作土）の掘削のみで調査を終了した。重機で掘削を始めた当初から水が浸み出してきており、水中ポンプで常に汲み出さないと調査ができない状況であった。枝や木の実などの植物遺体を含む砂質シルト・砂が堆積している状況から、常に水が流れつつ土砂が堆積していき、濡地状になっていたものと考えられる。東西方向の緩傾斜は調査区外の西側へと延びていき、段丘面境の小支谷へつながると考えられる。北方向へは緩やかな上り勾配は調査区外北側へと延びていき、濡地跡範囲は王城山の山裾まで至ると考えられる。調査区南東部から出土した土師器・須恵器は、竪穴住居跡出土遺物と同時期と考えられることから、9世紀代にはまだ埋まっていない状態であったと考えられる。



第274図 濡地跡実測図①(1/300)



#### A-A'

1. 黒褐色シルト質砂質：粘性分ややあり、上り引け。  
1a. 黒褐色シルト質砂質：粘性分ややあり、本質弱酸性で弱酸化物を含む、YPK (1 cm) 間隔含む。  
1b. 黒褐色シルト質砂質：粘性分ややあり、本質弱酸性で弱酸化物を含む、YPK (1 cm) 間隔含む。  
12. 黑褐色シルト質砂質：粘性分ややあり、本質弱酸性で弱酸化物を含む、YPK (1 cm) 間隔含む。  
13. 黑褐色シルト質砂質：粘性分ややあり、YPK (1 cm) 間隔含む。  
14. 黑褐色シルト質砂質：粘性分ややあり、YPK (1 cm) 間隔含む。  
1. 黑褐色シルト質砂質：粘性分ややあり、本質弱酸性で弱酸化物を含む、YPK (1 cm) 間隔含む。YPK < 植被無し。(目表上)  
3. 黑褐色砂質シルト質砂質：粘性分ややあり、本質弱酸性で弱酸化物を含む、YPK (1 cm) 間隔含む。  
4. 黑褐色シルト質砂質：粘性分ややあり、本質弱酸性で弱酸化物を含む、YPK (1 cm) 間隔含む。  
5. 黑褐色シルト質砂質：粘性分ややあり、本質弱酸性で弱酸化物を含む、YPK (1 cm) 間隔含む。  
6. 黑褐色砂質シルト質砂質：粘性分ややあり、本質弱酸性で弱酸化物を含む、YPK (1 cm) 間隔含む。  
7. 黑褐色砂質シルト質砂質：粘性分ややあり、本質弱酸性で弱酸化物を含む、YPK (1 cm) 間隔含む。  
8. 黑褐色シルト質砂質：粘性分ややあり、本質弱酸性で弱酸化物を含む、YPK (1 cm) 間隔含む。  
9. 黑褐色シルト質砂質：粘性分ややあり、本質弱酸性で弱酸化物を含む、YPK (1 cm) 間隔含む。  
10. 黑褐色砂質シルト質砂質：粘性分ややあり、本質弱酸性で弱酸化物を含む、YPK (1 cm) 間隔含む。  
11. 黑褐色シルト質砂質：粘性分ややあり、本質弱酸性で弱酸化物を含む、YPK (1 cm) 間隔含む。  
12. 黑褐色シルト質砂質：粘性分ややあり、本質弱酸性で弱酸化物を含む、YPK (1 cm) 間隔含む。  
13. 黑褐色シルト質砂質：粘性分ややあり、本質弱酸性で弱酸化物を含む、YPK (1 cm) 間隔含む。  
14. 黑褐色砂質シルト質砂質：粘性分ややあり、本質弱酸性で弱酸化物を含む、YPK (1 cm) 間隔含む。  
15. 黑褐色砂質シルト質砂質：粘性分ややあり、本質弱酸性で弱酸化物を含む、YPK (1 cm) 間隔含む。  
16. 黑褐色砂質シルト質砂質：粘性分ややあり、本質弱酸性で弱酸化物を含む、YPK (1 cm) 間隔含む。  
17. 黑褐色砂質シルト質砂質：粘性分ややあり、本質弱酸性で弱酸化物を含む、YPK (1 cm) 間隔含む。  
18. 黑褐色砂質シルト質砂質：粘性分ややあり、本質弱酸性で弱酸化物を含む、YPK (1 cm) 間隔含む。

第275図 湿地地形図②(1/100)

### (3) ピット (第234図)

今回の発掘調査では、ピットは57基確認された。すべてのピットが調査区南部中央に分布している。直線上に並ぶものも確認されたが、建物跡や柱列を捉えることはできなかった。ピットの平面形や規模などの諸属性は第33表に記載した。

第33表 中棚I遺跡ピット観察表

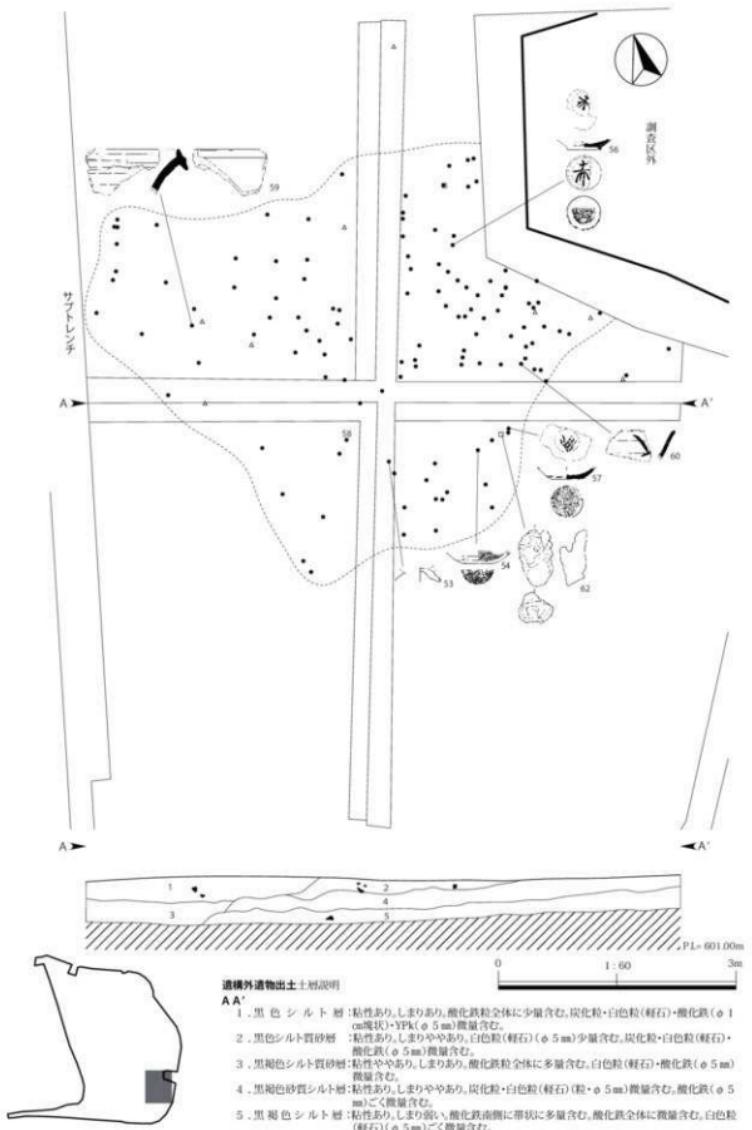
遺構名	位置	平面形	規格(cm) 長軸長 短軸長 深さ	覆土	備考	遺構名	位置	平面形	規格(cm)		覆土	備考	
									長軸長	短軸長			
P01	3-6区S-2	円形	27 25 35	B		P30	3-7区B-2	円形	27	26	11	B	
P02	3-6区T-3	不整形	44 43 47	B		P31	3-7区B+C-2	円形	34	32	19	B	
P03	3-6区T-3	楕丸方形	23 21 26	B		P32	3-7区C-2	円形	39	37	14	C	
P04	3-6区T-3		<36> 26	B		P33	3-7区C-2	円形	58	56	27	B	
P05	3-6区T-3	楕円形	27 21 14	B		P34	3-7区C-2	円形	44	40	30	B	
P06	3-6区T-3	楕円形	29 25 13	B		P35	3-7区C-2	円形	46	39	12	B	
P07	3-6区T-3	円形	37 32 37	B		P36	3-7区C-2	円形	39	36	23	C	
P08	3-6区T-3	楕円形	42	26	17	B	P37	3-7区C-4	円形	23	21	29	B
P09	3-6区T-3	円形	(42) (32) 10	B		P38	3-7区C-4	円形	22	18	9	B	
P10	3-6区T-3	楕丸方形	27 19 28	B		P39	3-7区C-4	円形	26	24	14	B	
P11	3-6区T-3	円形	25	21	44	A	P40	3-7区C-4	円形	39	(27)	22	B
P12	3-7区A-3	円形	25	19	11	B	P41	3-7区C-4	円形	27	(17)	29	B
P13	3-7区A-3	円形	26	26	24	B	P42	3-7区C-4	円形	(14)	21	28	B
P14	3-6区T-3	円形	30	27	21	B	P43	3-7区C+D-4	円形	58	56	32	B
P15	3-6区T-3	円形	34	33	23	B	P44	3-6区T-3	円形	24	23	14	D
P16	3-6区T-3	円形	22	18	20	B	P45	3-7区B-2	楕円形	62	44	7	B
P17	3-6区T-3	不整形	56	(48)	—	B	P46	3-7区A-3	円形	62	(33)	27	B
P18	3-6区T-3	円形	32	28	21	B	P47	3-7区A-3	円形	26	25	39	A
P19	3-7区B-3	円形	33	29	35	B	P48	3-7区A-3	楕円形	43	30	48	A
P20	3-7区B-2+3	円形	31	27	24	B	P49	3-7区C-2	楕円形	66	41	23	B
P21	3-7区B-2	円形	26	26	40	B	P50	3-7区A-1+2	楕円形	31	24	16	A
P22	3-7区B-2	円形	23	22	10	B	P51	3-7区B-2	楕円形	(29)	30	12	A
P23	3-7区B-2	円形	35	33	7	B	P52	3-7区A-2	楕円形	37	29	11	A
P24	3-7区B-2	円形	33	28	35	B	P53	3-7区B-2	不整形	45	41	15	C
P25	3-7区B-2	円形	35	33	36	B	P54	3-7区B-2	円形	29	26	17	C
P26	3-7区B-2	楕円形	49	37	36	B	P55	3-7区A-2	円形	20	19	17	B
P27	3-7区B-2	円形	47	47	34	B	P56	3-7区A-3	円形	33	30	18	B
P28	3-7区B-2	楕円形	24	20	35	B	P57	3-7区A-3	不整形	39	32	45	B
P29	3-7区B-2	円形	24	22	20	B							

\* A：黒色土 B：黒褐色土 C：暗褐色土 D：褐色土 E：にぶい黄褐色土

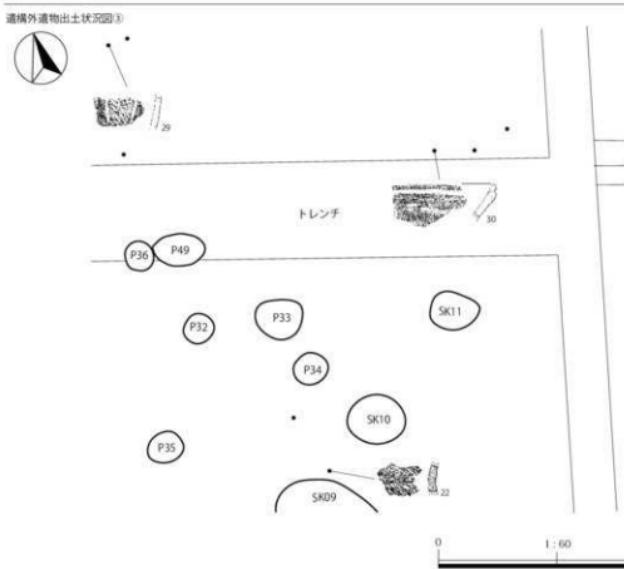
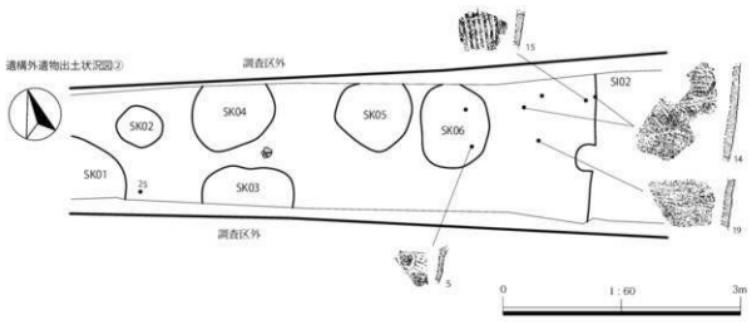
### 第5節 遺構外出土遺物 (第276～281図／PL 54・55)

ここでは、調査区表土および確認面出土遺物、遺構内の流れ込み遺物、試掘トレンチ出土遺物を掲載し、出土状況に特徴のあるものについて記載する。

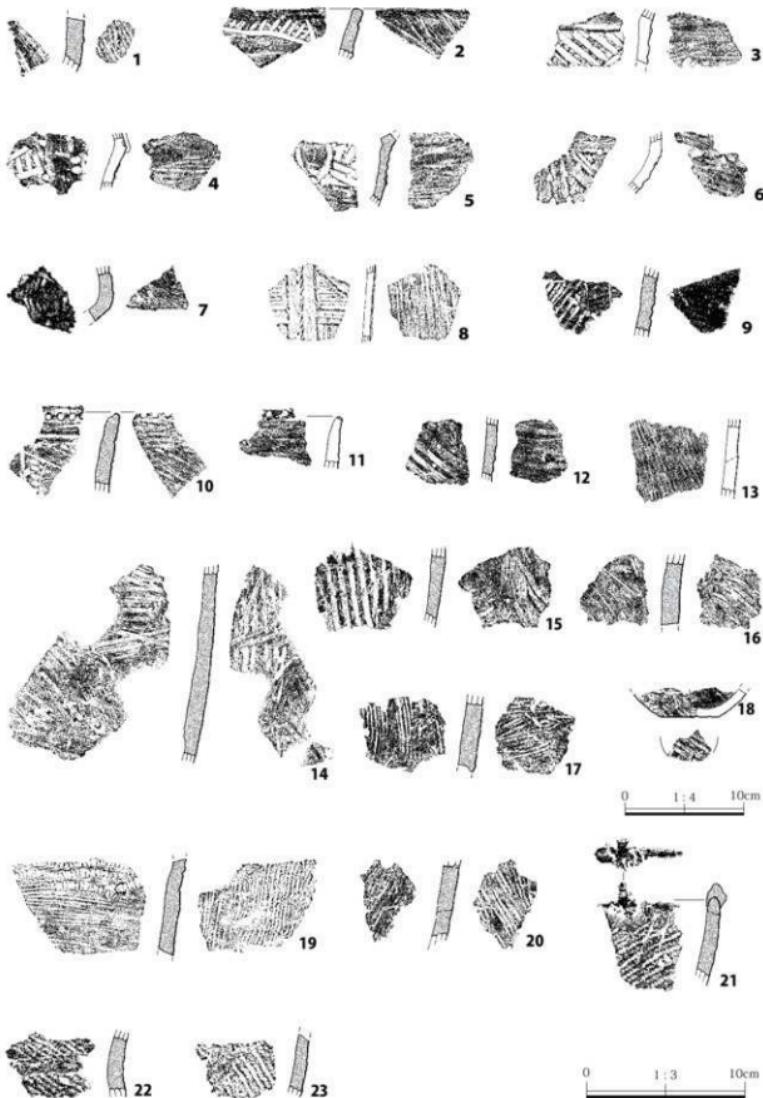
湿地跡南縁の調査区東端部の土層（1層・2層）から、多量の土器片のほか石器・金属製品が出土している。確認面上が水田造成による改変を受けており、近・現代の遺物も若干見られるが、概ね竪穴住居跡と同時期の遺物である。土器が集中する範囲を断ち割ってみたが、明確な掘り込みは確認できなかった。わずかな窪地に流れ着いたか、投げ込まれたものと考えられる。SI04で多量に出土している「赤」を含め4点の墨書き土器が出土している。



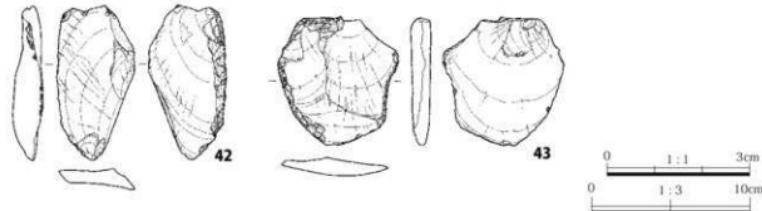
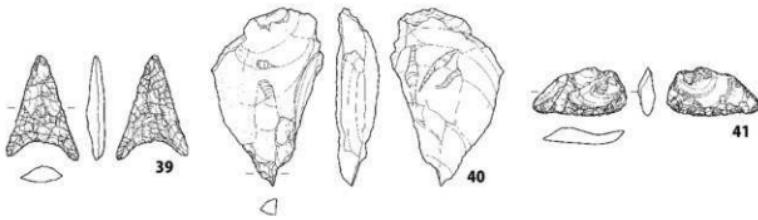
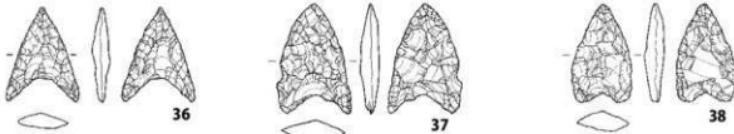
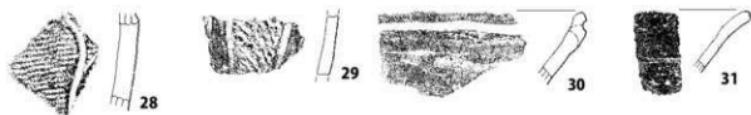
第276図 遺構外遺物出土状況図①(1/60)



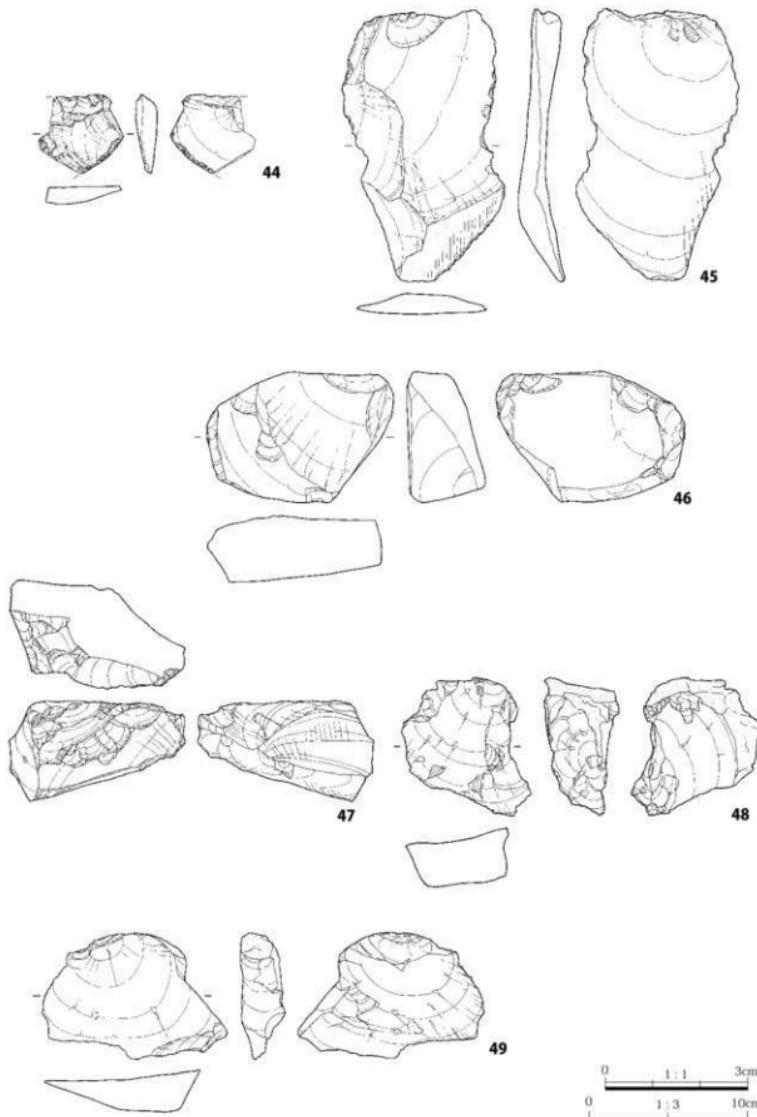
第277図 遺構外遺物出土状況図②・③(1/60)



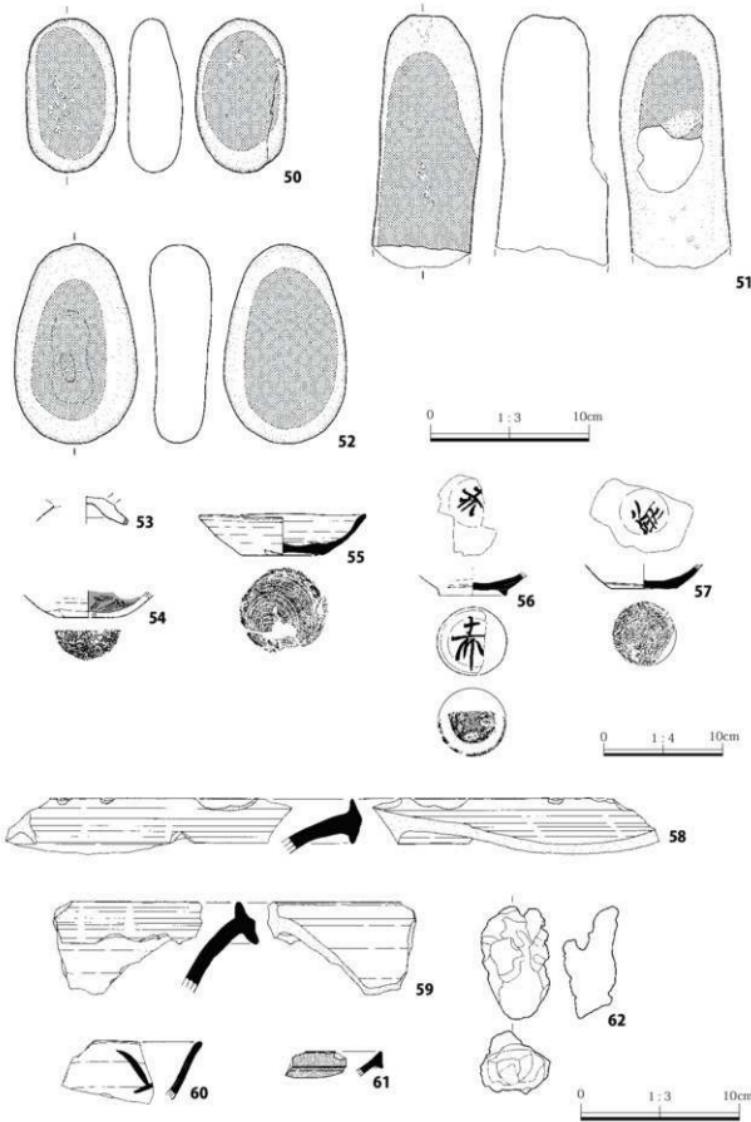
第278図 遺構外出土遺物実測図①(1/3・1/4)



第279図 遺構外出土遺物実測図②(1/1・1/3)



第280図 遺構外出土遺物実測図③(1/1・1/3)



第281図 遺構外出土遺物実測図④ (1/3・1/4)

## 第5章　まとめ

今回発掘調査を行なった中棚Ⅰ遺跡では、縄文時代早期および縄文時代と考えられる土坑6基、9世紀中葉～後葉の竪穴住居跡4軒、時期不明の土坑17基、ピット57基と、湿地跡が確認された。小さな河岸段丘面の北部に立地し、調査区北側の約3／4は東の上位段丘崖から浸み出す水によって湿地跡が形成されていた。調査区南側の約1／4が微高地で、遺構はすべてこの微高地上で確認された。微高地は南側の段丘崖まで続いており、集落範囲は南側へ広がると考えられる。

縄文時代の遺構は、調査区南側の微高地で土坑6基が確認された。調査区西側に3基と東側に3基が分布している。調査区中央部では確認されなかったが、段丘崖へと続く微高地の広範囲に分布しているものと思われる。

確認された4軒の竪穴住居跡は、9世紀中葉～後年に帰属すると考えられる。一辺の長さがSI01は5.5 m、SI02・SI03・SI04は6.1 m～7.0 mあり、同時期の平野部の竪穴住居跡と比較して規模が大きいという特徴がある。SI01とSI02は、ともに「三家」「人」の墨書き土器が出土しており、同じ性格を持った竪穴住居跡であったと考えられる。また、本遺跡の西北西約400 mに位置する榎木Ⅱ遺跡からも「三家」の墨書き土器が出土しており、両遺跡は同一の集団によって形成された遺跡であった可能性がある。本遺構からは「赤」の墨書き土器が多量に出土している。SI03から「赤」と思われる破片2点、遺構外から3点出土しているが、残りは全てSI04からの出土である。字体にバリエーションがあることから複数の人物によって書かれたものが集積されていると推測される。完形品に近いものも見られるが、大きく割れたものや破片資料が多い。使用不可となつたものが投げ込まれているような状況から、集落全体にあったものがSI04で発見された可能性が考えられる。このことから、「赤」は集落を象徴するものである可能性が考えられるが、何を意味するものは不明である。また、SI04から羽口・椀形鍛冶溝、遺構外から椀形鍛冶溝が出土しており、集落内で鍛冶を行っていたものと考えられる。

竪穴住居跡の変遷については、調査区西側でSI01とSI02が、調査区東側でSI03とSI04が隣接している。出土遺物を見るとSI01とSI04がやや古い様相であることから、SI01からSI02へ、SI04からSI03へと推移したと考えられ、SI01とSI04、SI02とSI03が同時期に機能していたものと考えられる。

第34表 中棚Ⅰ遺跡住居跡諸属性一覧

遺構名	長軸方向	規模 (m × m)				主柱配置	位置	構築方法	周溝	付帯施設	遺物				時間	
		長軸	短軸	壁高	面積						灰被	墨書き	羽口	鉄製品	鍛溝	
SI01	—	5.51	(1.29)	0.28	(6.23)	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	9世紀中～後半
SI02	N-15°-E	6.55	(3.57)	0.59	(14.01)	2本か	北壁	不明	東・西	前庭穴	○	○	—	—	—	9世紀中～後半
SI03	N-51°-W	6.99	6.88	0.33	(35.30)	2本	東壁	土で造成	西・南・北	—	○	○	—	○	—	9世紀中～後半
SI04	N-64°-W	6.11	6.1	0.26	(29.89)	4本	東壁	土で造成	西・南・北	前庭穴	○	○	—	○	○	9世紀中～後半

### 参考文献

- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団・国土交通省 2008 『榎木Ⅱ遺跡(1)』ハッ場ダム建設に工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第18集

第35表 中棚1遺跡出土遺物観察表

測定番号	測定部位	測定場所	測定方法	特徴(形態・手法等)		地質	断土・材質等	色調外見(表面)	断面資料(内部)	備考	
				外側は楕円状の形に斜面を施す。内外面ともに凹凸。	(5.2) / - / -						
237. 1	49	網之間・裏	測定器法	長2.0 / 幅1.2 / 厚0.4	表面0.6g・凹面	良好	繊維	赤褐色	断面資料(内部)	S002	
237. 2	49	網之間・裏	測定器法	長2.0 / 幅1.2 / 厚0.4	表面0.6g・凹面	-	黑色(表面)	-	完石。	S005	
237. 3	49	網之間・裏	測定器法	長2.5 / 幅2.0 / 厚1.5	表面0.8g・	-	黑色(表面)	-	完石。	S005	
237. 4	49	網之間・裏	測定器法	(4.6) / - / -	表面は斜面の形で、表面と底面を施す。内外面に斜面を付す。外側はナメ。	良好	繊維・角閃石・小颗粒質	黑褐色	断面資料(内部)	S006	
237. 5	49	網之間・裏	測定器法	(6.2) / - / -	外側は斜面(ER)、RI、輪郭によく沿う。表面はナメ。外側はナメ。内外面は斜面ナメ。	良好	繊維・角閃石	黑褐色	断面資料(内部)	S009	
237. 6	-	網之間・裏	測定器法	(3.7) / - / -	外側は斜面(ER)、輪郭によく沿う。表面はナメ。外側はナメ。	良好	繊維	黑褐色	断面資料(内部)	S009	
237. 7	49	網之間・裏	測定器法	(4.8) / - / -	斜面の斜度を施す。外側はナメ。内外面は斜面ナメ。	良好	繊維・角閃石	黑褐色	断面資料(内部)	S009	
237. 8	49	網之間・裏	測定器法	長1.9 / 幅1.5 / 厚0.4	表面0.7g・凹面	-	黑色(表面)	-	完石。	S010	
238. 9	49	網之間・裏	測定器法	(27.9) / - / -	表面は斜面(ER)、輪郭が3点・出目。輪郭が3点・出目で斜面を施す。区に向て斜面が施す。輪郭が3点・出目で斜面を施す。内外面は斜面を施す。内外面は斜面を施す。	良好	石英多量	褐褐色	断面資料(内部)	S017	
238. 10	49	網之間・裏	測定器法	長5.5 / 幅0.3 / 厚1.6	表面28.4g	-	柱質繊維状	-	完石。	S017	
S01出土遺物観察表											
測定番号	測定部位	測定場所	測定方法	特徴(形態・手法等)	地質	削上・材質等	色調外見(表面)	断面資料(内部)	備考		
241. 1	49	上面・裏	測定器法	(4.6) / < 18.0 / - / -	ゴブ状構造。口縁部は小さく外へし。内側は斜面で、外側は輪郭(バタフライ)。内側が輪郭する。下位は斜面(ER)で、外側は輪郭(バタフライ)。内側と外側ともに輪郭(バタフライ)。	良好	黑色(表面)	黑色(表面)	口縫部: 20% 黄褐色。	S01壁上	
241. 2	49	上面・裏	測定器法	(5.0) / < 17.8 / - / -	ゴブ状構造。口縁部は小さく外へし。下位は斜面(ER)で、外側は輪郭(バタフライ)。内側と外側ともに輪郭(バタフライ)。	良好	黑色(表面)	黑色(表面)	口縫部: 20% 黄褐色。	S01壁上	
241. 3	49	頂面・裏	測定器法	(5.1) / - / < 7.1 / >	口縫部。内側は斜面(ER)で、外側は輪郭(バタフライ)。底面は斜面(ER)で、外側は輪郭(バタフライ)。内側と外側ともに輪郭(バタフライ)。底面は斜面(ER)で、外側は輪郭(バタフライ)。	良好	黑色(表面)	黑色(表面)	底面下部: 40% 黄褐色。	S01壁上	
241. 4	49	頂面・裏	測定器法	4.9 / < 14.1 / > < 8.1 / >	口縫部。内側は斜面(ER)で、外側は輪郭(バタフライ)。底面は斜面(ER)で、外側は輪郭(バタフライ)。内側と外側ともに輪郭(バタフライ)。底面は斜面(ER)で、外側は輪郭(バタフライ)。	良好	黑色(表面)	黑色(表面)	口縫部: 40% 黄褐色。	S01壁上	
241. 5	49	頂面・裏	測定器法	4.2 / 13.7 / 6.6	口縫部。内側は斜面(ER)で、外側は輪郭(バタフライ)。底面は斜面(ER)で、外側は輪郭(バタフライ)。	良好	黑色(表面)	黑色(表面)	ほぼ完石 (13mm - 16mm)。	S01床架・壁上	
241. 6	49	頂面・裏	測定器法	(2.8) / - / < 7.8 / >	口縫部。内側は斜面(ER)で、外側は輪郭(バタフライ)。底面は斜面(ER)で、外側は輪郭(バタフライ)。	良好	黑色(表面)	黑色(表面)	底面下部: 25% 黄褐色。	S01壁上	
241. 7	-	頂面・裏	測定器法	(2.2) / - / 7.6	辺縁部は斜面(ER)で、底面は輪郭(バタフライ)。	良好	黑色・チャート	黑色・チャート	底面下部: 80% 黄褐色。	S01壁上	
242. 8	-	上面・裏	測定器法	(5.5) / - / -	ゴブ状構造。内側は斜面(ER)で、外側は輪郭(バタフライ)。下位は斜面(ER)で、外側は輪郭(バタフライ)。	良好	黑色・角閃石・小颗粒質	黑色・角閃石・小颗粒質	に点状の黒褐色。	S01壁上・床架	
242. 9	-	上面・裏	測定器法	(2.8) / - / -	内側は斜面(ER)で、外側は輪郭(バタフライ)。下位は斜面(ER)で、外側は輪郭(バタフライ)。	良好	黑色・角閃石・小颗粒質	黑色・角閃石・小颗粒質	に点状の黄褐色・黒褐色。	S01床架	
242. 10	49	頂面・裏	測定器法	3.4 / < 12.0 / > < 6.6 / >	口縫部。内側は斜面(ER)で、外側は輪郭(バタフライ)。底面は斜面(ER)で、外側は輪郭(バタフライ)。	良好	黑色(表面)	黑色(表面)	口縫部: 20% 黄褐色。	S01壁上	
242. 11	50	横溝割・竹筋	測定器法	長21.1 / 幅17.5 / 厚5.0	表面は斜面(ER)で、底面は輪郭(バタフライ)。	良好	黑色(表面)	黑色(表面)	-	柱質(部分)に欠損。	

S102出土遺物觀察表

編號	形態	法周(周高×口幅×底径)(mm)	特征(形態・手筋等)	地質	斷土・柱等	色調(外側面/内側面)	備註
247.1	直筒器・ 短柄	50 / 上部器・ (4.9) / <12.7>/<-	小切端のU字型切口、外側面の刃端部も丸みがある。U字型切口は内側面に斜めに位置し、下部には斜めに位置する。斜めの刃端部には内側面と外側面とに傾けたアーチがある。斜めの刃端部には横穴が2つあり、両端はU字型。	砂質 粘土層	断土・白色・ 角質・長石	砂質・白色・ 角質・長石	S102 鏡上
247.2	50 小切端・ 短柄器・ 短柄	(2.0) / <9.8>/<-	外側面と内側面ともにクロロナフ。圓部と側面の接続部が斜めで尖る。第246.4と同じ体形。	砂質・白色・ 粘土層	断土・白色・ 角質	砂質・白色・ 角質	S102 鏡上
247.3	50 (直筒器・ 短柄)	(6.8) / <->/<-	外側面と内側面ともにクロロナフ。圓部と側面の接続部が斜めで尖る。第246.2と同じ体形。	砂質・白色・ 粘土層	断土・白色・ 角質	砂質・白色・ 角質	S102 鏡上
247.4	50 短柄器・ 短柄	41 / 12.7 / 6.1	U字型のU字型切口、外側面の刃端部は丸みがあり、U字型の刃端部には内側面と外側面とに傾けたアーチがある。U字型の刃端部には横穴がある。	砂質・白色・ 粘土層	断土・白色・ 角質	砂質・白色・ 角質	S102 鏡上
247.5	50 短柄器・ 短柄	36 / 13.8 / 7.9	外側面と内側面ともにクロロナフ。圓部と側面の接続部が斜めで尖る。外側面には内側面に傾けたアーチがある。U字型の刃端部には横穴がある。	砂質・白色・ 粘土層	断土・白色・ 角質	砂質・白色・ 角質	S102 鏡上
247.6	50 直筒器・ 短柄	38 / 13.1 / 6.4	外側面と内側面ともにクロロナフ。圓部は右側面が切口。側面には内側面に傾けたアーチがある。	砂質・白色・ 粘土層	断土・白色・ 角質	砂質・白色・ 角質	S102 鏡上
247.7	50 直筒器・ 短柄	31 / <13.2>/<7.0>	ロクロロ型、内外面ともにクロロナフ。圓部は右側面が切口。	砂質・白色・ 粘土層	断土・白色・ 角質	砂質・白色・ 角質	S102 鏡上
247.8	50 直筒器・ 短柄	3.9 / <15.4>/<8.0>	ロクロロ型、内外面ともにクロロナフ。圓部は右側面が切口。側面には内側面に傾けたアーチがある。	砂質・白色・ 粘土層	断土・白色・ 角質	砂質・白色・ 角質	S102 鏡上
247.9	50 直筒器・ 短柄	(4.3) / <15.4>/<-	ロクロロ型、内外面ともにクロロナフ。	砂質・白色・ 粘土層	断土・白色・ 角質	砂質・白色・ 角質	S102 鏡上
247.10	50 直筒器・ 短柄	(3.5) / <->/<6.8>	ロクロロ型、内外面ともにクロロナフ。圓部は右側面が切口。側面には内側面に傾けたアーチがある。	砂質・白色・ 粘土層	断土・白色・ 角質	砂質・白色・ 角質	S102 鏡上
247.11	50 直筒器・ 短柄	(2.2) / <->/<7.8>	ロクロロ型、内外面ともにクロロナフ。圓部は右側面が切口。圓部には内側面に傾けたアーチがある。	砂質・白色・ 粘土層	断土・白色・ 角質	砂質・白色・ 角質	S102 鏡上
247.12	50 直筒器・ 短柄	(1.4) / <->/7.0	ロクロロ型、内外面ともにクロロナフ。圓部は右側面が切口。側面には内側面に傾けたアーチがある。	砂質・白色・ 粘土層	断土・白色・ 角質	砂質・白色・ 角質	S102 鏡上
247.13	50 直筒器・ 短柄	(4.2) / <->/8.5	ロクロロ型、内外面ともにクロロナフ。圓部は右側面が切口。圓部には内側面に傾けたアーチがある。	砂質・白色・ 粘土層	断土・白色・ 角質	砂質・白色・ 角質	S102 鏡上
247.14	50 直筒器・ 短柄	(2.1) / <->/7.8	ロクロロ型、内外面ともにクロロナフ。圓部は右側面が切口。圓部には内側面に傾けたアーチがある。	砂質・白色・ 粘土層	断土・白色・ 角質	砂質・白色・ 角質	S102 鏡上
247.15	50 直筒器・ 短柄	5.0 / <15.6>/<7.2>	ロクロロ型、内外面ともにクロロナフ。圓部は右側面が切口。圓部には内側面に傾けたアーチがある。	砂質・白色・ 粘土層	断土・白色・ 角質	砂質・白色・ 角質	S102 鏡上
247.16	50 直筒器・ 短柄	5.7 / <13.3>/<6.6>/<-	ロクロロ型、内外面ともにクロロナフ。圓部は右側面が切口。圓部には内側面に傾けたアーチがある。	砂質・白色・ 粘土層	断土・白色・ 角質	砂質・白色・ 角質	S102 鏡上
247.17	- 直筒器・ 短柄	(3.2) / <->/<7.4>	ロクロロ型、内外面ともにクロロナフ。圓部は右側面が切口。圓部には内側面に傾けたアーチがある。	砂質・白色・ 粘土層	断土・白色・ 角質	砂質・白色・ 角質	S102 鏡上
247.18	- 上面乳突器・ 短柄	(3.5) / <->/-	直筒器型。乳突器はU字型切口。圓部は右側面が切口。圓部には内側面に傾けたアーチがある。	砂質・白色・ 粘土層	断土・白色・ 角質	砂質・白色・ 角質	S102 鏡上
247.19	50 直筒器・ 短柄	(3.2) / <->/-	直筒器型。内外面ともにクロロナフ。圓部は右側面が切口。圓部には内側面に傾けたアーチがある。	砂質・白色・ 粘土層	断土・白色・ 角質	砂質・白色・ 角質	S102 鏡上
247.20	50 直筒器・ 短柄	(6.3) / <->/-	内外面ともにクロロナフ。圓部は右側面が切口。圓部には内側面に傾けたアーチがある。	砂質・白色・ 粘土層	断土・白色・ 角質	砂質・白色・ 角質	S102 鏡上
247.21	- 灰褐色圓盤・ 圓盤	(2.0) / <->/-	ロクロロ型。圓盤部を削り取った。圓盤部は左側面が切口。圓盤部には内側面に傾けたアーチがある。	砂質・白色・ 粘土層	断土・白色・ 角質	砂質・白色・ 角質	S102 鏡上

S103出土遺物觀察表

測量No.	遺物名	法面(周長×高さ×厚さ)(cm)	特徴(形態・手筋等)	表面	断面・材質等	色調(外側・内側)	備考
255. 1	土器底・壺	(9.0) / < 19.0 > / ~	口部付近は外縁とし、周辺の場所は無い。内縁には「」の字がある。内縁は外縁と同じで、口部付近の内縁が異なる。内縁へタガ子。	無灰	無灰	砂色・褐色色・角質・石質	S03 壁面・床面20% 破片。 床・土上A
255. 2	土器底・小型壺	(7.7) / < 13.4 > / ~	口部付近は「」の字がある。内縁は外縁と同じで、口部付近の内縁が異なる。内縁へタガ子。	無灰	無灰	砂色・褐色色・角質・石質	S03 壁面
255. 3	土器底・小型壺	(4.1) / < 12.0 > / ~	口部付近は「」の字がある。内縁は外縁と同じで、口部付近の内縁が異なる。内縁へタガ子。	無灰	無灰	砂色・褐色色・角質・石質	S03 壁面
255. 4	土器底・壺	(5.0) / < 8.4 >	内縁は外縁と同じで、口部付近は「」の字がある。内縁へタガ子。	無灰	無灰	砂色・白色色・角質・チャート	S03 壁面
255. 5	土器底・小型壺	(2.3) / < 3.9 >	内縁は外縁へタガ子。外縁は壺底へタガ子。底部はハテカズリ。	無灰	無灰	砂色・褐色色・白色色・角質	S03 壁面
255. 6	土器底・台付壺	(2.6) / < ~ >	内縁は外縁へタガ子。底部内縁は「」の字がある。内縁へタガ子。	無灰	無灰	砂色・褐色色・白色色・角質	S03 壁面
255. 7	土器底・台付壺	(2.5) / < ~ >	内縁は外縁へタガ子。底部内縁は「」の字がある。内縁へタガ子。	無灰	無灰	砂色・褐色色・白色色・角質	S03 壁面
255. 8	土器底・壺	(12.7) / < ~ 9.6	内縁は外縁へタガ子。底部内縁は「」の字がある。内縁へタガ子。	無灰	無灰	砂色・白色色・角質	S03 壁面・底面40% 破片。 壺底
255. 9	土器底・杯	3.7 / < 14.0 > / 8.0	内縁は外縁へタガ子。底部内縁は「」の字がある。内縁へタガ子。	無灰	無灰	砂色・白色色・角質	S03 壁面
255. 10	土器底・碗	(3.5) / < 13.8 > / ~	内縁は外縁へタガ子。底部内縁は「」の字がある。内縁へタガ子。	無灰	無灰	砂色・白色色・角質	S03 壁面・底面10% 破片 E
255. 11	土器底・碗	(2.6) / < ~ 7.6 >	内縁は外縁へタガ子。底部内縁は「」の字がある。内縁へタガ子。	無灰	無灰	砂色・白色色・角質	S03 壁面
255. 12	土器底・碗	(2.6) / < ~ 7.6	内縁は外縁へタガ子。底部内縁は「」の字がある。内縁へタガ子。	無灰	無灰	砂色・白色色・角質	S03 壁面
255. 13	土器底・碗	5.7 / < 14.9 > / < 8.3 >	内縁は外縁へタガ子。底部内縁は「」の字がある。内縁へタガ子。	無灰	無灰	砂色・白色色・角質	S03 壁面
255. 14	土器底・碗	(12.4) / < ~ 8.6 >	内縁は外縁へタガ子。底部内縁は「」の字がある。内縁へタガ子。	無灰	無灰	砂色・白色色・角質	S03 壁面
255. 15	土器底・碗	3.7 / < 12.8 > / 6.0	内縁は外縁へタガ子。底部内縁は「」の字がある。内縁へタガ子。	無灰	無灰	砂色・白色色・角質	S03 壁面
255. 16	土器底・碗	3.5 / < 13.2 > / 6.7	内縁は外縁へタガ子。底部内縁は「」の字がある。内縁へタガ子。	無灰	無灰	砂色・白色色・角質	S03 壁面
255. 17	土器底・碗	3.7 / < 13.6 > / 7.6	内縁は外縁へタガ子。底部内縁は「」の字がある。内縁へタガ子。	無灰	無灰	砂色・白色色・角質	S03 壁面
255. 18	土器底・碗	4.0 / < 12.5 > / 6.8	内縁は外縁へタガ子。底部内縁は「」の字がある。内縁へタガ子。	無灰	無灰	砂色・白色色・角質	S03 壁面
255. 19	土器底・碗	4.5 / < 14.8 > / 8.0	内縁は外縁へタガ子。底部内縁は「」の字がある。内縁へタガ子。	無灰	無灰	砂色・白色色・角質	S03 壁面
255. 20	土器底・碗	4.1 / < 13.4 > / 7.7	内縁は外縁へタガ子。底部内縁は「」の字がある。内縁へタガ子。	無灰	無灰	砂色・白色色・角質	S03 壁面・床面60% 破片。 床・土上A



S104 出土遺物觀察表

編號	目録名	形態	特徵 (形態・方法等)	地質	新上・標識等	色調(外見)/ 表面	備考
265. 1	51 上油瓦・裏	(6.6) /< 196 >/	コグリ模様、1時間以上煮立後外見より、外油の層が底は板状に、表面はナメル状。内油は全面にロクロナフ。底は全面にロクロナフ。裏は全面にロクロナフ。	燒成	新上・板状 燒成・板石 燒成・板石 燒成・板石	明黃褐 口邊部・底部 20% 黑化。 燒成面	S04 摘り方
265. 2	— 合瓦	(2.3) /< 8.8 >	打撲出の跡が複数点ある。底面は全面にロクロナフ。裏は全面にロクロナフ。	燒成	新上・板状 燒成・板石 燒成・板石	明黃褐 口邊部・底部 50% 黑化。 (底面有孔)	S04 摘り方
265. 3	51 上油瓦・裏・ 瓦	3.8 /< 13.8 >/ 5.3	黒上油。ロクロ野毛。外油はロクロナフ。内油は全面にヨカギを施され、黑色が強まる。底は全面にロクロナフ。	燒成	新上・板状 燒成・板石 燒成・板石	口邊部・底部 50% 黑化。 (底面有孔)	S04 摘り方
265. 4	51 上油瓦・裏・ 塊	(5.3) /< 16.2 >/	黒上油。ロクロ野毛。外油はロクロナフ。底は焼成粘土。下位は焼成粘土。	燒成	新上・板状 燒成・板石 燒成・板石	口邊部・底部 50% 黑化。 (底面有孔)	S04 摘り方
265. 5	— 瓦	(1.3) /< 7.0	ロクロ野毛。内油は全面にヨカギを施され、黑色が強まる。底は全面にロクロナフ。	燒成	新上・板状 燒成・板石 燒成・板石	口邊部・底部 50% 黑化。 (底面有孔)	底上燒成 D S04 摘り方
265. 6	51 路地器・塊合	(5.2) /< 17.4 >/	内油と外油ともロクロナフ。上縁は焼成粘土。	燒成	新上・板状 燒成・板石 燒成・板石	口邊部 20% 黑化。 (底面有孔)	S04 離上
265. 7	51 長圓器・ 塊合	(8.2) /< — >	内油と外油ともロクロナフ。底は焼成粘土。底には自然焼成の薄く付着した土。	燒成	新上・板状 燒成・板石 燒成・板石	口邊部 40% 黑化。 (底面有孔)	S04 離上
265. 8	51 路地器・塊合	(5.7) /< — > 16.1 >	内油と外油ともロクロナフ。底は焼成粘土。底には自然焼成の薄く付着した土。	燒成	新上・板状 燒成・板石 燒成・板石	口邊部 20% 黑化。 (底面有孔)	S04 摘り方
265. 9	51 地盤器・ 小方體	(3.1) /< — > 4.0	内油と外油ともロクロナフ。内油は全面にヨカギを施す。底は全面にロクロナフ。	燒成	新上・板状 燒成・板石 燒成・板石	口邊部・底部 50% 黑化。 (底面有孔)	S04 摘り方
265. 10	52 泥頭器・ 瓦	4.8 /< 13.0 >/ < 5.4 >	ロクロ野毛。内油と外油ともロクロナフ。内油は全面にヨカギを施す。底は全面にロクロナフ。	燒成	新上・板状 燒成・板石 燒成・板石	口邊部・底部 25% 黑化。 (底面有孔)	S04 削離 A
265. 11	52 泥頭器・ 瓦	4.5 /< 12.3 >/ 5.2	ロクロ野毛。内油と外油ともロクロナフ。内油は全面にヨカギを施す。底は全面にロクロナフ。	燒成	新上・板状 燒成・板石 燒成・板石	口邊部・底部 50% 黑化。 (底面有孔)	S04 摘り方
265. 12	52 泥頭器・ 瓦	4.2 /< 13.0 >/ < 4.7 >	ロクロ野毛。内油と外油ともロクロナフ。内油は全面にヨカギを施す。底は全面にロクロナフ。	燒成	新上・板状 燒成・板石 燒成・板石	口邊部・底部 45% 黑化。 (底面有孔)	S04 離上
265. 13	52 泥頭器・ 瓦	4.3 /< 12.2 >/ 5.0	ロクロ野毛。内油と外油ともロクロナフ。内油は全面にヨカギを施す。底は全面にロクロナフ。	燒成	新上・板状 燒成・板石 燒成・板石	口邊部・底部 70% 黑化。 (底面有孔)	S04 摘り方
265. 14	52 泥頭器・ 瓦	4.5 /< 13.0 >/ 4.9	ロクロ野毛。内油と外油ともロクロナフ。内油は全面にヨカギを施す。底は全面にロクロナフ。	燒成	新上・板状 燒成・板石 燒成・板石	口邊部・底部 40% 黑化。 (底面有孔)	S04 離上
265. 15	52 泥頭器・ 瓦	4.1 /< 12.1 >/ 5.7	ロクロ野毛。内油と外油ともロクロナフ。内油は全面にヨカギを施す。底は全面にロクロナフ。	燒成	新上・板状 燒成・板石 燒成・板石	口邊部・底部 40% 黑化。 (底面有孔)	S04 離上
265. 16	52 泥頭器・ 瓦	4.2 /< 13.7 >/ < 5.8 >	ロクロ野毛。内油と外油ともロクロナフ。内油は全面にヨカギを施す。底は全面にロクロナフ。	燒成	新上・板状 燒成・板石 燒成・板石	口邊部・底部 50% 黑化。 (底面有孔)	S04 摘り方
265. 17	52 泥頭器・ 瓦	4.1 / 12.8 / 5.6	ロクロ野毛。内油と外油ともロクロナフ。底は全面にヨカギを施す。底は全面にロクロナフ。	燒成	新上・板状 燒成・板石 燒成・板石	口邊部・底部 90% 黑化。 (底面有孔)	S04 離上・離下 S04 摘り方
265. 18	52 泥頭器・ 瓦	3.9 /< 12.6 >/ 5.6	ロクロ野毛。内油と外油ともロクロナフ。底は全面にロクロナフ。	燒成	新上・板状 燒成・板石 燒成・板石	口邊部・底部 70% 黑化。 (底面有孔)	S04 離上
266. 19	52 泥頭器・ 瓦	4.3 / 13.6 / 6.7	ロクロ野毛。内油と外油ともロクロナフ。底は全面にロクロナフ。	燒成	新上・板状 燒成・板石 燒成・板石	底面有孔 (底面有孔)	S04 離上
266. 20	52 泥頭器・ 瓦	4.0 / 13.1 / 5.6	ロクロ野毛。内油と外油ともロクロナフ。底は全面にロクロナフ。	燒成	新上・板状 燒成・板石 燒成・板石	底面有孔 (底面有孔)	S04 削離 A S04 離上
266. 21	52 泥頭器・ 瓦	4.3 / 12.8 / 5.5	ロクロ野毛。内油と外油ともロクロナフ。底は全面にロクロナフ。	燒成	新上・板状 燒成・板石 燒成・板石	底面有孔 (底面有孔)	S04 離上・離下 S04 摘り方

266.22	52	須弥壇・坪	3.9 /< 13.0 >/ << 5.8 >	ロクロ懸垂形、内外面ともにロクロナガ。底面は右斜め切り。底面外側面に筋状物があり、「し」の字彫りがある。	元箱・長石	砂粒・長石	未白	口縁部～底部 50% 黄褐。	S04 斜び
266.23	52	須弥壇・坪	3.6 /< 13.1 >/ << 6.0 >	ロクロ懸垂形、内外面ともにロクロナガ。底面は右斜め切り。底面外側面に筋状物があり、「し」の字彫りがある。又と見ると、左側に筋状物があり、「し」の字彫りがある。	元箱・長石	砂粒・白色粒・長石	未白	口縁部～底部 30% 黄褐。	S04 斜び
266.24	52	須弥壇・坪	3.6 /< 13.5 >/ << 7.0 >	ロクロ懸垂形、内外面ともにロクロナガ。底面は右斜め切りで、内側面の筋状物も「し」の字彫りがある。	元箱・長石	砂粒・白色粒・長石	未白	口縁部～底部 40% 黄褐。	S04 斜び
266.25	-	須弥壇・坪	3.8 /< 13.2 >/ << 7.0 >	ロクロ懸垂形、内外面ともにロクロナガ。底面は右斜め切り。	元箱・長石	砂粒・白色粒・長石	未白	口縁部～底部 30% 黄褐。	S04 斜び
266.26	52	須弥壇・坪	3.4 /< 13.6 >/ < 6.6 >	ロクロ懸垂形、内外面ともにロクロナガ。底面は右斜め切り。	元箱・長石	砂粒・白色粒・長石	未白	口縁部～底部 40% 黄褐。	S04 斜び
266.27	52	須弥壇・坪	3.7 /< 13.0 >/ << 6.1 >	ロクロ懸垂形、内外面ともに左斜め切り。底面は右斜め切り。	元箱・長石	砂粒・白色粒・長石	未白	口縁部～底部 40% 黄褐。	S04 斜び
266.28	52	須弥壇・坪	4.1 /< 12.2 >/ << 7.0 >	ロクロ懸垂形、内外面ともにロクロナガ。底面は右斜め切り。底面外側面に筋状物があり、「し」の字彫りがある。	元箱・長石	砂粒・白色粒・長石	未白	口縁部～底部 20% 黄褐。	S04 斜び
266.29	52	須弥壇・坪	(2.3) /< - > 5.4	ロクロ懸垂形、内外面ともに右斜め切り。底面外側面に筋状物があり、「し」の字彫りがある。	元箱・長石	砂粒・白色粒・長石	未白	底部下部～底部 40% 黄褐。	S04 斜び
266.30	52	須弥壇・坪	(2.1) /< - > 6.4 >	ロクロ懸垂形、内外面ともにロクロナガ。底面は右斜め切り。底面外側面に筋状物があり、「し」の字彫りがある。	元箱・長石	砂粒・白色粒・長石	未白	底部下部～底部 50% 黄褐。	S04 斜び
266.31	52	須弥壇・坪	5.7 / 13.8 / 5.8	ロクロ懸垂形、内外面ともにロクロナガ。底面は右斜め切り。底面外側面に筋状物があり、「し」の字彫りがある。	元箱・長石	砂粒・白色粒・長石	未白	底部下部～底部 50% 黄褐。	S04 斜び
266.32	52	須弥壇・坪	5.0 / 14.7 / 7.8	ロクロ懸垂形、内外面ともに右斜め切り。底面外側面に筋状物があり、「し」の字彫りがある。	元箱・長石	砂粒・白色粒・長石	未白	口縁部～底部 80% 黄褐。	S04 斜び
266.33	53	須弥壇・坪	(4.8) / 13.4 / (7.1)	ロクロ懸垂形、内外面ともに右斜め切り。底面外側面に筋状物があり、「し」の字彫りがある。底面外側面に筋状物があり、「し」の字彫りがある。底面外側面に筋状物があり、「し」の字彫りがある。	元箱・長石	砂粒・白色粒・長石	未白	口縁部～底部 82% 黄褐	S04 斜び
266.34	53	須弥壇・坪	5.9 /< 13.6 >/ << 6.6 >	ロクロ懸垂形、内外面ともに右斜め切り。底面外側面に筋状物があり、「し」の字彫りがある。	元箱・長石	砂粒・白色粒・長石	未白	口縁部～底部 50% 黄褐。	S04 斜び
266.35	53	須弥壇・坪	5.0 / 14.6 / 7.8	ロクロ懸垂形、内外面ともに右斜め切り。底面外側面に筋状物があり、「し」の字彫りがある。	元箱・長石	砂粒・白色粒・長石	未白	口縁部～底部 50% 黄褐。	S04 斜び
267.35	53	須弥壇・坪	4.7 /< 14.4 >/ 6.7	ロクロ懸垂形、内外面ともに右斜め切り。底面外側面に筋状物があり、「し」の字彫りがある。	元箱・長石	砂粒・白色粒・長石	未白	口縁部～底部 85% 黄褐。	S04 斜び 万・床下・枕D
267.37	53	須弥壇・坪	5.7 / 14.4 / 6.2	ロクロ懸垂形、内外面ともに右斜め切り。底面外側面に筋状物があり、「し」の字彫りがある。	元箱・長石	砂粒・白色粒・長石	未白	口縁部～底部 50% 黄褐。	S04 斜び
267.38	53	須弥壇・坪	5.4 / 15.5 / 7.2	ロクロ懸垂形、内外面ともに右斜め切り。底面外側面に筋状物があり、「し」の字彫りがある。	元箱・長石	砂粒・白色粒・長石	未白	口縁部～底部 90% 黄褐。	S04 斜び
267.39	53	須弥壇・坪	5.0 /< 12.8 >/ << 6.2 >	ロクロ懸垂形、内外面ともに右斜め切り。底面外側面に筋状物があり、「し」の字彫りがある。	元箱・長石	砂粒・白色粒・長石	未白	口縁部～底部 20% 黄褐。	S04 斜び
267.40	53	須弥壇・坪	(3.2) /< - > 8.4 >	ロクロ懸垂形、内外面ともに右斜め切り。底面外側面に筋状物があり、「し」の字彫りがある。	元箱・長石	砂粒・白色粒・長石	未白	底部上部～底部 40% 黄褐。 (底部50%黄褐)。	S04 斜び 前斜び



番号	品目	基盤	表面	法面(裏面)・工作・製作(左)	法面(裏面)・工作・製作(右)	特徴(形態・手当)	表面	基盤	表面(裏面)/骨面	特徴(形態)	表面	基盤	表面(裏面)/骨面	特徴(形態)
268-62	53 灰褐色・板	(4.2) /-/ -	ロコリ形状、口縁部はわずかに内側へ凹出し、口部前面はくじら型である。外縁部とともに口ヨダ	白色	白色	白色骨質 (口部後方・体部下部)	白色	白色	白色骨質 壁面・口先(周)	白色骨質 壁面・口先(周)	S04 壁面・	D	白色骨質 壁面・口先(周)	白色骨質 壁面・口先(周)
268-63	-	(3.7) /-/ -	ロコリ形状、外縁部とともに口ヨダ、奥部は円柱状の口部骨質で構成してある。外縁部には一 度色斑塊。	白色	白色	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色	白色	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	S04 壁面・	D	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質
268-64	-	(2.1) /-/ -	ロコリ形状、口縁部はわずかに内側へ凹出している。外縁部は浅い、軽い色斑塊。	白色	白色	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色	白色	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	S04 壁面・	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質
268-65	-	(2.9) /-/ -	外縁部と奥部ともにロコリ形状。外縁部は浅い、軽い色斑塊。	白色	白色	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色	白色	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	S04 壁面・	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質
268-66	53 小型丸かず	(2.4) /-/ -	ロコリ形状。外縁部と奥部ともにロコリ形状。軽い色斑塊が複数個ある。表面が滑らかである。 外縁部は軽い色斑塊である。	白色	白色	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色	白色	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	S04 壁面・	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質
268-67	53 小型丸・扁平	(20.1) /-/ 9.4	内縫合 (1860) 年 大正時代で確認された。表面は滑らかである。	白色	白色	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色	白色	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	S04 壁面・	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質
269-68	54 上輪足・脚口	(17.5) /-/ 9.7	内縫合 (1911) 年。先端部・体部の削痕。舟底部ではぼつけており、表面は滑らかである。外縁部にはナメ	白色	白色	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色	白色	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	S04 壁面・	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質
269-69	54 肢足・輪滑	6.3 /-/ 2.5	内縫合 (1912) 年。外縁部は滑らかである。表面が滑らかである。	白色	白色	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色	白色	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	S04 壁面・	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質
269-70	54 上輪足・上脚	4.2 /-/ 1.5	内縫合 (1912) 年。外縊部は滑らかである。	白色	白色	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色	白色	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	S04 壁面・	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質
269-71	54 肢足輪滑・刀刃	6.2 /-/ 1.2	内縫合 (1912) 年。刀刃部を欠いてあるが、切れ端は残存する。	白色	白色	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色	白色	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	S04 壁面・	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質	白色骨質 壁面・口ヨダ・白色骨質
<b>遺物出土遺物観察表</b>														
前回No.	品目	基盤	表面	法面(裏面)・工作・製作(左)	法面(裏面)・工作・製作(右)	特徴(形態・手当)	地質	地質	地層(外層・内層)	地層(外層・内層)	地質	地質	地層(外層・内層)	地質
278-1	-	陶器・ 深鉢	(3.5) /-/ -	外縁部は斜面をなす。内縁部は斜面の内側を覆うことができる。外縁部はナメ。	良好	斜面・斜面の継続	粘土	粘土	粘土・泥灰岩	粘土・泥灰岩	粘土	粘土	粘土・泥灰岩	粘土
278-2	54 深鉢	(3.2) /-/ -	外縁部は斜面をなす。内縁部は斜面の内側を覆うことができる。内縁部は斜面を充填する。外縁部はナメ	良好	斜面	粘土	粘土	粘土	粘土・泥灰岩	粘土・泥灰岩	粘土	粘土	粘土・泥灰岩	粘土・泥灰岩
278-3	54 深鉢	(3.5) /-/ -	外縁部は斜面をなす。内縁部は斜面の内側を覆うことができる。内縁部は斜面を充填する。外縁部はナメ	良好	斜面	粘土	粘土	粘土	粘土・泥灰岩	粘土・泥灰岩	粘土	粘土	粘土・泥灰岩	粘土・泥灰岩
278-4	54 深鉢	(3.6) /-/ -	外縁部は斜面をなす。内縁部は斜面の内側を覆うことができる。内縁部は斜面を充填する。外縁部はナメ	良好	斜面	粘土	粘土	粘土	粘土・泥灰岩	粘土・泥灰岩	粘土	粘土	粘土・泥灰岩	粘土・泥灰岩
278-5	54 深鉢	(4.6) /-/ -	外縁部は斜面をなす。内縁部は斜面の内側を覆うことができる。内縁部は斜面を充填する。外縁部はナメ	良好	斜面	粘土	粘土	粘土	粘土・泥灰岩	粘土・泥灰岩	粘土	粘土	粘土・泥灰岩	粘土・泥灰岩
278-6	54 深鉢	(3.9) /-/ -	内縫合による焼付痕がある。内縁部は斜面をなす。内縁部は斜面を充填する。外縁部はナメ	良好	斜面	粘土	粘土	粘土	粘土・泥灰岩	粘土・泥灰岩	粘土	粘土	粘土・泥灰岩	粘土・泥灰岩
278-7	54 深鉢	(2.7) /-/ -	内縫合によるナメ。内縁部は斜面をなす。内縁部は斜面を充填する。外縁部はナメ	良好	斜面	粘土	粘土	粘土	粘土・泥灰岩	粘土・泥灰岩	粘土	粘土	粘土・泥灰岩	粘土・泥灰岩
278-8	54 深鉢	(4.9) /-/ -	内縫合による焼付痕がある。内縁部は斜面をなす。内縁部は斜面を充填する。外縁部はナメ	良好	斜面	粘土	粘土	粘土	粘土・泥灰岩	粘土・泥灰岩	粘土	粘土	粘土・泥灰岩	粘土・泥灰岩
278-9	54 深鉢	(4.5) /-/ -	外縁部は斜面による焼付痕がある。内縁部は斜面をなす。内縁部は斜面を充填する。外縁部はナメ	良好	斜面	粘土	粘土	粘土	粘土・泥灰岩	粘土・泥灰岩	粘土	粘土	粘土・泥灰岩	粘土・泥灰岩
278-10	54 深鉢	(5.0) /-/ -	内縫合による焼付痕がある。内縁部は斜面をなす。内縁部は斜面を充填する。外縁部はナメ	良好	斜面	粘土	粘土	粘土	粘土・泥灰岩	粘土・泥灰岩	粘土	粘土	粘土・泥灰岩	粘土・泥灰岩

278.11	獨立文・原・ 固体	(3.3) /-/-/-	小袋状を呈する口付部、口付上部に直に至る部分。外端は網の名文を書きする。外端は 良好。内凹部・縫合部	良好。内凹部・縫合部	小間	織り目質 (休眠)	調査区南面
278.12	54 獣文・原・ 固体	(4.1) /-/-/-	内端部ともに縫合・糸端を書きする。内端部ともに網ナデ。	良好。内凹部・縫合部	小間	織り目質 (休眠)	調査区南面
278.13	54 獣文・原・ 固体	(5.1) /-/-/-	外端部は糸端の名文を書きする。外端部はナデ。内端部は網ナデ。	良好。内凹部・縫合部	小間	織り目質 (休眠)	調査区南面
278.14	54 獣文・原・ 固体	(12.5) /-/-/-	内端部ともに縫合・糸端を書きする。内端部ともに網ナデ。	良好。内凹部・縫合部	小間	織り目質 (休眠) ニヒル・小丸	調査区南面
278.15	54 獣文・原・ 固体	(5.1) /-/-/-	外端部は糸端の名文を書きする。内端部は糸端の名文を書きする。内端部とも ナデ。	良好。内凹部・縫合部	小間	織り目質 (休眠)	調査区南面
278.16	54 獣文・原・ 固体	(4.4) /-/-/-	内端部ともに糸端の名文を書きする。内端部ともにナデ。	良好。内凹部・縫合部	小間	織り目質 (休眠)	調査区南面
278.17	54 獣文・原・ 固体	(5.0) /-/-/-	外端部は糸端の名文を書きする。内端部は糸端の名文を書きする。外端部はナデ。内 端部は網ナデ。	良好。内凹部・縫合部	小間	織り目質 (休眠)	調査区南面
278.18	54 獣文・原・ 固体	(2.4) /-/-<4.8>	内端部ともに糸端の名文を書きする。内端部ともにナデ。	良好。内凹部・縫合部	小間	織り目質 (休眠—休眠)	SOD 斜り方
278.19	54 獣文・原・ 固体	(6.1) /-/-/-	外端部は糸端の名文を書きする。内端部は糸端の名文を書きする。内端部には糸端ナ デ。内端部が糸端ナデ。	良好。内凹部・糸端ナデ。	好	織り目質 (休眠)	34.5区 Q2
278.20	54 獣文・原・ 固体	(5.7) /-/-/-	内端部は糸端の名文を書きする。内端部は糸端の名文を書きする。内端部 ともにナデ。	良好。内凹部・糸端ナデ。	好	織り目質 (休眠)	34.5区 Q2
278.21	54 獣文・原・ 固体	(0.5) /-/-/-	三重の突起を持つ。2つの突起は、土蔵用柱頭のものと比較する。表面は網文である。外 端部ナデ。突起は目隠製作時に削られかが、取り作りで、複数個が同時に残る。内端部 は網ナデ。	良好。内凹部・糸端ナデ。	好	織り目質 (休眠)	34.7区 D.3
278.22	54 獣文・原・ 固体	(4.3) /-/-/-	外端部は糸端の名文を書き。外端部はナデ。内端部は網ナデ。	良好。内凹部・糸端ナデ。	小間	織り目質 (休眠)	SOD 壁上
278.23	-	(4.0) /-/-/-	帶状は糸端の名文を書き。外端部は糸端ナデ。内端部は網ナデ。	良好。内凹部・糸端ナデ。	小間	織り目質 (休眠)	3-7区 C.3
279.24	54 獣文・原・ 固体	(5.2) /-/-/-	外端部は糸端の名文によく網状組織。網子目(?)を書きする。目隠状の筋状(?)と 目隠の筋状(?)。	良好。内凹部・糸端ナデ。	小間	織り目質 (休眠)	34.5区 P.2
279.25	54 獣文・原・ 固体	(6.2) /-/-/-	2つある突起は糸端の名文を書き。内端部ともに網ナデ。	良好。内凹部・糸端ナデ。	小間	織り目質 (休眠)	SOD 壁上
279.26	54 獣文・原・ 固体	(2.7) /-/-/-	外端部は糸端の名文を書きする。内端部ともにナデ。	良好。内凹部・糸端ナデ。	小間	織り目質 (休眠)	3-7区 D.2
279.27	-	(4.4) /-/-/-	外端部は4個の突起を持つ。内端部は糸端ナデ。内端部は網ナデ。	良好。内凹部・糸端ナデ。	小間	織り目質 (休眠)	SOD 壁上
279.28	54 獣文・原・ 固体	(6.1) /-/-/-	外端部は沈頭による突起等が2つある。前筋 L.R. 織り目文。内端部ともにナデ。	良好。内凹部・糸端ナデ。	小間	織り目質 (休眠)	SOD 壁上
279.29	54 獣文・原・ 固体	(3.6) /-/-/-	外端部は沈頭による突起等。無筋 L.R. 織り目文。外端部・内端部は網ナデ。	良好。内凹部・糸端ナデ。	小間	織り目質 (休眠)	3-7区 C.1
279.30	-	(4.6) /-/-/-	外端部は1つの横走する筋状組織。内端部ともに網ナデ。	良好。内凹部・糸端ナデ。	小間	織り目質 (休眠)	3-7区 D.2
279.31	-	(3.9) /-/-/-	外端部は4個の突起を持つ。内端部は糸端ナデ。内端部は網ナデ。	良好。内凹部・糸端ナデ。	小間	織り目質 (休眠)	3-7区 D.2
279.32	54 獣文・原・ 固体	(3.7) /-/-/-	筋状を2つ持つ。内端部は糸端ナデ。内端部は網ナデ。	良好。内凹部・糸端ナデ。	小間	織り目質 (休眠)	SOD ブトル 壁上(深地)
279.33	54 獣文・原・ 固体	(2.3) /-/-/-	外端部は2つの横走する筋状組織。内端部ともに網ナデ。	良好。内凹部・糸端ナデ。	小間	織り目質 (休眠)	3-7区 D.2
279.34	- 乳生・原・ 固体	(2.4) /-/-/-	外端部は糸端の名文を書きする。内端部はナデ。内端部は網ナデ。	良好。内凹部・糸端ナデ。	好	織り目質 (休眠)	SOD 壁上
279.35	54 乳生・原・ 固体	(3.1) /-/-/-	外端部は糸端の名文を書きする。内端部はナデ。内端部は網ナデ。	良好。内凹部・糸端ナデ。	好	織り目質 (休眠)	3-7区 D.2
279.36	54 紗井石繩・ 固体	長2.0・幅1.5・厚0.4 0.5m	織り目質。	-	経目目	-	調査区南面

279.37	54	斜片石岩塊・ 石塊	長2.3／幅1.6／厚0.4 重畠1.0kg、石塊、	重畠1.0kg、石塊、	—	墨岩石	—	送E <sub>1</sub>	\$01 剥り方
279.38	—	斜片石岩塊・ 石塊	長2.1／幅1.3／厚0.4 重畠1.0kg、石塊、	重畠1.0kg、石塊、	—	チート	—	送E <sub>1</sub>	\$01 壁上
279.39	—	斜片石岩塊・ 石塊	長2.2／幅1.5／厚0.4 重畠0.7kg、石塊、	重畠0.7kg、石塊、	—	墨岩石	—	送E <sub>1</sub>	\$04 壁上
279.40	54	斜片石岩塊・ 石塊	長3.7／幅2.4／厚0.9 重畠5.8kg、石塊の良品品の複数性。	重畠5.8kg、石塊の良品品の複数性。	—	黄石(小玉)	—	送E <sub>1</sub>	\$04 壁上
279.41	55	斜片石岩塊・ 石塊	長1.4／幅0.8／厚1.1 重畠1.3kg、	重畠1.3kg、	—	墨岩石	—	送E <sub>1</sub>	3-E D2
279.42	—	斜片石岩塊・ 石塊	長0.7／幅0.9／厚0.9 重畠0.6kg、石塊、	重畠0.6kg、石塊、	—	黑色石	—	送E <sub>1</sub>	\$02 壁上
279.43	—	斜片石岩塊・ 石塊	長8.0／幅7.6／厚1.3 重畠71.2kg、	重畠71.2kg、	—	黑色安山岩	—	送E <sub>1</sub>	\$02 壁上
280.44	—	斜片石岩塊・ 石塊	長(3.2) 幅(5.3) 厚1.3 重畠(31.5) kg、	重畠(31.5) kg、	—	浅質石	—	40% 剥方、	P10
280.45	55	斜片石岩塊・ 石塊	長5.5 幅3.4／厚1.0 重畠1.1kg、斜面が複数のある割れ、微細な縫合部に複数孔、	重畠1.1kg、斜面が複数のある割れ、微細な縫合部に複数孔、	—	浅質石	—	送E <sub>1</sub>	調査区西面
280.46	—	斜片石岩塊・ 石塊	長2.8／幅1.9／厚1.6 重畠2.3kg、	重畠2.3kg、	—	浅質石	—	送E <sub>1</sub>	3-E D2
280.47	55	斜片石岩塊・ 石塊	長2.1／幅2.7／厚2.3 重畠11.5kg、	重畠11.5kg、	—	墨岩石	—	送E <sub>1</sub>	\$03 剥り方
280.48	55	斜片石岩塊・ 石塊	長2.9／幅2.7／厚1.6 重畠8kg、	重畠8kg、	—	墨岩石	—	送E <sub>1</sub>	SK1.5
280.49	—	斜片石岩塊・ 石塊	長2.7／幅2.9／厚0.9 重畠7.2kg、—3%の劣る割れ、	重畠7.2kg、—3%の劣る割れ、	—	墨岩石	—	送E <sub>1</sub>	SK1.5
281.50	—	礫石	長0.7／幅2.6／厚3.4 重畠27kg、両面とも割れがある、右面は斜面状と思われる。小さな穴がたくさんある。	重畠27kg、両面とも割れがある、右面は斜面状と思われる。小さな穴がたくさんある。	—	粗粒變質石英岩	—	送E <sub>1</sub>	3-E D2
281.51	55	礫石	長(15.8) 幅6.9／厚7.0 重畠(105.0) kg、両面とも割れがあり。表面には細かい剥片が散らばる。	表面には細かい剥片が散らばる。	—	粗粒變質石英岩	—	80% 剥方、	\$03 剥り方
281.52	55	礫石	長12.4／幅7.6／厚3.8 重畠5.8kg、両面とも割れがあり。特に右側は他のため、肩からよくむけます。また、肩から	重畠5.8kg、両面とも割れがあり。特に右側は他のため、肩からよくむけます。また、肩から	—	粗粒變質石英岩	—	送E <sub>1</sub>	\$03 剥り方
281.53	55	斜片岩・ 片岩	(2.3) /—/- 平行線の割れがある、外縫合部が複数ある。	平行線の割れがある、外縫合部が複数ある。	—	粗粒變質石英岩	—	送E <sub>1</sub>	3-E E2
281.54	—	上面凹・ 斜方	(2.2) /—<5.4> 斜面などがあるが剥離され、斜面は複数ある。	斜面などがあるが剥離され、斜面は複数ある。	—	粗粒變質石英岩	—	粗粒變質石英岩—30% 剥方、	3-E E2
281.55	—	頂面凹・ 斜方	3.5 /— 14.0 / 6.9 ロクロ形態、外縫合部とともにロクロナード、底面は白雲母の弱い切欠きである。	ロクロ形態、外縫合部とともにロクロナード、底面は白雲母の弱い切欠きである。	—	粗粒變質石英岩	—	ほぼ完好、	3-E Q2
281.56	55	頂面凹・ 斜方	(2.5) /—/-6.0 ロクロ形態、外縫合部とともにロクロナード、底面は白雲母の弱い切欠きである。	ロクロ形態、外縫合部とともにロクロナード、底面は白雲母の弱い切欠きである。	—	粗粒變質石英岩	—	底面下位—高台部 70% 剥方、	3-E E2
281.57	55	頂面凹・ 斜方	(2.0) /—<5.4> 底面などがあるが剥離され、斜面は複数ある。	底面などがあるが剥離され、斜面は複数ある。	—	粗粒變質石英岩	—	底面下位—底部 80% 剥方、	3-E E2
281.58	55	頂面凹・ 大擦	(3.4) /—/- 斜面とともにロクロナード、口縫合部は複数ある。	斜面とともにロクロナード、口縫合部は複数ある。	—	粗粒變質石英岩	—	底面下位、	3-E D2
281.59	—	頂面凹・ 大擦	(5.6) /—/- 斜面ともにロクロナード、口縫合部は複数ある。	斜面ともにロクロナード、口縫合部は複数ある。	—	粗粒變質石英岩	—	底面下位、	3-E D2
281.60	55	頂面凹・ 塊状	(3.9) /—/- 斜面ともにロクロナード、外縫合部がある。	斜面ともにロクロナード、外縫合部がある。	—	粗粒・石英	—	底面下位—底面 100% 剥方、	3-E E2
281.61	—	斜片岩・ 塊状	(1.6) /—/- ロクロ形態、外縫合部とともにロクロナード、底面は白雲母の弱い切欠きである。	ロクロ形態、外縫合部とともにロクロナード、底面は白雲母の弱い切欠きである。	—	粗粒・石英	—	底面下位—底面 100% 剥方、	2-E E2
281.62	55	底面凹・ 滑面	長7.1／幅4.3／厚0.9-3.2 重102.9kg、剥片は少々ある。	重102.9kg、剥片は少々ある。	—	粗粒・石英	—	底面下位、	3-E E2

報告書抄録

ふりがな	はやしちくいせきぐん						
書名	林地区遺跡群						
副書名	水原地域整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第1分冊						
巻次	第1集						
シリーズ名	長野原町埋蔵文化財調査報告						
シリーズ番号	第30集						
編著者名	富田孝彦 高林貞人 向出博之 水谷貴之 小宮山達雄						
編集機関	長野原町教育委員会						
所在地	〒 377-1305 群馬県吾妻郡長野原町大字与喜屋 174 TEL 0279-82-4517						
発行年月日	平成27年3月13日						
ふりがな 所取遺跡名	所在名	コード 市町村 遺跡番号	北緯 (世界測地系)	東緯 (世界測地系)	調査期間	調査面積 (m <sup>2</sup> )	調査原因
うえはらにいせき 上原Ⅲ遺跡	群馬県吾妻郡長野原町 大字林字上原 1248.1249- 1,1250.1253.1254- 1,1255.1.1256-1	10424 42	36° 32' 52"	138° 40' 32"	20110520 ~ 20110928	3,026	町営林土地改 良事業
うえはらさんいせき 上原Ⅲ遺跡	群馬県吾妻郡長野原町 大字林字上原 1266.1268.1269.1270. 1271.1272.1273.1275. 1276.1277.1278.1279. 1280.1281.乙 1303	10424 43	36° 32' 53"	138° 40' 26"	20110520 ~ 20111006	8,955	町営林土地改 良事業
なかないないせき 中郷Ⅰ遺跡	群馬県吾妻郡長野原町 大字林字中郷 1332.1.1334.1.1353- 1.1337.1.1338.1.1339- 1.1340.1.1341.1.1342- 1.1343.1.1344.1.1345.1.1346- 1.1347.1.1348.1.1349-1	10424 49	36° 32' 39"	138° 40' 03"	20111019 ~ 20111222	1,662	町営林土地改 良事業
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
上原Ⅲ遺跡	集落跡	縄文時代中期	竪穴状遺構 土坑 焼土遺構	2か所 44基 5基	縄文土器・石器・陶 磁器・古銭	縄文時代中期 初頭の良好な 遺構・遺物を 確認	
	本遺跡は、吾妻川左岸の最上位段丘面に立地する縄文時代中期初頭（5箇領台II式）～前葉（阿玉台Ia式）の集落跡である。確認された2軒の竪穴状遺構は、剖面化面が確認されず、柱穴も不明瞭であるが、近在する立馬Ⅱ遺跡や榎木Ⅱ遺跡、長野県上田市下久原遺跡などで同様な状態の竪穴住居跡が確認されていることから、本遺跡の竪穴状遺構も住居跡の可能性が高いと考えられる。						
	集落跡	弥生時代	土坑	1基	縄文土器・弥生土器・ 土師器・須恵器・灰 釉陶器・陶磁器・鏡 ・治闘関連遺物・鉄製品・ 古銭・石器	長野原町で初 回復と並んで鐵治 造遺構を検出	
上原Ⅲ遺跡	本遺跡は、吾妻川右岸の最上位段丘面に立地する平安時代9世紀後半～10世紀前半の集落跡である。鐵冶が伴う竪穴建物跡（鍛冶工房跡）が確認された。分析を行なった試料の限りでは、脱炭作業から鍛錬鍛冶までの工程を行っていたと想定される。遺存状態の良い墨書き土器と灰釉陶器が多量に出土していることから、有力な集落であったと考えられる。						
	集落跡	平安時代	土坑 鍛冶工房跡	1軒	縄文土器・土師器・ 須恵器・灰釉陶器・ 陶磁器・鏡	長野原町で初 回復と並んで鐵治 造遺構を検出	
	本遺跡は、吾妻川左岸の上位段丘面に立地する平安時代9世紀中頃～後半の集落跡である。鐵冶が伴う竪穴建物跡（鍛冶工房跡）が確認された。分析を行なった試料の限りでは、脱炭作業から鍛錬鍛冶までの工程を行っていたと想定される。遺存状態の良い墨書き土器と灰釉陶器が多量に出土していることから、有力な集落であったと考えられる。						
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
中郷Ⅰ遺跡	集落跡	縄文時代早期	土坑	6基	縄文土器・土師器・ 須恵器・灰釉陶器・ 陶磁器・鏡・津・土製 品・石製品・石器	特大の竪穴住 居跡を検出	
	本遺跡は、吾妻川左岸の上位段丘面に立地する平安時代9世紀中頃～後半の集落跡である。鐵冶が伴う竪穴建物跡（鍛冶工房跡）が確認された。分析を行なった試料の限りでは、脱炭作業から鍛錬鍛冶までの工程を行っていたと想定される。遺存状態の良い墨書き土器と灰釉陶器が多量に出土していることから、有力な集落であったと考えられる。						
	集落跡	平安時代	竪穴住居跡 土坑	4軒 5基	「三家」墨書き 土器と多数の 「赤」墨書き 土器が出土	「赤」墨書き 土器が出土	
要 約	本遺跡は、吾妻川左岸の最上位段丘面に立地する平安時代9世紀後半～10世紀前半の集落跡である。鐵冶が伴う竪穴建物跡（鍛冶工房跡）が確認された。分析を行なった試料の限りでは、脱炭作業から鍛錬鍛冶までの工程を行っていたと想定される。遺存状態の良い墨書き土器と灰釉陶器が多量に出土していることから、有力な集落であったと考えられる。						
	所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
	集落跡	平安時代	土坑 鍛冶工房跡 竪穴住居跡 焼土遺構 陶窯	1基 1軒 12軒 6基 29基 11基	縄文土器・弥生土器・ 土師器・須恵器・灰 釉陶器・陶磁器・鏡 ・治闘関連遺物・鉄製品・ 古銭・石器	長野原町で初 回復と並んで鐵治 造遺構を検出	
要 約	本遺跡は、吾妻川右岸の上位段丘面に立地する平安時代9世紀後半～10世紀前半の集落跡である。鐵冶が伴う竪穴建物跡（鍛冶工房跡）が確認された。分析を行なった試料の限りでは、脱炭作業から鍛錬鍛冶までの工程を行っていたと想定される。遺存状態の良い墨書き土器と灰釉陶器が多量に出土していることから、有力な集落であったと考えられる。						
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
中郷Ⅰ遺跡	集落跡	縄文時代早期	土坑	6基	縄文土器・土師器・ 須恵器・灰釉陶器・ 陶磁器・鏡・津・土製 品・石製品・石器	特大の竪穴住 居跡を検出	
	本遺跡は、吾妻川左岸の上位段丘面に立地する平安時代9世紀中頃～後半の集落跡である。鐵冶が伴う竪穴建物跡（鍛冶工房跡）が確認された。分析を行なった試料の限りでは、脱炭作業から鍛錬鍛冶までの工程を行っていたと想定される。遺存状態の良い墨書き土器と灰釉陶器が多量に出土していることから、有力な集落であったと考えられる。						
	集落跡	平安時代	竪穴住居跡 土坑	4軒 5基	「三家」墨書き 土器と多数の 「赤」墨書き 土器が出土	「赤」墨書き 土器が出土	
要 約	本遺跡は、吾妻川左岸の上位段丘面に立地する平安時代9世紀中頃～後半の集落跡である。鐵冶が伴う竪穴建物跡（鍛冶工房跡）が確認された。分析を行なった試料の限りでは、脱炭作業から鍛錬鍛冶までの工程を行っていたと想定される。遺存状態の良い墨書き土器と灰釉陶器が多量に出土していることから、有力な集落であったと考えられる。						

**林地区遺跡群**

水源地域整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第1集

第1分冊

上原Ⅱ遺跡・上原Ⅲ遺跡・中棚Ⅰ遺跡

平成27年2月23日 印刷

平成27年3月13日 発行

発行 群馬県吾妻郡長野原町教育委員会

〒377-1305 群馬県吾妻郡長野原町大字与喜屋174

TEL 027(82)4517 FAX 027(82)4519

印刷 上海印刷工業株式会社

〒379-2154 群馬県前橋市天川大島町305-1

TEL 027(224)6245 FAX 027(224)6290

